

縁 ととろ

紫紺の詩

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会

2022年総明会会報

明治中學校校歌

校歌

作詞 武島 羽衣
作曲 楠美恩三郎

作詞 児玉 花外
作曲 山田 耕筈

一章

帝都の真中駿河臺

遙かに望む富士のねの
高きに理想の影追ひて
集る健児勇ましや

二章

学びの高嶺文の海、

峻しく荒き行末を
懼れず笑みて進みゆく
我等が意氣は天を吞む

三章

忠と孝の大糸を、

色どる正義、愛、誠
我等が胸をかざるべき
大和錦の美ならずや

四章

世界に王たる日の本の
國民の基と身をなして
我等が校の名を揚げむ
我等が國の威を揚げむ

一、

白雲なびく駿河台
眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の榮になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、

権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗翳し
高き理想の道を行く
我等が健児の意氣をば知るや
我等が健児の意氣をば知るや

三、

霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

揮毫

紫紺の詩

筆 向殿 政男

「紫紺の詩」は総明会設立50周年を記念して総明会会員の皆様から寄せられた意見を基に決定し、総明会名誉会長向殿先生に揮毫いただきました。
「紫紺の詩」の「詩」という文字は「歌(音)」ではなく、総明会会員の皆様の心に残る「詩(言葉)」、「会報」を表す言葉を意味しています。

総明会とは

総明会とは、旧制、新制明治中学校、明治大学八丈島高等学校、明治高等学校の卒業生ならびに同校に在籍したことがあるものの同窓会組織である。

総明会の設立の起源は、1912年(明治45年)開校時にあった「学友会」にまで遡ることができ、1926年(大正15年)1月の「同窓会」設立へと続く。その後中断の時期を経て1964年(昭和39年)有志による「明治中学校・高等学校同窓会設立発起人会」が設立、1年間の準備期間を経て1965年(昭和40年)に第1回同窓会が開催され現在の総明会へと続いている。

総明会の活動は、「会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助すること」を目的としており、総明会会員を対象とした年に1回開催される総会・懇親会を中心に、各委員会が企画する行事、「総明会チャリティゴルフ大会」「評議員・班・クラブOB・OG会」・60才以上の会員を対象とした「明朋会」等を開催している。

その他、母校に対する活動として、卒業する高校3年生を対象とし、「明治大学付属明治高等学校建学の精神にのっとり、伝統ある校風のもとに学業に励んで優秀な成績を収めたことを賞する」、2007年度(平成19年度)からは、成績優秀者のみならず、班部活動、対外活動、学校行事など、学校生活全体を通じた活躍や貢献したもののへの総明会賞の授与、母校記念行事への寄付活動、クラブ活動への支援を行っている。卒業生に対しては、大学在学中の若手を通じての総明会活動紹介、同窓会開催支援や就職相談会の開催等を行っている。

この他、総明会会員である明治大学、明治高校の教職員を通じての組織基盤の強化、「法曹部会」による高校在校生を対象とした司法試験向けの各種支援も行っている。

なお、「総明会」の名称であるが、1970年(昭和45年)の第20回総会において、初代校長鶴澤総明先生の名前をいただき、且つ明治中学校・高等学校同期会と同窓生総体の連帯を意味するものとして命名されたものである。

縁 ととのう

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会

平成七年 辛 紫縁会寄贈

今年度幹事学年テーマ 『「縁」～ととのう～』について

コロナ禍で、さまざまな制約がある生活が強られる中、我々が幹事学年として、
母校へ恩返しをしたい、そんな気持ちからスタートした幹事活動。
その中で、我々の代が掲げたテーマは、「縁」。「えん、えにし、ゆかり」。

一人一人、その時その時、思い浮かぶ情景で、
さまざまな読み方ができる多様性のある奥深い言葉、「縁」。
そこに、サウナブームと共に、一躍フォーカスされたフレーズ、「ととのう」。
そして、今年の会報は、次世代への変革の第一歩として、
「ハイブリッド会報」と銘打ち、手に取られた会報誌のみならず、
動画や総明会ホームページを連動させた構成にしております。

総明会に関わる全ての人が「ととのう」こと。「縁」で、豊かさや笑顔を紡いでいける、
そんな思いを込めた特集をぜひご賞味ください。

《ハイブリッド会報》

コロナ禍での幹事活動を強られる中、少しでも「縁をととのえる」にこだわり、我々幹事学年は、デジタルとの融合を目指した「ハイブリッド会報」と銘打ち、活動してまいりました。総明会と明治高校のホームページ・動画と連携することで、より臨場感あふれるリアルさ、本誌では収めきれなかった記事やオフショット・スピノフをデジタルでもお楽しみください。
総明会ホームページでは、会報と連動した専用サイト「総明マガジン」をオープンしました。

◎スマートフォンやタブレットから見る場合

本誌の各ページにあるQRコードを読み取ると、ホームページ「総明マガジン」内の、そのページに関連するデジタル記事にアクセスする事ができます。

SOUMEI MAGAZINE



No.000-2022

◎パソコンから見る場合

ホームページ「総明マガジン」にアクセス(下記URL)し、
<https://meiji-soumeikai.com/magazine/>
QRコードの下番号(例:001-2022)で検索、またはURLの後に番号を入れて下さい。
例: <https://meiji-soumeikai.com/magazine/no-001-2022/>

歩いて繋ぐ駅伝 特集①

～【縁】ととのう・つなぐ～

過去の猿楽町・今の調布を競走でなく紫紺の縁をつなぐのだ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、大規模な“宴”会や催し物の縮小や開催見合わせが続き、我々総明会でも、懇親会が2020年、2021年と2年連続で中止になるなど、以前の状態には未だに戻りできていません。連綿と受け継がれてきた総明会の先輩・後輩の絆も薄まっていると感じる今日この頃、「紫紺の“縁(えん)”を繋ぐ」ことが必要と考え…

「♪繋ぐといったら樺、樺と言ったら駅伝、駅伝と言ったらメ・イ・ジ」ということで、猿楽町校舎から現調布校舎までの約24.3kmを1本の樺で“歩いて繋ぐ”駅伝を企画し、2022年6月12日(日)に開催しました。

雨天が予想される中、無事ゴールできたのでしょうか?! 手に汗握る全7区間をお楽しみください!!

黙って
オレについてこい。
制服と革靴で
24kmを完歩
するぞ!

気炎を上げる
紫縁会藤田実行委員長



2022年4月12日に総明会の
会員に向けて参加募集したチラシ

総明会 昭和と歩こう!

『歩いて繋ぐ駅伝』企画

6月12日 日曜日 **参加者 応募**

午前9時 旧校舎スタート!!

午前9時 明治大学付属明治高等学校・中学校 旧校舎出発
午後4時 明治大学付属明治高等学校・中学校 現校舎到着

この日、総明会事務局より「歩いて繋ぐ駅伝」を企画し、昭和と歩こう!というテーマで、昭和の校舎から、現在の校舎までの約24.3kmを、1本の樺で繋ぐという企画です。この企画は、昭和の校舎から、現在の校舎までの約24.3kmを、1本の樺で繋ぐという企画です。この企画は、昭和の校舎から、現在の校舎までの約24.3kmを、1本の樺で繋ぐという企画です。

開催概要】2022年(令和4年)6月12日(日) 9時～16時

第1区	猿楽町校舎～曙橋駅間	3.7km	平成6年卒	隆明会
第2区	曙橋駅～初台駅間	4.1km	平成2年卒	明愛会
第3区	初台駅～明大前駅間	3.9km	昭和61年卒	新世輝
第4区	明大前駅～八幡山駅間	3.3km	昭和57年卒	明魂会
第5区	八幡山駅～仙川駅間	3.4km	昭和56年卒	明翔会
第6区	仙川駅～国領駅間	3.0km	平成7年卒	紫縁会
第7区	国領駅～現調布校舎間	2.9km	平成8年卒	紫誠会



応援指導班の練習途中で女子校の前を通るとやたらと声が大きくなってたよね。



九段の坂道は地獄の練習を思い出す...



取材班がついて、俺達芸能人みたいじゃん。この辺り祭りはやし(お好み焼き屋)あったよね?イカのげそが入った。



(後列) 紫縁会メンバー
(前列左から) 三谷 知弘さん、三保谷 建介さん、熊本達朗さん



♪ サライ〜の空へ〜



隆明会と紫縁会合同でゴルフをやりたいね!



ホントいい天気。最高の駅伝日和だわ!



靖国神社の横は、街宣車が走っているうさかった。。。
「xxxはで〜ていけー、で〜ていけー....」

防衛省前 通過中

俺たちYouTuberと
思われてるよ絶対!



襷リレーをする、三保谷さんと
2区明愛会 (H2年卒) の遠藤さん



No.001-2022



曙橋駅

6月12日(日)9時猿楽町校舎から曙橋駅に向けてスタート。記念すべき第1区は、リーダーの三保谷さん、三谷さん、熊本さんの、ちょっぴり“援”分多めの令和3年度幹事学年「隆明会」が担当。新型コロナウイルスにより思うように総明会の行事を進められなかった悔しい思いを、今年度は歩くことで晴らしていただきました。スタート直前までの雨も上がり、天気も晴れ。録音した音声を振り返ったら「ホントいい天気だわ」という台詞3回三谷さん。“宴”もたけなわ、これにて1区は The En(えん)d。“援”との“縁”が続きますように。

第1区 猿楽町校舎→曙橋駅3.7km
スタート 9:00 → ゴール 9:55
行程3.7kmを55分で制覇(区間新記録)

00指数

一体感指数
応援団指数
Tシャツ指数
ととのい指数

★の数(最高10のハズ)

★★★★★★★★★★10個
★★★★★★★★★★10個
★★★★★★★★★★10個
★★★★★★★★★★10個

渾身の一言

楽しかった。総明会最高!
応援指導班OB2名
お揃いの“M”のTシャツ
午前10時から日高屋にて
ビールジョッキで乾杯!



第1区と華の2区のランデブー♡



山あり谷あり華の2区を制覇し、
3区土田さんと櫛を繋ぐ
遠藤さん



初台駅ゴール手前できらちゃんを差した大人軍団



きらちゃん、おしさんも痩せたいよ



初台の国立劇場前、
あと3ハロンだ



甲州街道沿い、文化学園通過



左折し明治通り。
履歴書用写真撮影と言え、伊勢丹。
奇跡の一枚が撮れて、就職に有利だった
時代もありました。



6月の太陽にやられ、
落馬気味の藤田実行委員長



一日の乗降人数No.1のJR新宿駅を
横目に歩き続ける



逃げてると熟睡中



若き日の藤田委員長



スタート

早く走りたい

第2区 スタート前のひと時
(左から) 高山剛さん、長谷川剛央さん、遠藤克彦さん、
今泉仁さん with 奥様&きらちゃん



坂路にて。
富久町のタワマンと戦艦大和



関係者、度肝を抜かした。
今泉奥様ときらちゃんの足の速さ。
突然の逃げ宣言

SOURCE MAGAZINE



No.002-2022



曙橋駅は地下駅だ

ほぼ時間通りの第1区から貴重な櫛を引き継ぎ、第3区「新世輝」に繋ぐべく歩みだした「明愛会」。2区は曙橋駅から初台駅まで、ターミナル駅の新宿駅を通過するゴールデンルート。華の二区。こちらは、紅一点、今泉さんの美人奥様とそのベビーきらちゃんが参加してくれました。ベビーカーでご満悦のきらちゃん、その笑顔を見てアドレナリンが爆発し足取り速く逃げる奥様。行く手を阻む梅雨の晴れ間に顔出す太陽。ついて行くことに必死の紫縁会と明愛会。気がついたらあつという間に国立劇場を通り過ぎ、2区ゴールの初台駅に到着!最後は遠藤改め「縁」藤さんが見事差し切り1着でゴールイン!

第2区 曙橋駅→初台駅4.1km

スタート 10:00 → ゴール 10:56

逃げ馬をひたすら追いかけて、知らぬ間に区間新記録。実はこの駅伝区間最長の4.1kmをわずか56分で制覇しました。

00指数

一体感指数

寝起き指数

アルコール期待の

デトックス指数

ととのい指数

★の数(最高10のハズ)

★★★★★★★★★★10個

★★★★★★★★★★10個

★★★★★★★★★★9個

★★★★★★★★★★12個

渾身の一言

華の2区完走ありがとう

きらちゃん寝起き so Good

新宿に戻って飲むよ

土田さん、早くととのって!

スタート

11時10分 初台駅から明大前駅に向けてスタート。

テニスをしてから来た土田さんをはじめ、毎日1、2万歩は歩いている栗本さん、高校水泳部時代よりも今のほうが泳いでいる長谷川さん、俳優の高橋さん、週1回8kmは歩いている吉原さんと、健脚揃い？なのか、あっという間に到着。“炎”天下のなか、思わず和泉校舎に立ち寄りしました。

第3区 初台駅→明大前駅3.9km
スタート 11:10 → ゴール 12:10
行程3.9kmのはずが、和泉校舎に引き寄せられて4.1kmを1時間で走破（寄り道しても区間新記録）

SOURCEMAGAZINE



No.003-2022



チームお揃いのTシャツ

白いTシャツを着ているのが新世輝（左から3人目より）高橋信康さん、栗本宜長さん、吉原基弘さん、長谷川隆洋さん、（右端）土田正昭さん（それ以外は紫縁会）



初台です。ちなみに、新世輝のホーム（飲み会）は、日本橋だとか



明大前駅です。変わりすぎていて、昭和生まれは、テロップがないと分かりません



宮●（居酒屋）は、まだ泊まれるのかな



4区メンバーとの合同撮影、予定より早く着きました。



樺は、土田さんから4区明魂会（S57年卒）の関川さんへ



同期と楽しく過ごせました。ただ、一緒に歩くはずだった鵜飼（6月5日永眠）が、いないのが残念です。学生時代は、バレ一部で生徒会長も務め、数年前には、千代田区議に選出されました。頼まれたら断らない性格で、太く短く生きた、そんな奴でした（土田）。



6月12日にこの駅伝企画に出場していただく予定だった鵜飼友義氏が6月5日突然お亡くなりになりました。出場いただけなくて、とても残念です。鵜飼氏のご冥福をお祈りいたします。

00指数

一体感指数

★の数（最高10のハズ）

★★★★★★★★★★10個

鵜飼さん指数

空腹指数

ととのい指数

★★★★★★★★★★10個

★★★★★★★★★★10個

★★★★★★★★★★10個

渾身の一言

元から一体感は抜群。更に文学部進学時の駆け引きや同期の危険な話など、裏話で一体感UP
鵜飼と6人で歩ききりました（完走後動画より）
これから餃子です
がっつり歩いて、話して、ととのいました



少し寄り道して、和泉校舎前
「大学の中とか、もっと寄り道したいよね？」
「少し時間はありますけど…」
「次、先輩の代だから、止めとくか」



地元の方もいるので、道に迷う心配なし。（甲州街道をまっすぐ行くだけです）



環状7号線横断中
「時間あるなら、和泉校舎、寄っていこうか」

総明会の
団結は
最高だよ!



4区明魂会と5区明翔会の皆様で記念撮影!



襷リレーをする、関川さんと
5区 明翔会 (S56年卒) の衛藤さん



ラーメン屋が多数(中華そばはな田、麵屋新創、
らぁめん小池、長浜ラーメン世田谷店など)
食べたいところだけど…、ゴール八幡山駅まで
あと少し!



ゴールで同期の到着を待つ
菊池明魂会会長
この後、同期の方々と
新宿方面に向かわれた模様です



「和泉校舎がこんなに変わってるなんて。
でも3号館だけ古いままじゃない? アレは変わってないね。」
「俺是和泉校舎に車で通学していたから
この辺の土地勘はバッチリ!(関川さん)」



「応援指導班にいた高松遥之介君はどこに就職したのだ
ろう? 俺、彼がどうなったか、凄く気になって。」
「総明会の何が良かった? 総会が終わった後の団結感が良
い。帰り同じ方向のヤツと一緒に泣いたよ。壇上から皆で
歌う校歌が凄く感動するから。それまでは先輩から何を
言われても我慢しろ(笑)」
「明治高校の校歌と明治大学の校歌は当然同じだけど、
違う。明治高校の校歌に感動したから、今ここを仲間と歩
いているんだ。」

11時55分に「まもなく明大前駅」の報を3
区サポートメンバーより受けてから10分。よう
やく3区新世輝のメンバーが到着。予定時間
より早かったため和泉校舎で記念撮影してい
たとのこと。悔しいので4区明魂会も和泉校
舎で記念撮影! 変わりすぎた和泉校舎にびく
り。そんな4区はひたすら直線。

来年も駅伝企画を行うなら年配者におす
すめのコースです。高松君の話題で盛り上
がった4区でした。先輩方は新宿方面で“宴”
会だそうで。

第4区 明大前駅→八幡山駅3.3km
スタート 12:12 → ゴール 13:05
行程3.3kmを53分で制覇(区間新記録)
でも、アップダウンのないひたすら直線だった
ことは内緒。



明大前の駅前は、こんな立派じゃなかったな
車なんか通れる道はなかった



明大前駅

スタート

SOUMEIMAGAZINE



No.004-2022

00指数

一体感指数

★の数(最高10のハズ)

★★★3個

高松遥之介君指数

★★★★★★★★★10個

明治魂指数

★★★★★★★★★10個

ととのい指数

★★★★★★★7個

渾身の一言

お揃いの帽子がなかった…。
やっちまった指数は☆10個!
もしご存じの方は情報ください。
菊池明魂会会長から
ミネラルウォーター差し入れ
久々に歩いて、しゃべった!



(後列および前列右端) 紫縁会メンバー
(前列左2人目から) 玉置正人さん、関川一浩さん、
小林謙之さん

最高齢チームにも関わらず、大雨と狭い歩道が連続する甲州街道を闊歩する昭和56年卒の大先輩方。襷を受けて直ぐ、真っ黒い雲が我々明翔会を包み始めた～。嫌な予感は初めからしていた～。おそろいの白い帽子で雨から逃れるため急いで歩いた～。たださえ狭い甲州街道を雨粒の邪魔をはね除け、足がもたつきながらも第6区紫縁会の待つ仙川駅をひたすら目指した～。

でも、「某先輩の4区のペースが遅かったから雨に当たらざるをえなかった。って文句もでちゃう。男の子だもん。」などという戯言を言いながら進んだ～。45分後に無事完走。「駅伝は良いアイデアだ。思い出に残ったよ。ありがとう。」といただいたお言葉に、嬉しくて“延々(えんえん)“泣き続ける紫縁会の面々だった。

第5区 八幡山駅→仙川駅3.4km
スタート 13:10 → ゴール 14:05
ゲリラ豪雨もなんのその。
やってやったよ区間新記録



待機時からすでに怪しい空模様。はやく「4区がヨタヨタ歩いてるから雨雲近づくんだよ。」雨模様ととのいました!



八幡山駅 スタート地点

幹事学年の時に作ったキャップ



(左から) 蓮田裕一さん、寺村一義さん、衛藤雅一さん、鴨下裕彦さん



歩くよ、歩く。栄光のゴールと酒を目指し



雨降りもへっちゃら
「まだ若し 雨粒弾く 素肌かな」
明翔会 心の俳句



奇跡的に、ゴールのある西の空は明るくなってきた



白キャップに白いマスクが映える!
Go Proの完全防水性能すごし。
仙川に落とすがびくともせず。(内緒)



交通量抜群の20号線。
カーディーラー多し。



雨に追われ早いタイムで完走した満足度高い明翔会。
この後は、「麦・米・ブドウ・ウモロコシ」のさまざまな原料からできているアルコールを同期と堪能し、
コロナ禍で少し間が開いた絆をもっともっと深めたい。



歩いて繋いだ絆。でも密すぎるぞ



黄金ルート20号歩車道ともに狭く歩きにくい。。。



リサイクルショップ
人生リサイクルできたらなあ



14時5分、調布の自由が丘と称される仙川駅にて第6区藤田実行委員長と襷を繋ぐ衛藤さん

00指数

一体感指数

★の数(最高10のハズ)

★★★★★★★★★★10個

日頃の行い指数

★★★★★★★★★★10個

第二の人生

開始間際の

★★★★★★6個

還暦指数

ととのい指数

★★★★★★★★★★12個

渾身の一言

還暦前に楽しい企画をありがとう

中継地点直前で雨が止む。雨降って地固まる

やはり60点。これからが人生本番と成熟

最高齢故、人生経験も豊富。ととのうのも早い

SOURCEMAGAZINE



No.005-2022

テーマ 同期の縁を 深めるぞ!

第6区

紫縁会 (H7年卒)



つつしが丘駅です。昔の面影はまったくありません
(一番左は取材班の久保さん)



「すまん、電車で行く」取材班、
春日さん無念の離脱。せっかく買った
のに一度も開かなかった傘が心に
重くのしかかったようです



「会報に載せる名所が少なくない?」(櫻井さん)
「そういえば、同期の伊藤さんが国領で起業
してるよ」(取材班、石田さん)



歩道が細いので二列縦隊。まるで登校班のよう。
「つつしが丘グラント跡地に行きたい」
「取材でもう行ってるよ(今昔物語参照)」
「じゃあ、駅行きますか...」



キューーさんの前で、ハイポーズ
(ちなみに、紫縁会との縁はありません)



5区が豪雨だったので、
せっかく傘を買ったのに、
あっという間に晴天に...



襷は、藤田さんから、
最終区の木村さん
(H8卒)へ



アボなしで紫縁会同期の伊藤正樹さんが営むとうふや
「おもむろ (OMOMURO)」に立ち寄りしました。
お店の前で集合写真(店主の伊藤さんは下段の右から
2番目、上段右端は小倉さん、下段左から澤登さん、
石田さん、いずれも取材班)



長いかなと
思ったけど、
あっという間に
楽しく歩けました

いよいよ幹事学年区間、選手と取材班合計
8名の紫“縁”(えん)会による「京王線“沿”
線歩き旅」。5区の嵐は一瞬で過ぎ去って快
晴に。「天は我々を見放...さなかった!(若い人
わかるかな?)」。照り付ける強烈な太陽が、
朝からの取材と各区先輩方との終了後の一
杯で疲労が溜まったメンバーの体力をむしば
んだ。途中脱落者が出るも、最後の気力を振
り絞り、なんとか国領駅へ到着。

予定時間より少し早く到着したので、7区
の取材班も加わり、紫縁会同期が開業したお
豆腐屋さんにアボなし訪問。疲れて腐りそう
だった気持ちも、お“から”っと回復。

第6区 仙川駅→国領駅3.0km
スタート 14:10 → ゴール 15:05
行程3.0kmのはずが3.8kmに55分
かかりました(寄り道し過ぎなので参考記録)



実際に移動したルート。
甲州街道をまっすぐ行って、
国領駅ゴールのはずですが、
あっち行ったり、こっち行ったり。



左から) 櫻井勝也さん、藤田央さん、日野友貴さん、岡崎俊彦さん

スタート

00指数

★の数(最高10のハズ)

一体感指数

★★★★★★★★★10個

平均徒歩指数

★★★★★★★★★12個

まだ飲んで

★★★3個

いない人指数

ととのい指数

★★★★★★★★★9個

渾身の一言

“写真のポーズ”も“寄り道”も一緒に、です。

6区時点で1人当り12km以上歩いています

この時点で8人中5人が飲んでいます。

来年の復路は来られなかった同期を誘って、まんてん
(カレー屋じゃないよ。今昔物語参照)を目指します。

SOUMEI MAGAZINE



No.006-2022

テーマ 来年は やったろけー!

第7区

紫誠会 (H8年卒)

スタート

7区は7名+紫縁会サポートメンバー2名の9名で歩く予定が、3kmを歩いたばかりの6区メンバーもなだれ込んで歩く総勢16名。疲れ切った紫縁会を“援”助いただく1学年下の面々。懐かしい話を“延”々と語りながら、あっという間に学びの“園(えん)”に到着。24kmを完歩した藤田実行委員長からは大量の“塩(えん)”が吹き出していました。

第7区 国領駅→現調布校舎2.9km

スタート 15:20 → ゴール 16:08

行程2.9kmを48分で制覇(区間新記録)

実は校舎の裏門から入場して表門までショートカット。感動のゴールシーンが撮り直したことは永“遠”の内緒です。



(左から)菅野陽一郎さん、岸丈志さん、関川明生さん、木村允さん、小林達也さん、金井威士さん、西村英之先生



6区メンバーも加わって総勢16名でこの駅伝のゴールである現調布校舎に向けて出発進行! 上空は雲ひとつない快晴!



国領駅



日も西に傾き、ランナー達の影もすっかり長くなりました
栄光のゴールまで後少し「自然を制する者が調布を制すー!」
初代自然の神は誰だ?



小径を闊歩する16匹のおっさん



ビルに囲まれた神田駿河台と違って、現調布校舎周辺は自然がいっぱい。野川沿いのなんと静かなこと。都会の喧噪を忘れてマイナスイオンに癒やされましたよ。



6区参加者7名+藤田実行委員長の一団が見えてきました
栄光のゴールはいよいよです。
1区から歩き続けた藤田実行委員長の足は大丈夫なのか?

現調布校舎
GOAL



西日が厳しい午後4時過ぎ、ついにゴールしました
途中繰り上げスタートすることなく、1本の樺がゴール調布校舎までつながりました



7区の皆さんで記念撮影。
中央はもちろん西村先生



H8年卒の皆さん、
「幹事学年は大変ですが」
「皆で力を合わせて」
「頑張ってください!」
(藤田より)

00指数

一体感指数

ビール飲

みたい指数

晴れ男指数

ととのい指数

★の数(最高10のハズ)

★★★★★★★★8個

★★★★★★★★10個

★★★★★★★★10個

★★★★★★★★10個

渾身の一言

飲み会をやれば☆10個になるはず!

インタビューはいいから、早く飲ませろ(怒)

5区ゲリラ豪雨の元となった積乱雲を吹き飛ばした
卒業以来四半世紀ぶりに再会できた。充実!

SOURCEMAGAZINE



No.007-2022

駅伝企画を振り返って

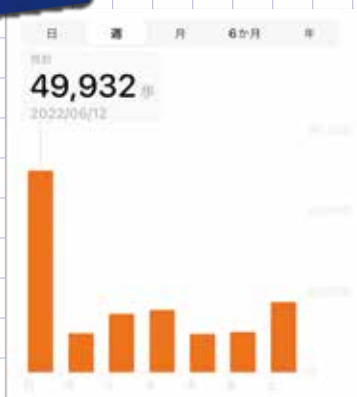
特集の目玉を紫縁会メンバーで話し合った際に、「世代を超えて総明会の『縁(えん)』を繋ぐ」という企画はどうだろうか。

繋ぐといえば「櫛を繋ぐ駅伝はどうだろうか」ということになり、目玉企画は「歩いて繋ぐ駅伝」に決まりました。企画に賛同していただける方はいらっしゃるのか、参加者に楽しんでもらえるだろうか、梅雨時で雨に打たれないだろうか、当日まで不安いっぱいでしたが、そんな思いは全くの杞憂に終わりました。

前日までの雨もどくへやら、当日は晴れて最高の駅伝日和。予定通り9時に猿楽町校舎をスタートし、炎天下を、甲州街道に沿(えん)ってひた歩き、遠路はるばる16時すぎに現調布校舎に無事たどり着くことができました。参加者は合計41明(めい)。新調した「明治大学付属明治高等学校中学校同窓会」の櫛は見事に繋がりました。世代を超えて、総明会が1つになった瞬間でした。来年も再来年もこの企画が続くことを切に願っております。

駅伝企画メンバー小倉・古川

紫縁会藤田実行委員長は1人で全24kmを完歩。
当日の歩数は49,932歩！ 打ち上げでビールを飲み過ぎたので、なんと体重は変わらなす。



駅伝企画に参加した紫縁会メンバーと高尾山登山からお戻りになられたばかりの山口先生と記念撮影！



7区紫誠会(H8年卒)メンバーと紫縁会メンバーで記念撮影！
来年も駅伝が企画されますように。来年は箱根駅伝をもじって「猿楽町校舎現調布校舎間往復総明会駅伝競走」と改名して、競争になることを願っています！

第58回総明会総会懇親会ご来場を心よりお待ちしております。

紫縁会「縁」～ととのう～

駅伝のスタート地点の猿楽町校舎っていったい？
～平成世代は知らないあれこれ～
令和4年4月某日 紫縁会の会報委員担当らが
特別な許可を得て取材を試みた。

猿楽町校舎潜入!

SOUMEIMAGAZINE



No.008-2022

駅伝のスタート地点である猿楽町校舎が閉校してはや14年が経過し、現在の校舎内の様子を皆様にお伝えすべく実施した潜入取材。その他の写真はwebにてお楽しみください。

START!!



1号館3階廊下



渡り廊下



体育館の入口は固く閉ざされていた



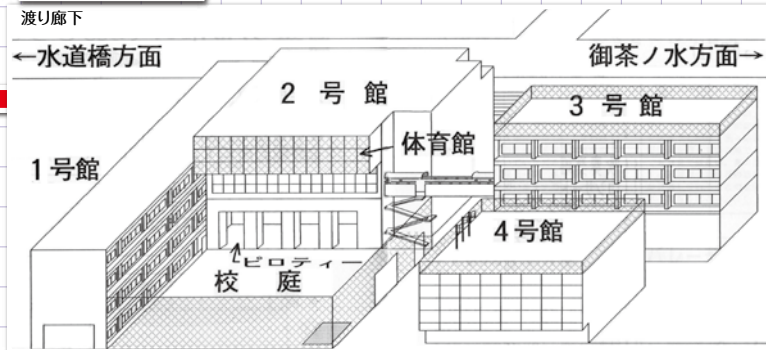
2号館の元・教員室前に立つ



鶴澤総明先生の銅像があった場所



元・LL教室前



1号館から2号館へ、かつて牛乳の自販機があった場所



元・音楽室



1号館元教室。今は資格試験等に挑戦する学生の自習室として活用されている。



3号館3階元・教室、学生自習室等に改装されているが、比較的当時の面影が多く残されている。



1号館元・図書館横の中庭(よく制服で落とされた池)



3号館裏のジャングルは綺麗に剪定されていた。



旧校舎の七不思議

非公認かつご無礼をお許しください

1. 3号館裏のジャングルの肥料は生徒が投げた弁当の残飯
2. LL教室の機器の魔術師、吉田重幸先生
3. 1号館の池は皇居へ繋がっている
4. 国語科研究室は喫煙室だった
5. 連日やって来る救急車(校庭がコンクリート+狭あいだったため)
6. 1号館棟屋の天文台にはさんが住んでいたらしい。
7. Webにてお楽しみに。



3号館や生協購買部の跡地写真から用務員さんの島さんや中川洋服店の店主を思い出す方も多いはず。



4号館、格技室や生徒ホール、各種部室が入っていた。当時休憩場所として使われていた屋上では学生による養蜂活動がおこなわれている。



元・格技室の内部とエントランス

令和の男の子
今の時代も太陽光に
デカデカに光った
学生服の生徒が
登っていく。



駿河台と調布の
今昔物語

この拙文は、猿楽町校舎で6年間を過ごした筆者が
書いているため、猿楽町校舎に通学した読者は、
あの頃の懐かしさをぶち的に感じていただければ幸いです。
(取材：古川)

1916-64年

2007年

写真左、1961年～64年頃、
1号館塔屋の天文台があるのが見える

この地図は、地系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(C) 谷 謙二により作成したものです。

ニコライ堂

正式名:東京復活大聖堂
といい、1891年、鹿鳴館を
設計した建築家ジョサイア・
コンドルの設計。現在の建物は、
関東大震災後に修復された。
ビザンチン様式の聖堂は、
高さ35mのドームと尖塔の
鐘楼を備えている。



楽器街

もともと、中古楽器店が連ねていた土地柄だったが、
当時(約30年前)より店舗が増えているような印象が
ある。同時にウクレレ店も多い。



文化学院

猿楽町校舎からほど近いとちの
木通り沿いの、アーチが印象的な
クラシックな建築物であった。
文化学院は、大正10年(創立者:
西村伊作)～平成30年まで続いた
専門学校。多くの著名な芸術家、
作家、役者等々を輩出したが、
次第に経営が思わしくなくなり、
平成28年には専門学校の募集を
停止し、平成30年に閉校となった。
新しい建物が建設されたが、
アーチ校舎は保存され今も街に
溶け込んでいる。



食堂



「いもや」や「ライスカレーまんてん」「キッチンカロリー」
不景気・疫病・戦争等、社会不安はあっても人々の胃袋を
満たすのは、ここだ。

文学と古本屋街



放課後、寄り道できたのも駿河台にあった利点。某国語のO先生は、「一見、ほろく見える店構えでも、貴重な古書を持っている
店が多い。」と現代文の授業で語っていた。卒業後、改めて生徒時代の街を訪れると不思議とあの頃の先生方の雑談や見識が
蘇ってくるのも明治の良さだと思う。

下校時、誰もが一度は見たことがある三省堂書店の屋上の大型看板。こちらも建物の老朽化や再開発の波やうで取り壊される。
頑丈な建物の減価償却は50年程度あるのかもしれないが、建物も歳を取ると同時に、我々も干からびていく様を切なく感じた。
「いったん、しおりを挟みます。」(三省堂書店)
勉強熱心(?)な明校生は舶来万年筆にも憧れた?(金ペン堂)

JR御茶ノ水駅



かつての駅舎はもうない。
駅施設群の建替え中。

現校舎のある調布は、筆者には土地勘がないため、今の明校生達がどこで放課後を楽しんでいるのか皆目見当がつかない。よって、既会報誌や「過程」からの情報を元に取材した内容です。
寛容なお気持ちで読んでいただければ幸いです。



1916-64年

2007年

写真左、1961年～64年頃、
広大なグラウンドであった。

この地図は、時系列地形閲覧サイト「今昔マップ on the web」(C) 国土地院により作成したものです。

オーロール

調布駅前すぐの商店街にある庶民的なパン屋。
我々、おやし軍団の訪問日は全品110円のセール中。
明校生のランチやおやつにはたまらない品揃え。



調布駅北口付近で明校生が買い食いや散歩するところはないのか、
散策してみたが、大通りから一本入った天神通りに、
賑わいのある商店街があった。

一口茶屋



大通りのバルコ前には、かつて明校生に
人気だった焼き「一口茶屋」があった
そうだが、2021年5月31日に惜しまれ
ながら閉店し、今は石焼ビビンバ店に
なっていた。

調布カトリック教会



調布駅近くの教会。品のある明校生は
時たま訪れ、懺悔をしていただろう。
会報誌の無事の出版を祈って手を合わせた。

神戸屋レストラン

食欲旺盛かつお上品な明校生が行くところ。
でも、お財布には優しくないところが玉に瑕。
ウエイレス(死語)の制服がマニアには人気。
最寄り駅は、調布駅隣の布田駅



番外編 つつじヶ丘のグラウンド



かつてこの地で体育祭を行っていた。高IIは体育祭前日に草むしりに駆り出されていた。
中1～高IIIがクラス別ではなく春夏秋冬生まれなどのチームに分かれて、ホットパンツ型体操着で
騎馬戦や棒倒しを行った。このグラウンドは、売却され今は大型マンションに変貌。



大型マンションになっていた



当時の体育祭は制服で
参加していた(?)

校長

安藏 伸治



総明会の「縁」

2014年に校長として着任して以来、9年目を迎えております。来年の2月に70歳になるために、今年度が校長として最後の1年となります。着任以来、多くの生徒たちや保護者の皆さん、卒業生の方々と巡り合い、また多くの先生と時を共有してきました。

中高一貫校、そして大学付属校として本校はわが国の中等教育機関として特異な存在であります。大学への推薦基準を満たせば、在校生数よりも大きな大学への推薦枠があるために、希望者は全員明治大学に進学できますし、受け入れ枠の小さな学部や学科を除けば、ほぼ全員が第一志望の学部に進学できるという環境が、他大学の付属校にはない明大明治独特の雰囲気醸成しているのだと思います。

明治中学に入学すれば、高校卒業までに11の学年と交わることができ、末永く先輩・後輩の関係が構築され維持されていきます。さらに大学へと続き、総明会の強力な地金としての「縁」になっていくのだと思います。

コロナ禍のために過去2年間、中止や延期してきた様々な学校行事や旅行行事が、規模は縮小せざるを得ませんが、次第に再開されるようになってきました。1学期の中間考査後に行った各学年の旅行行事、6月14日の高校球技大会、6月21日のイングリッシュ・プレゼンテーション・コンテストなどの再開は、生徒や教員との結びつきや「縁」を強め、明治高校や明治中学という空間で育んだ大切な想い出になっていくのだと思います。

本校で学んだ生徒たちは、大学進学後に実力を開花させ、明治大学の複数学部で卒業生総代や学部長表彰、難関試験の多数合格、交換留学生など、目覚ましい活躍をしています。大学に行ってから、明治高校卒業生としてのネットワークを堅持し、お互いに助け合いながら、切磋琢磨している姿は、校長としてとても嬉しく頼もしく感じています。

総明会の皆さんからは、多額の寄付や支援、就職支援としての「就活会」、法曹部会の皆さんによる裁判傍聴や予備試験対策へのサポート、さらに班部活動へのご指導や応援を日々いただいております。皆さんの温かい母校愛により、生徒たちが守られているという「縁」が、伝統校や名門校としての空気を醸成しているのだと思います。

総明会会長

井家上 哲史



自然体で

2020年に吉田耕太郎前会長より第9代総明会会長を引き継ぎ、2年を経て、再選いたしました。この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、総明会の活動は決して十分な状況ではありませんでしたが、母校明治中学高等学校は、この2年間、対面での授業を着実にきちんと続けてこれ、卒業された皆さんが総明会の新会員となられています。教職員の皆様、生徒を支えている御父母の皆様そして班部の指導者をはじめとする関係者の献身的な努力の賜物であり、敬意を表します。その結果、新たに総明会会員となられた皆様、ようこそ総明会へ、皆様のご入会を歓迎いたします。

さて、総明会の近年の活動を振り返りますと、一昨年の幹事学年平成5年卒明鐘会の皆さんに続き、昨年も幹事学年平成6年卒隆明会の皆さんを中心に総明会会報「紫紺の詩」が従来通りに発行され、M編集委員会の若手の皆さんによりオトナの過程「M」が継続して発行されています。これらに加えてオンラインではありますが就活会や高3クラス幹事交流会が行われました。法曹部会などの活動も継続されてきました。昨年は、なかなか収束しない感染者数のなかで、感染防止に十分留意しながら、まず理事会をオンラインと対面のハイブリッドで開催、また、評議員会と総会を対面で再開できました。

今年については、幹事学年平成7年卒紫縁会の皆さんが年間活動テーマ【「縁」〜ととのう〜】のもと、特集イベント企画、会報の発行、総会懇親イベント、就活会の実施などを準備されています。そのほか、チャリティゴルフ大会が3年ぶりに無事に行われ、明朗会も準備されており、少しずつではありますが、例年の活動を取り戻しつつあります。

このような社会情勢の中で、同窓会はどのように活動するのでしょうか。私は自然体でその時できる活動をするのが基本と考えており、それをサポートできる同窓会組織が続くように務めます。また若手クラス幹事交流会、「M」の発行や就活会などを通じて若手世代や中堅社会人会員の活動を更に盛り上げていきたいと考えています。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

昭和36年卒

総明会 名誉会長

明治大学顧問・名誉教授

向殿 政男

TEL.03-3701-1691

E-mail: masao@g03.itscom.net

明治大学付属
明治高等学校・明治中学校
校長 安藏 伸治
(明治大学政治経済学部教授)

明治大学長

大六野 耕作

学校法人明治大学
理事長

柳谷 孝

CONTENTS

01 テーマ 「縁」～ととのう～

02 特集① 歩いて繋ぐ駅伝

10 駅伝企画を振り返って

11 猿楽町校舎潜入

12 今昔物語 駿河台・お茶の水・神保町

13 今昔物語 調布

14 総明会会長／明治高校・中学 校長 挨拶

16 第58回総明会総会のご案内

18 総明会 就活会開催のご案内

19 特集② OB・OG紹介

20 音楽家・指揮者 甘粕 宏和さん インタビュー

22 落語家 立川志獅丸さん インタビュー

24 野球審判員 宮田 勝行さん インタビュー

26 特集③ 鈴木正人先生還暦直前記念演奏会

28 吹奏楽班OB・OGバンド

30 明治が繋いだ神輿と先輩・後輩 神輿完成報告

32 追悼 吉田耕太郎前会長

36 2022年度 学校報告

38 高大連携講座「裁判員制度」～読売新聞に掲載、NHKにて放送～

40 新任先生紹介 ●松井 萌々子 先生 ●鶴丸 早紀 先生 ●遠藤 泰介 先生

41 班・部活動の記録／資格試験・表彰

44 退任先生インタビュー

●横山 晴之 先生(数学科) ●吉川 末恒 先生(国語科)

50 OB・OG 活動報告

74 令和4年度 総明会活動報告

78 寄付金の御礼とご報告

79 総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

90 前年度幹事学年挨拶、次年度幹事学年挨拶、本年度幹事学年挨拶

91 編集後記

第58回『総明会』総会・懇親会のご案内

14年ぶりの母校での開催

『縁』～ととのう～

2022年(令和4年)11月13日(日)

会場 明治大学付属明治高等学校・中学校 鶴澤総明ホール

日時 総会 14:30～ 懇親会 15:30～(予定)

※開催内容が変更の場合、確定スケジュールについては10月末までに総明会ホームページに掲載いたしますのでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年は飲食のご用意はございません。



幹事学年からの挨拶

10月に入り、いよいよ秋めいてまいりました。明治大学付属明治高等学校・中学校卒業生の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年開催の第58回総会・懇親会は、私たち平成7年卒「紫縁会」が幹事を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年は3年ぶりに懇親会のご案内をさせていただくことができました。

日頃から私たち幹事学年をご支援してくださる皆様方のおかげでございます。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年は飲食のご用意はございませんが、

14年ぶりの母校での開催、そして校歌で締める懇親会、

正に同窓会にふさわしい企画と思い出に残る記念品を用意して皆様方をお迎えいたします。

皆様の「縁」がととのう、そんな楽しい時間をお過ごしいただきたいと思います。

先輩、後輩、同期の仲間をお誘い合わせの上、皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

出席者全員に総明会オリジナル記念品をプレゼント！

●誠にお手数ながら、出欠につきましては同封のはがきにて、ご連絡をお願いいたします。

なお、出席のお知らせをいただいていない方、直前に出席可能になった方など、ご連絡をいただかなくても出席可能ですので、お気軽にお運びください。

《注意事項》

新型コロナウイルス感染症の状況により、日時、会場、プログラムの変更の可能性もございます。変更がある際には、10月末日までに総明会ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認くださいませようお願いします。

総会・懇親会 会費のご案内

本年は、会費の事前納付は受け付けておりません。当日会場にてお支払いください。

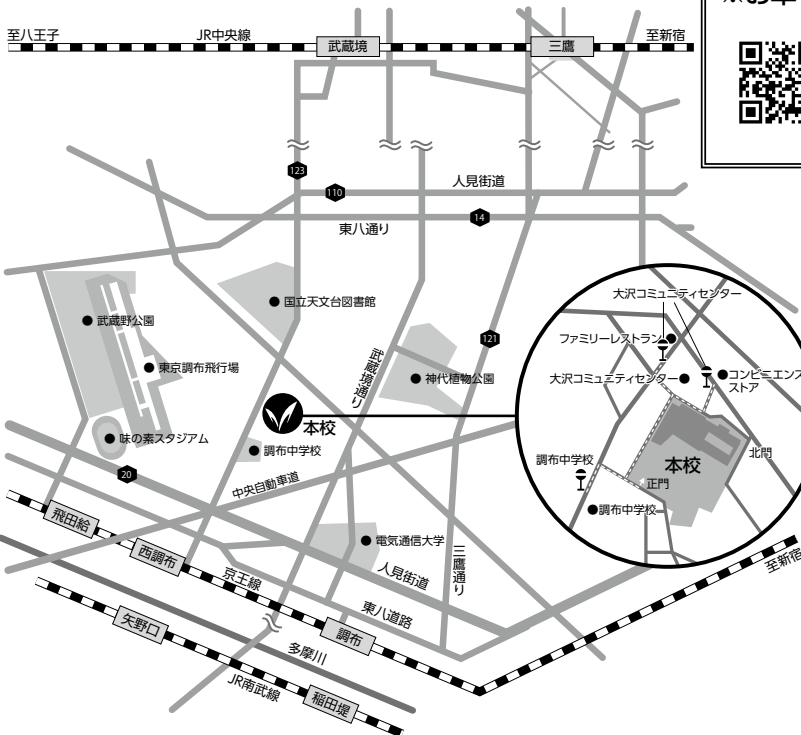
一般会員(平成22年以前のご卒業)	5,000円
ヤング会員(平成23年から30年までご卒業の社会人)	3,000円
学生会員(大学生・大学院生)	2,000円

お問い合わせ先：紫縁会 実行委員長 藤田 央
携帯電話 090-1543-5796 メール fujita.hss@gmail.com

総明会 総会・懇親会企画

今年は
復活します

応援団・吹奏楽班



- 第五十八回 総会 式次第(案)
- 一、開会の辞
 - 二、会長挨拶
 - 三、議長選出
 - 四、書記選出
 - 五、議事
 - ・ 会務報告と事業予定について
 - ・ 会計報告と予算承認について
 - ・ 監査報告について
 - ・ その他
 - 六、閉会の辞

アクセスのご案内

京王線調布駅 中央口バスターミナルより、
送迎用バスが運行されます。

- 乗車場所、時刻等の詳細は総明会ホームページにてお知らせいたします。
- 京王線調布駅、JR 中央線三鷹駅・武蔵境駅・武蔵小金井駅、小田急線狛江駅からの路線バス乗り場、所要時間等の詳細も総明会ホームページにてお知らせいたします。

※お車でのご来校はご遠慮ください。



総明会ホームページ

<http://www.meiji-soumeikai.com>

路線バスご利用の場合

小田急・京王バス「大沢コミュニティセンター」または「調布中学校」下車徒歩約3分

- 京王線調布駅中央口北側よりバス約10分
 - ・京王バス 武91「試験場経由 武蔵小金井駅北口」行
 - ・小田急バス 境91「武蔵境駅南口」行
 - ・小田急バス 鷹51「三鷹駅」行
 - ・小田急バス 調40「調布飛行場」行
- 中央線武蔵境駅南口よりバス約20分
 - ・小田急バス 境91「狛江駅北口」行
- 中央線三鷹駅南口よりバス約30分
 - ・小田急バス 鷹51「調布駅北口」行
- 小田急線狛江駅北口よりバス約30分
 - ・小田急バス 境91「武蔵境駅南口」行

総明会

会長

井家上哲史
昭和五十一年卒 明々会

副会長

山崎 秀樹
昭和五〇年卒 明紫会

副会長

平野 一哉
昭和五九年卒 明心会

専務理事

衛藤 雅一
昭和五六年卒 明翔会

常務理事

近藤 敏彦
昭和五〇年卒 明紫会

会計

田中 重幸
昭和五九年卒 明心会

事務局長

土田 正昭
昭和六一年卒 新世輝

副事務局長

尾崎 博之
昭和六三年卒 昭和戊辰乃会

大好評であったこの企画、今年もパワーアップしてやります！

就職への近道は総明会就活会！

～総明会ネットワークを徹底的に活用しよう～



久々の
リアル
開催

参加無料

多種多様な
業界が集合

- ◎人事エキスパートによる就活の要所解説
- ◎大学4年生の就活体験談＆有名企業社員との座談会
- ◎金融・製造・公務員・IT等、多種多様な業界が集合

令和4年11月5日(土)16時～18時
TKP神田ビジネスセンター4階



詳しくはFacebook就活会グループへアクセス
<https://www.facebook.com/groups/561629502120255>

先着
50名
限定

- ◎明治高校OBOGであれば、大学1年生から参加頂けます。
- ◎実施内容等の詳細はFacebook就活会グループやホームページの「Oh-o! Meiji」を参照してください。
- ◎参加希望者は上記サイトに記載の方法で予約をしてください。
- ◎ご不明点は、Facebook就活会グループまたは
平成7年卒 紫縁会 (soumeikai_shukatukai2022@googlegroups.com) まで お問い合わせください

※新型コロナ感染状況によってはリアル開催からオンライン開催に切り替える場合があります。変更の際は上記サイトでお知らせします。

総明会が全力で応援します!是非ご参加ください!

疫病や戦乱で混迷が深まる現代において、幹事学年と「縁」のある、近しい世代ながら各界で活躍する「ととのえ上手」なOB達の人生を振り返り、日々現実と格闘しているOBやOG、現役学生にヒントとエールを送ります。

ととのえ上手に訊いてみた
「正解はひとつじゃない!?!」

音楽家・指揮者
甘粕 宏和



落語家
立川 志獅丸



野球審判員
宮田 勝行



「出会い」のために行動を!

甘粕宏和

(音楽家・指揮者)

昨年の第2回ワルシャワ国際吹奏楽指揮者コンクールで第1位とオーケストラ特別賞をW受賞した甘粕宏和氏(平成6年卒・吹奏楽班)。音楽の面白さ、演奏をととのえるにあたっての心構えなどについて、吹奏楽班OBの同期メンバーも交えて伺いました。



1つ1つの言葉に重みがある甘粕先輩

コロナ禍もチャンスに変えて 海外コンクールに挑戦

ワルシャワ国際吹奏楽指揮者コンクールに挑戦された経緯は?

このコロナ禍で指導の依頼がストップしてしまい、生活が激変しました。

時間があつたので英会話をやるのかといろいろなと考えましたが、そういえば永らく指導はしてきてノウハウは身に付けていたけど、指揮の勉強はまだ満足にしていけないなど、思い立って、東京音楽大学指揮科で研修生として学生と一緒にもう一度学びなおすことにしました。

そこで、前回の同コンクールで2位入賞した方からこのコンクールのことを教えてもらい、応募したところ予選を突破しました。年齢制限がないコンクールだったこと、時節柄予選がオンライン審査だったことも運がよかったと思います。

予選を突破したことを周りの先生方に知らせると大変驚かれて、それをきっかけにかなり手厚い指導をしていただきました。こういったご縁も受賞することができた要因だと思いますが、このような結果を得られたことには自分でも驚いています(笑)。



ファシリテーターを務める春日氏

このコンクールもそうですが、世界吹奏楽会議など海外での活動も多くされています。語学は堪能なのでしょうか。

自分では、3歳児程度の語学力だと思っています。若いうちは大目に見てくれていますが、最近では「もう少しちゃんとしてほしい」と偉い人から怒られることもあります(笑)。

事前に調べた際「ポーランド語が話せない状況でコンクールにチャレンジされた」という記事を見て半信半疑だったのですが、本当だったんですね。

ワルシャワにはポーランド語がわからない状態で行きました。コンクールでは、スピーチもあるため、一週間滞在していたホテルのフロントの方をお願いして、ポーランド語での簡単な会話を教えてもらいました。

コンクールの指揮は、初めて会う現地の奏者を相手に行うのですが、年齢層の高い方も多く、英語も通じないため、ジェスチャーと表情でコミュニケーションをとらせていただくしかありませんでしたが、とても面白い経験でした。

結果、1位を取ることができました。そのこともうれしかったのですが、それよりも指揮をしたオーケストラの奏者からの投票で、言葉があまりうまく話せない自分が、オーケストラ特別賞をいただいたことが、なによりうれしかったです。

演奏後に、奏者の方から声をかけられたとき、よくやったとか、面白かったと言われていたと思います。言葉はよくわかりませんが、そんな感じで受け止めました。

ちなみにワルシャワ行きことはコロナ禍だったので内緒にしていたのですが、いい結果が得られたこともあつてか、どこからか情報が漏れていたもので、大切な人全員に伝わらないというのもまずいと思い、後で公に話すことにしました。

話を伺っていると、自分でチャンスを掴もうと頑張っている人にはチャンスが回ってくるんだな、という印象を受けます。

自分としてはやりたいようにやっているだけですが、音大時代から「上手になりたい」という一心で練習をしてきましたし、先輩や仲間との繋がりを作ろうと心掛けてきたのが今に活きていると思います。

断らない男

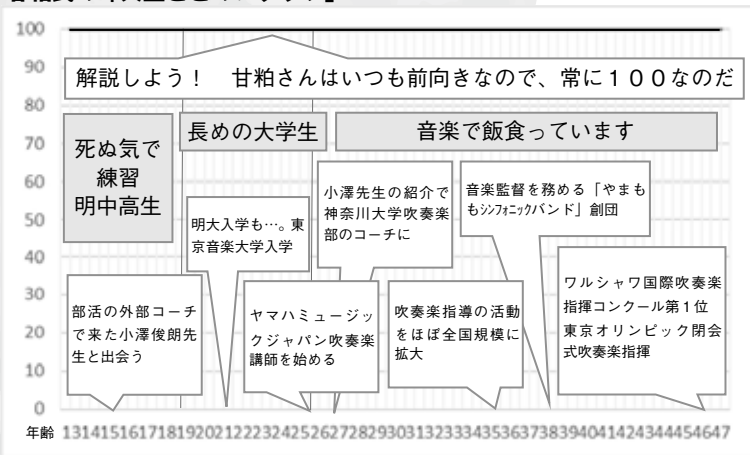
現在活動の拠点とされているやまもシンフォニックバンドとはどのような団体で、どのような経緯で参加されたのでしょうか?

仕事で北海道の社会人バンドと長く付き合いがありました。2011年(平成23年)に区切りがつかしました。そのころに、僕にゆかりのある方、例えば指導している高校の関係者や、同級生、友人などが集まってやろうという話があり、2013年(平成25年)にやまもシンフォニックバンドとして実現しました。

当初は、僕に縁のある人が集まってきたものですが、今はどんな方でも入りたい人が入れるようになっています。

このバンドは、とまり木みたいなもので、音

甘粕氏の「人生とこのグラフ」



楽が人生のそばにあつてほしいという考えで、オープンにやっています。

私の方も、土日は練習を長時間できる曜日でもあるので、以前はきゅうきゅうに指導の仕事を入れていましたが、今はなるべくこのバンドの活動に充てており、その活動に喜びを感じ充実感を得ています。もう社会に出て20年を過ぎているので、やりたいこともある程度やりながら、いろいろなバランスをとっていきたくと思っています。

振り返ってみると、自分自身は好きなようにやっただけで、そんな自分の前に誰かがニンジンをおくらせてくれるのでそれを取って、その繰り返しで今までやってきた気がします。

その例えを拝借しますが、ニンジンを用意する側の人も何の目算もなく甘粕さんの前にニンジンをおくらせないと思うんですね。これもここまでの縁がもたらしているのだと思います。

人から頼まれたことは極力なるべく断らないです。この20年、依頼があればどんな場所でも、僻地でも船でも赴いていました。

その結果学んだことがあるんですけど、技術的に未熟なバンドは宝の山なんです。音大生が軽くこなしてしまうような指示も、そういう子たちにはほとんど伝わらない。でも、ここにこうして集まって、楽器を持って座っていることは絶対音楽が好きなんですよね。そんな子たちに2〜3時間という限られた時間の中でどう伝えれば目が輝いて、音が変わって、明日に希望を持ってもらえるか。この子たちが夢を持って、みんな音を出して演奏することが楽しいって思ってもらえるか。このものすごい命題を毎回「出た」と勝負で知恵を絞って考えるのが本当に面白い。

これは恵まれた環境で活動している上手なバンドを指導する時には得られない感覚ですね。

甘粕さんにとっての縁とは何でしょうか？

出会いが全てで、その出会いがどこかで実を結ぶと思っています。僕は出会いを最も大切にしている、そのために行動したいと思っています。

地球は行動の星です。自分が動けば何らかの出会いがあります。例を挙げると4年前に、社会に出て20年目を記念してヨーロッパに長く滞在したことがありますが、い



いよ帰国かというときに、パリのカフェで現地に長く住む高齢の女性に出会いました。名前や細かい身の上などは聞いていませんが、その女性に今回の旅の目的を話すと「20年で満足するのもいいけれど、ここで満足せずに自分のように50年に向けてがんばって」と励ましてもらい、上手く気持ちを切り替えることができたんですね。その方とはそれっきりですが、そういう経験が多くあります。どんな小さな出会いも大切にしたいです。

甘粕氏が指揮者を務めるやまももシンフォニックバンドは今年結成10周年を迎え、4月に記念の定期演奏会が開催されました。活動の様子は公式ホームページとyoutubeチャンネルで見られます。



やまももシンフォニックバンド公式 HP
<https://yamamomo-sb.com>

やまももシンフォニックバンド youtube チャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCYzfkBou6C_0p_52BI_CxUw



公式 HP



youtube
チャンネル



コンプレックスを原動力に 立川志獅丸 (落語家・立川流真打)

2015年以来7年ぶり2回目の登場となる落語・立川流真打の立川志獅丸氏(本名・吉盛正之、平成7年卒・柔道部)。同期だからこそ聞ける話もあろうということで、氏が応援するBリーグ・アルバルク東京の試合後という高揚感の残る中、話を伺いました。

曰く付きの真打昇進

ラジオで初対面の人をゲストに迎えてインタビューをするのも多いと思いますが、事前にどういった準備をされていますか？

初対面のインタビュアーであれば、相手のことをちゃんと調べます。ただ、相手を知るのはいけけど、調べすぎるとこちらも事前に考えてしまい、訊きたいこともかつちり固まってしまうので、相手の方が話しくくなると考えています。

あと、街中で道行く人に話を訊く突撃リポーターみたいな場合は、準備のしようがないので相手の呼吸や仕草に気を払いつつ「落語家です」というのを前面に出して話を聞きたさを感じますかね。

2015年の会報インタビューで、真打昇進について「ここ数年でなりました」と語っておられました。実際4年後に真打に昇進されましたが、その直前に大変な出来事が起こります。

2年前ですね。これ、言い方間違えると大変なことになるんですが(笑)。いったん真打昇進が内定して、いろいろとあいつ回りとか、パーティーとかの準備を進めていたんですが、そんな最中に前座に昇されてしまいました。これは……仕方ないです。すべて自分が悪かった。というのも、師匠(立川志らく)が長年劇団をやっていた、常々「そこに顔を出して勉強するように」と言われていたのを何年も無視した結果なので「本当に申し訳ありません」としか言いようがない。

前座降格は「気を抜くなよ」という、師匠

の最後の教えでしようね。真打になっても師匠は師匠ですし、ずっと見てもらっていたにいてるということです。

結果として前座から一足飛びで真打昇進という、これまでに例のないことになったんですが、師匠からは後でフォローかもしれないが「いいネタになったね」と言われました。

ただ、この一件で「志らくのパワハラだ」とか、いろいろなところに飛び火したのがね……。外野は好き放題言うけど、当事者の私からすれば決してそんなことはありません。ただ、Yahoo!ニュースに載ったのがこれが初めてでした(笑)。

いろいろな方から連絡をいただいて「Yahoo!ニュースすごいな」と思いましたね。

素晴らしきかな「明治愛」

いろいろな方から連絡をということですが、明大明治と現在のつながりはありますか。いろいろあります。

三宅先輩の同級生の笹本先輩がある日、寄席に落語を見に来ていたで「ご自身の職業関連の集まりの場で落語をやってくれと依頼されて一緒に新作落語を作ってやらせていただいたり、ほかの方にも呼んでいたで、森下の「桜なべみの家」さんで落語をやったりしました。

昨年は鈴木正人教頭からの声掛けで母校の芸術祭に出させていただきました。調布校舎は、入口右のテニスコートだけで、私が通っていた猿樂町校舎の校庭が抜かれているんじゃないかと思うくらい広くて、舞台に



なったホールも1000人くらい入るので、落語会に貸してほしくくらいで驚きました。

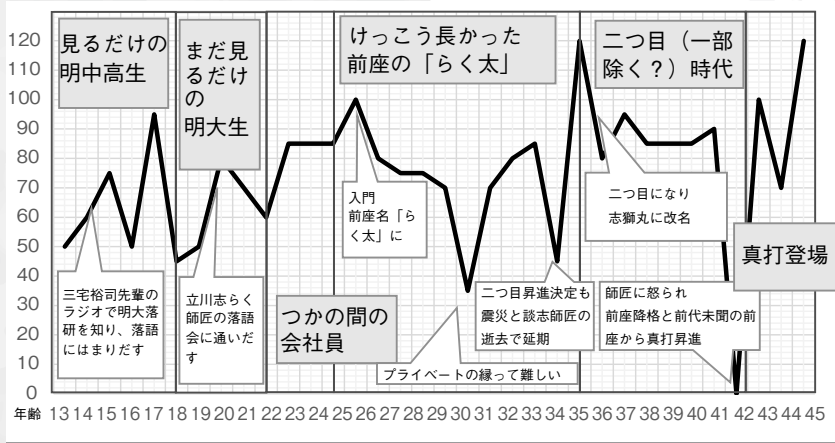
制服も詰襟じゃないし、坂もないし(笑)、窓口の先生も女性で、話し方もフランクで、時代が変わったなあ、うらやましいなあと思いましたね。

芸術祭で接した生徒の印象はいかがでしたか。

母校ということで「受けなかったらどうしよう」と若干緊張しましたが、ちゃんと聴いていただけてよかったです。

また、学校から「生徒参加型の会にしてほしい」のリクエストをいただいて、鈴木先生からは「紙切りなんかどうか」と言われましたが、当日は小嘶教室をしました。打合

立川志獅丸氏の「人生ととのいグラフ」



せなし、事前予告なしでやりたい人を挙手で募ったんですが、結構手を挙げる生徒がいたのが印象的でした。「せっかくなので先生にもやらせよう」と生徒に指名させたら、真つ先に名前が挙がったのが国語の山口先生で、「ああ、やっぱりこの感じなんだな」と思いました（笑）。そのあと若い先生が指名されて、最後に「こういう時、一番指しにくい先生は誰ですか」と生徒に振ったら名前が挙がったのが体育の前島先生。確かに壇上に上がってくる雰囲気は怖かったですね（笑）。

真打昇進落語会の際に、明治高校柔道部OB寄贈の後ろ幕がかけられていました。柔道部とのつながりは今でもあるのでしょうか。

大学時代は先輩に柔道を教えに行ったりしていましたが、自分が落語家になり、顧問も笹倉先生でなくなったため、しばらくつながりは途切れていましたが、笹倉先生が退任されるタイミングで柔道部のOB会が開催されてつながりが復活しました。そして2015年の会報インタビューを担当された荒木先輩が柔道部OBだったこともあって、年1回開かれる笹倉先生の会に呼ばれて、落語をやらせていただいています。後ろ幕ありがとうござりました（笑）。

改めて思うのは「明治ですごいな！」ってことです。世代は違っても全国にOBがいて、みんな明治愛にあふれているんですね。「俺は（立川）志の輔の先輩なんだよ！」と何人の先輩に言われたことが（笑）。

万人が、好きなことを仕事にできるものではありません。志獅丸さんは、好きなことを仕事にして、真打に上り詰めた今、明大明治時代を振り返って「あの経験が生きているな」と感じることはありませんか。

学校生活が楽しかった思い出はありますが、自分を出せなかったというコンプレックスみたいなものを感じていました。同級生の中にはうまく自分を表現できる人もいましたが、私はいわば「普通な感じ」だったと思います。その最たる例が「女性とうまく話せない」ことで、大学に行っても人前で何かするということの恥ずかしさが消えなくて、そんな

な自分を変えていきたいと思ったんです。

大学卒業の時に着物の会社を選んだのもそんな理由で、接客するときにお客様と長い間話をして関係を築いて気に入った商品を買ってもらって、「いい買い物をしたな」と気分をもっと帰ってもらおう、ということに面白みを感じたんです。でも実際にやってみると私のやりたいことは少し違っていたのでくすぶっていました。結局、殻を破ってくれたのは落語の世界に飛び込んだ先で直に触れた談志師匠や志らく師匠の姿でした。刺激が半端なかったですね。

振り返ってみると、男子校時代の明大明治で感じたコンプレックス的な思いが武器になったのかもしれない。

今年が20周年ということで、7月6日に国立演芸場で記念落語会が開催されます。その先どういった姿を目指していくのかを教えてください。

そこが課題で、一番上の真打になって『立川



志獅丸』というのがどう認知されるのか認知されるようなものをどう作っていくのか。中々難しいですが、地道にやっていくのかなと。

東京のほかにも自分で主催する会をこれまでお世話になってきたいわきや宇都宮などでやって、そこからまた活動を広げていって…。まだ「これが志獅丸だよ」という落語ができていないので、まずはそれを作っていくのが一生の課題かなと思っています。

まあ、それが突き詰めていくのが楽しいんですよ。

これからの活躍を期待しています。

読者へのメッセージ動画、そして同期のよしみということで志獅丸氏に制作を依頼した三題噺の動画はこちらから。出したお題は「縁」と「と」そして「明大明治」。

上手くととのったかどうか・・・？



選手に悔いのないジャッジを

宮田勝行

(元東京六大学野球審判員)

東京六大学野球や東京都高野連で四半世紀にわたり審判員を務めた宮田勝行氏(平成7年卒・硬式野球部)。「自分は上手ではなかった」と振り返る彼の道のりについて辿ります。昨年第一線を退きましたが、そこにも彼なりの美学がありました。



最終打席での

「未練」から審判の道へ

中学受験で明大明治を受けようと思ったきっかけはなんですか？

中学に入ったら野球をやりたいと思っていました。特に(東京)六大学野球の舞台でプレーしたいという気持ちが強くありました。その中で、同じ受験日(当時は2月1日)の早実も検討していましたが、早実が2科目受験で、国語が不得意だったという事情もあり、4科目受験だった明大明治を選びました。

中学・高校を出て社会人になった今は、卒業後もつながりが強い明治を選んだよかったと思っています。

高校3年の夏の大会で二松学舎大付属に敗れて引退した後、その年の秋の都大会から審判員になられていますが、どのような経緯があったのでしょうか？

大会終了後、8月に入ってOB会の皆様が慰労会をつつじが丘(※)で開いてくれることになりました。

そこに、たまたま郷司(裕)先輩がいらっしゃって、引退した我々高3に対して、審判をやらなかつと声をかけてくださったのです。そこで自然と手を挙げていた自分がいきました。

なぜ手を挙げたのか。後になって近藤(裕樹)先輩に指摘されて気付いたのですが、野球に未練があったのだと思います。中でも最後の打席でフルカウントになってからのラストボールを外れたと思いい見逃したところ、審判がストライクと判定して三振に終わったこと

を引きずっていたのだと思います。

郷司先輩は当時も現役の審判員として多忙な日々を送られていて、慰労会に顔を出されることはほとんどありませんでした。先輩にはその後も大変お世話になりましたので、あの日の出会いには不思議な縁を感じずにはいられません。

(※)当時硬式野球部が練習拠点としていたグラウンドがあり、例年体育祭の開催場所にもなっていた。現在は大きいマンションが建っている。

なお、宮田氏の人生を大きく変えた存在である郷司裕氏については、野球殿堂入りした2017年の総明会会報に特集ページがあります。総明会HPのアーカイブにありますのでそちらもご覧ください。

負けた選手が

「試合ができてよかった」と 思えるような試合を

審判としてキャリアを重ねる中で、意識や考えに変化はありましたか？

26歳の時、明治神宮大会の審判を務めたことをきっかけに、審判としての意識が大きく変わりました。

私が審判を志した原点のひとつに、高校最後の打席の時の思いがあり、選手に後悔させないような審判を務めたいという気持ちがあったのですが、いつしかその気持ちが薄らぎ、自分のために審判をやっているような感じになってしまっていました。

そのような時期に審判を務めさせていただいた明治神宮大会は選手の目つきがいつも以上に真剣で、TV中継や大勢の観客、プ

ロや大学のスカウトもいて、選手が人生をかけて臨んでいる緊張感あふれる舞台でした。それ以降、審判を務める際は、正確な判定だけでなく、選手がストレスを感じないように、負けてしまった場合でも試合ができてよかったと思ってもらえるように心がけるようになりました。

高校野球の審判員として活動されている中、29歳の時に六大学野球の審判員になられています。どのような経緯があったのでしょうか？

高校野球、そして東京六大学野球で審判を務められていた明大OBの布施(勝久)先輩から突然連絡をいただきました。そして、春の早慶戦の際に神宮球場に呼ばれて面接を受け、審判員になることができました。

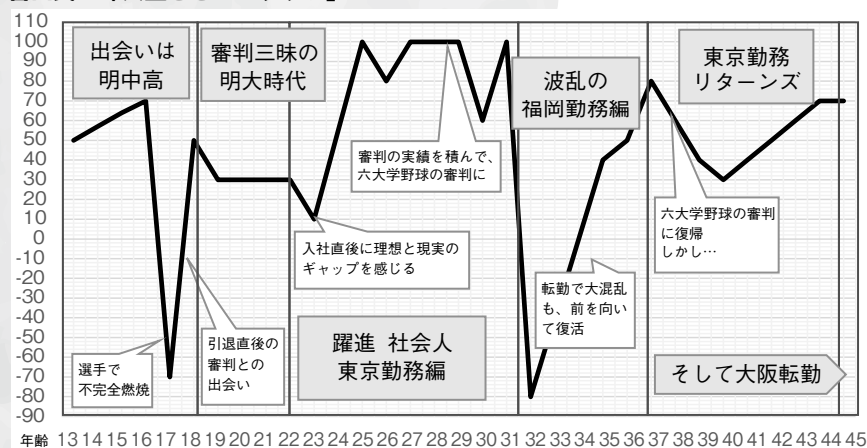
目標としていたポジションであり、連絡を受けたときは、チャンスだと思いました。お声をかけていただいて、今でもとても感謝しています。

東京六大学野球の審判として頑張っていた中、突如とこの指数が大暴落します。これは何があったのでしょうか？

初めての首都圏外への転勤で、家族と二緒に縁もゆかりもない福岡に引っ越しました。知らない土地での新たな生活、また仕事の内容も大きく変わったため、当初は何をするにも勝手がわからず、戸惑いを感じていました。

福岡時代、審判としての活動はどうでしたか。休まれていたのですか？

宮田氏の「人生ととのいグラフ」



実は、憧れのめり込んでいた六大学野球の審判だったので、転勤が決まった際も「福岡から通つても続けた」と申し出ましたが、スケジュールに不確定な要素が多く現実的に難しいということで、諦めざるを得ませんでした。

そんな喪失感の中、明大の先輩で東京六大学野球の審判員を務められていた吉川（芳登）さんから福岡六大学野球（※）の審判を紹介していただきました。「いつか必ず東京の六大学野球の審判に戻りたい」という思いもあり、引き受けることにしました。

ただ、やってみると、福岡六大学の選手もとても一生懸命で真剣に取り組んでおり、私も選手に応えようと全力で取り組みました。

すると、2学年上で明大スポーツの活動をしていた先輩が地元でスポーツ記者を務めていらして、東京六大学から来たということで取材してくれました。その結果、私に注目が集まり、新しいつながりが生まれたんです。改めて「東京六大学」という看板のすごさを感じました。

福岡には5年間いましたが、審判としての活動が安定し、やがて仕事も年を追うごとに落ち着いていきました。

（※）福岡六大学野球連盟。九州共立大学・九州産業大学が強豪として有名。

原点に立ち返り、後進へ道を譲ることに

東京に戻った後、再び東京六大学野球と都の高野連の審判に復帰されましたが、今度は大阪への転勤が決まります。

この転勤を機に審判の二線から退くことにしました。

大阪からは通うのが難しいこともありましたが、自分の原点である高Ⅲのフルカウントの時の気持ちを思うと、十分な準備ができていない自分が人生をかけた人たちの審判をするというのはできないと思い、決断しました。

福岡時代のように、大阪で審判を続けるという考えはなかったのですか。

実は、大阪でもやらないかとお誘いはいただきましたが、大阪には単身赴任で行っていて、仮に審判を引き受けると東京にいる家族のもとに帰れなくなるので、完全に二線から退くことにしました。

これから、野球とはどういったかわりを持ちたいと思っていますか。

東京に戻ったら、何らかの形で母校のサポートをできたらと思っています。

審判を退かれた今、あなたにとって明治とはどんな存在ですか。

私は中学から大学までの10年間明治に育てていただき、人生のみちしるべを与えて

もらいました。だから、六大学の審判を務めていた時も、明治への恩返しという気持ちを持っていました。

私の人生は明治そのものです。明治に行つてよかったと思います。

また、先日テレビ（※）でマンドリン部の特集をしているとき、部長の方が言った言葉が心に響きました。

「明治の音色を守っていかなければならない」と言っていたのを聞いて、伝統のすごさを感じ、それが自然と出てくることに感じました。

（※）今年2月14日にBSテレ東で放送された「THE名門校」。コロナ禍の中全国大会出場を目指すマンドリン部の姿が特集された。

一つ一つの問いに真摯に向き合う宮田氏の姿の向こうに神宮球場のグラウンドが見えた気がしました。長い間お疲れさまでした。



鈴木正人先生還暦直前記念演奏会



10月10日、鈴木正人先生の還暦を祝うコンサートが開かれる。
中1・中3と担任を持っていた我々が幹事 というのも何かの縁、ということで取材に伺った。

2022年6月11日。

「この曲は、音の調和が大切です。気持ちよく吹きたくなるセクションもあると思いますが、吹き過ぎには注意してくださいね」

指揮者の声が横長の練習室に響く。しかし、そこにいるのは鈴木先生ではなく、今回の演奏会の発起人である前川倫輝氏（平成26年卒）。今日は先日の練習で受けた鈴木先生からの指導をフィードバックしつつ練習を進めるらしい。この日のように先生が来れない日は参加メンバーの中の誰かが指揮台に立つ方式のようだ。最初は三々五々に集まったメンバー各々が自分のパートを確認するところから始まり、最初は思い思いに音が鳴り響いていたが、予定の人数が集まり、前川氏の指揮で練習が始まる。茶道の割り稽古のように数小節ごと演奏しては前川氏からサジェストが入る。この繰り返しによって音色が徐々に一つの旋律としての輪郭を持ち、ととのい始めていく。その様子を眺めていて、この日参加していた35人ほどのメンバーは、指揮台に立つ前川氏の向こうに鈴木先生の姿を浮かべて演奏しているのだろう。そう思わずにはいられなかった。

我々が出会った頃、鈴木先生は20代後半。当時は年の近い兄貴分として、時に生徒たちと感情的に衝突することもあったという先生の指導も年月を重ねるにつれて円熟味を増し、指揮者、そしてトレーナーと、生徒との関係性が変化していったという。そして今年、先生が還暦を迎えるにあたり



て「こんな機会はない」と前川氏がOB・OGに声をかけたところ、1000名を超えるメンバーから反応があったという。中には仕事や家庭の事情で実際に参加することの叶わないメンバーもいるが、その時その時に都合のつくメンバーが集まりつつ、定期的に練習を重ねている。限られた時間を有効に使うノウハウは各人の社会経験はもちろん、スクールバスの関係で18時には完全下校しなければいけない調布校舎での練習で鍛え上げられた賜物なのかもしれない。演奏会が行われるのは10月10日。彼ら、彼女らが先生の指揮のもとでどのような演奏を聴衆に届けてくれるかを楽しみにしつつ、練習室を後にした。

先生が〇〇〇をやめた日

かつては音楽準備室がたばこの煙でいぶされるほどのヘビースモーカーとして知られた鈴木先生。しかし、あることがきっかけで現在は電子タバコにしているそう。

そのきっかけを作ったのが、今回座談会に登場してもらった菅野さん。というのも、彼女が担当するオーボエは指揮をする鈴木先生に近い位置に座ることから、どうしてもたばこの匂いが気になってしまい、同じパートの子や同級生（鈴木先生が担任だったとのこと）と共同戦線を張って事あるごとに先生にアピールした結果、ついに牙城を突き崩す事と相成ったという。

当日この事実を知った、往時の姿を知るOB達は口々に驚きの声を上げ、「昔は準備室とか研究室に行くとなればこの匂いがした」「そうそう、国語科研究室とかすごかったよね」などと昔話に煙を、いや花を咲かせるのだった。





井狩 慶大 (平成 23 年卒 サックス) 今回のコンサートに向け、久しぶりに楽器を出してきて先生の指導を受けていますが、自分が学生だった頃と変わらないエネルギーで、「本当に還暦？」と思うくらいです。これからもエネルギーあふれる演奏を若い世代としていてもらいたいです。

前川 倫輝 (平成 26 年卒 トランペット) 先生が還暦と聞いて「OB・OG が集まるこんなチャンスは二度と来ないのでは」という思いで声を掛けたら予想以上に反響があり、100 人近くの参加者を集めることができました。先生の人望のすごさに驚いています。やるからには楽しい演奏会になればいいな、と思っています。

石井 慎也 (平成 1 年卒 チューバ) こんなにも多くの人が先生を囲もうと集まってきて、まさにお祭りみたいな気分で参加させてもらってます。先生に指導を受けた人

達が一堂に集まって演奏するというのはなかなか貴重な機会だと思うので、自分も一人のメンバーとして楽しみたいと思います。

竹川 佑杜 (平成 28 年卒 トロンボーン) 先生とは、卒業した今も飲みに行ったり、楽器の面倒を見ていただいたり付き合いが続いており、「本当にいい先生を持った」と思っています。今回のコンサートはみんなで一つの曲を楽しみむ久しぶりの機会なので、この機会を大切に、先生の還暦をお祝いしたいと思っています。

菅野 歩香 (令和 3 年卒 オーボエ) 先生と久しぶりに演奏できる機会をととても楽しみにしています。(注) この春まで現役で鈴木先生の指導を受けていた彼女。思い出…というにはまだ早かったかもしれません。

吹奏楽班 OB・OG 座談会

◎メンバー

遠藤 智史 (平成 7 年卒)

福田 哲史 (平成 7 年卒)

石井 慎也 (平成 12 年卒)

井狩 慶大 (平成 23 年卒)

前川 倫輝 (平成 26 年卒)

竹川 佑杜 (平成 28 年卒)

菅野 歩香 (令和 3 年卒)

新歓はアメとムチ？

遠藤 智史 福田は無理やり吹奏楽班に入れさせられた？

福田 哲史 そんなことはないって。確か入学してすぐに鈴木正人先生が東京正人吹奏楽団のコンサートがあるのでみんな来てね、というので見に行ったら、「あの先生かっこいいじゃん」って、母親がハマってしまったのがきっかけ。自分も音楽に興味があったので入ろうと思った。明中・明高 OB の兄は「吹奏楽班は軍隊みたいなどころなので絶対やめろ」と言っていたが、見学や仮入班ではまったくそんなところがなかったけど、いざ入班してみたら雰囲気ガラッと変わって、屋上で正座させられてミーティングさせられたりして「恐ろしいところだな」と感じた。

前川 倫輝 私も、新入生歓迎演奏会で「かっこいいな」と感じて見学に行きました。すると先輩がまあ優しく、小学生の時楽器を触っていたこともあって音が出るからおだてられて、本当は運動部、サッカー部に入ろうと思っていましたが入班しました。そう

したら、次の日には理由もなく先輩に怒られて、「なんだこの部活？」と思いました。

手かもしれないですけど、あの試合を応援できたというのは一生心に残る出来事でした。

前川 倫輝 …… ちなみに、その時怒ってきた先輩ここにいますよと、井狩を指さす。

福田 哲史 応援団はすごいよね。総明会の懇親会とかはやっぱ応援歌を歌いに来ているというか、お酒飲んでご飯食べて、応援歌

井狩 慶大 (軽く頭を下げて) とりあえず、新入りは一回締めておこう的な感じで(笑)

歌って、校歌で締めてというのが、総明会の最大の目的なんじゃないかなと思ってる。

遠藤 智史 八つ当たり的な？

井狩 慶大 応援歌は、歌えなくても耳にしたことがあって、なんとなく頭に残っているものだな、と思います。

菅野 歩香 私も皆さんと同じ感じで、前の子と後ろの子が「ブーランに入る」と言ったので、流れて見学について行ったら、先輩が優しいとか感じなかったんですけど、自分たちが幹部になった頃に新型コロナウイルスの関係で練習ができなくなると、いざ再開し始めた時、今度はみんな辞めたがって人数が減っていったので先生が困り込むようになって、「中 1・中 2 の子が辞めないように先輩は怒らない方がいい」ということになったんです。以来、あまり怒るということとはなくなりました。

石井 慎也 会社で明大卒とか、明校卒の会があるんですけど、応援団 OB の方のリードによる応援があったり、校歌を歌ったりします。自分も応援団と 6 年間一緒にいたのでもう自然とお声がかかってしまうみたいな感じですね。

遠藤 智史 やつと気づいたんだ。何年かかったんだろ。

井狩 慶大 我々の世代は、あんまり歌詞とかは覚えていなくても、あの雰囲気が好きだからというのがあると思います。

前川 倫輝 30 年かかりましたね(一同笑)

福田 哲史 総明会に来る人は校歌は知ってるんじゃないかな。

「明治らしさ」を感じる瞬間

井狩 慶大 いろいろあるんですけど、一番この瞬間が好きだなと思っていたのは、野球応援なんです。高 3 の時に清宮(幸太郎)の世代が活躍していて、明治対早稲田実業があつて、自分が指揮を振らせていたんだんですけど、地方大会とは思えないくらいたくさんお客さんがいて、目当ては清宮選

手かもしれないですけど、あの試合を応援できたというのは一生心に残る出来事でした。

石井 慎也 会社で明大卒とか、明校卒の会があるんですけど、応援団 OB の方のリードによる応援があったり、校歌を歌ったりします。自分も応援団と 6 年間一緒にいたのでもう自然とお声がかかってしまうみたいな感じですね。

「明治らしさ」を感じる瞬間

井狩 慶大 いろいろあるんですけど、一番この瞬間が好きだなと思っていたのは、野球応援なんです。高 3 の時に清宮(幸太郎)の世代が活躍していて、明治対早稲田実業があつて、自分が指揮を振らせていたんだんですけど、地方大会とは思えないくらいたくさんお客さんがいて、目当ては清宮選

手かもしれないですけど、あの試合を応援できたというのは一生心に残る出来事でした。

石井 慎也 会社で明大卒とか、明校卒の会があるんですけど、応援団 OB の方のリードによる応援があったり、校歌を歌ったりします。自分も応援団と 6 年間一緒にいたのでもう自然とお声がかかってしまうみたいな感じですね。

「明治らしさ」を感じる瞬間

井狩 慶大 いろいろあるんですけど、一番この瞬間が好きだなと思っていたのは、野球応援なんです。高 3 の時に清宮(幸太郎)の世代が活躍していて、明治対早稲田実業があつて、自分が指揮を振らせていたんだんですけど、地方大会とは思えないくらいたくさんお客さんがいて、目当ては清宮選

手かもしれないですけど、あの試合を応援できたというのは一生心に残る出来事でした。

石井 慎也 会社で明大卒とか、明校卒の会があるんですけど、応援団 OB の方のリードによる応援があったり、校歌を歌ったりします。自分も応援団と 6 年間一緒にいたのでもう自然とお声がかかってしまうみたいな感じですね。

「明治らしさ」を感じる瞬間

井狩 慶大 いろいろあるんですけど、一番この瞬間が好きだなと思っていたのは、野球応援なんです。高 3 の時に清宮(幸太郎)の世代が活躍していて、明治対早稲田実業があつて、自分が指揮を振らせていたんだんですけど、地方大会とは思えないくらいたくさんお客さんがいて、目当ては清宮選

手かもしれないですけど、あの試合を応援できたというのは一生心に残る出来事でした。

石井 慎也 会社で明大卒とか、明校卒の会があるんですけど、応援団 OB の方のリードによる応援があったり、校歌を歌ったりします。自分も応援団と 6 年間一緒にいたのでもう自然とお声がかかってしまうみたいな感じですね。

「明治らしさ」を感じる瞬間

井狩 慶大 いろいろあるんですけど、一番この瞬間が好きだなと思っていたのは、野球応援なんです。高 3 の時に清宮(幸太郎)の世代が活躍していて、明治対早稲田実業があつて、自分が指揮を振らせていたんだんですけど、地方大会とは思えないくらいたくさんお客さんがいて、目当ては清宮選



SOUMEIMAGAZINE

No.012-2022

吹奏楽班OB・OGバンド結成!



寄稿を依頼した平成30年卒石神鈴音さん

今回のテーマ、「縁」ということで、様々な班部活動がある中で、OB・OG活動が活発な一つとして、吹奏楽班を取り上げたいと感じていました。そんな中、OBの一人からこんな活動もあると教えていただいたのが、Blueish purple Brass Bandでした。総明会懇親会でも毎年OB・OGたちが演奏にしていることは知っていましたが、このようなバンドまであるのかと驚きとともに、早速、学校に鈴木教頭先生を訪ねて取材の橋渡しをお願いしました。平成30年卒石神鈴音さんを紹介いただき、寄稿や写真、パンフレットなどの提供を受け記事にまとめました。また、最後にStudio Junkers様にコンサートのダイジェスト版も提供いただきました。ぜひ、明治の音色をお楽しみください。



演奏会ショートムービー (youtube)

<https://www.youtube.com/watch?v=6Pflu25MfGM>



Blueish purple Brass Bandの運営方法

Blueish purple Brass Band 結成の経緯

Blueish purple Brass Band の

「Blueish purple」とは「紫紺」という意味で、青春を紫紺色で過ごしたメンバー、つまり、明治大学付属明治高等学校吹奏楽班を中心に結成された金管バンドという意味になっております。結成された当初はコロナ禍で、演奏会はもちろん、みんなで集まって楽器を演奏するということが行えませんでした。そんなときに、もう一度中高の時のように、楽しく演奏しようではないか、という思いからこのバンドが誕生しました。

みんなで役割分担をしながら運営しています。練習をみたり譜面を用意する音楽面に特化した係、練習場を取る係、会計係、広報係などがあり、さらにその係を統括する代表がいます。手が足りない時は、本来その係に属さないメンバーも積極的な手伝ってくれます。このように、みんなで協力して運営しています。まだ結成して日が浅いこともあり改善点も多いですが、みんなが楽しめる団体になるよう試行錯誤しながら取り組んでいます。

活動するうえで大切にしていること

まず、音楽をお客様に楽しんでもいただくことを目標に活動しています。そして、そのために演者みんなが楽しめるようにすることを大切にして活動をしています。明高出身以外でも明高OB・OGと「縁」があればメンバーとして参加してもらっているの、そのメンバー達がアウェイな気持ちを感じないように意識しています。音楽を通じて幅広い年代の方とつながることができるので嬉しいのです。

なぜ吹奏楽班OB・OGの活動が活発なのか

まずは、音楽のおかげだと思っています。音楽は、楽器ひとつでどんな年代の方ともつながることができるのです。バックグラウンドが違おうと、一緒に音を奏でている瞬間はひとつになることができます。そのため、卒業して何年経ったとしても、どんなに歳が

離れていたとしても、つながることができるので、活動が活発になります。

次に、吹奏楽班の活動が、沢山の方々に支えていただけて成り立つものだからだと思います。コンクールや定期演奏会などのイベントでは、OB・OGがお手伝いします。そこで先輩や後輩、同期と会い、吹奏楽班の奏でる音楽を聴くと、また自分達も音楽をしたいという気持ちになります。

そして、また活動したいと思い集まったOB・OGのところに、顧問である正人先生が駆けつけてくださることが大きな理由だと思います。現役中高生との活動後にOB・OGバンドの練習をみてくださったり、お忙しい中時間を作っていただき感謝の気持ちでいっぱい입니다。

本年学年テーマ『縁』について

とても素敵なテーマだと思います。今私がこのように書かせていただいているのもご縁があってこそです。Blueish purple Brass Bandを通して出逢えたメンバーもご縁があってこそです。こんなにたくさんの方がいる中で、出逢うことができた素敵なご縁に感謝しています。「縁」という言葉





の意味を改めて考えるきっかけとなったので、このテーマの時に原稿を書かせていただけて嬉しいです。ご縁を大切にしてこの先も生きていきたいと思っています。

現役時代の思い出

ここでは語りきれないくらい沢山の思い出があります。楽しかったことばかりではないのですが、今では素敵な思い出となっています。卒業から4年経った今でも鈴木正人先生や同期の仲間たちと集まったときはこの思い出を笑いながら話します。この時間が私はとても好きです。たくさん卒業生を送り出してきた鈴木正人先生が私たちの細かい思い出まで覚えていてくださって温かい気持ちになります。現役時代に経験したことはきつと何十年経ってもみんな話したくなる大切な思い出です。

石神さんにとっての明治高校とは、吹奏楽班とは、

Blueish purple Brass Band へ

3つ共通でいえるのは、私にとって居心地が良く、自分の居場所だと感じています。高校は、遊びに行くことと予定さえ合えば生方がいらつしやるのが嬉しいのです。教室や廊下をみると色々な思い出が蘇ります。この高校に入ってよかったと思います。吹奏楽班はいつでも帰ってきていい場所だと思っています。卒業しても、そこで終わりにならずに先輩同期後輩たちとご飯へ行ったりしてお話できるのはとても幸せです。また、卒業後に高校へ遊びに

PROGRAM

La Peri Fanfare / Paul Dukas
ドラゴンクエストメドレー / すぎやまこういち
Rafaga / 河合和貴
Three More Cats / Chris Hazell
Winter Games / David Foster
～休憩～
Summon the Heroes / John Williams
(Arr. Yuto Takekawa)
You Raise Me Up / Rolf Lovland
(Arr. Yuta Nakajima)
Music for a Festival / Philip Sparke
(Arr. Yuto Takekawa)

第2回プログラム

行つた際に、鈴木正人先生がミーティングで紹介してくださり、現役ではありませんが、吹奏楽班のメンバーの一部だということを感じます。

そして Blueish purple Brass Band についてです。

他の所属団体の活動ができずにいた時に、集まるために細心の注意をした上で、集まることができたあの初回練習のわくわくは今でも忘れられません。逆境の中でも活動できたのは、このメンバーだからこそだと思います。

後輩たちに伝えたいこと

今過ごしている中学・高校での時間を思いっきり楽しんでいただきたいです。そのとき当たり前にあった環境がかけがえのない時間だったと後から気付くこともあるはず。周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、一瞬一瞬を大切に過ごしたら、一生の仲間に出逢えると思います。



第2回演奏会 ブルーレイ発売中!

お買い求めは、QRコードでアクセスし、アクセスパスワード「musicvideo」を入力してください。



公式ツイッターURL
https://mobile.twitter.com/blueishpurple__



第3回演奏会

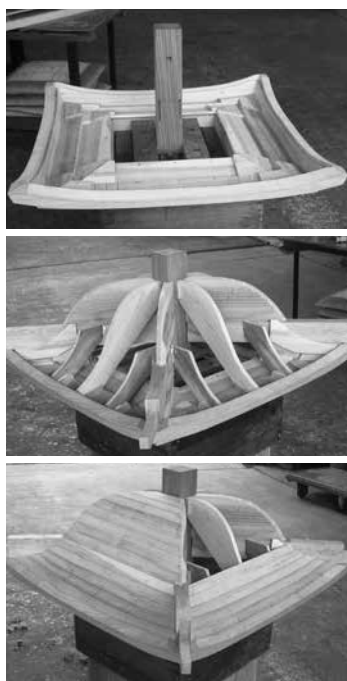
日時:2023年2月25日 夜公演
場所:三鷹市芸術文化センター風のホール

明治が繋いだ神輿と先輩・後輩

神輿完成報告

1 木地製作

神輿の骨格とも言える木地。神輿のパーツ毎に、樺材や松材などを使い分けて製作しています。
木地は約3ヶ月を掛けて製作されました。



2 彫刻製作

胴周り等の彫刻は、平らな1枚の樺の板から製作されます。彫刻の入るスペースに合わせて絵図を描き、それに沿って荒彫りし、最後に仕上げ彫りをし、色付をして完成となります。製作には約3ヶ月の期間を要しました。



3 金具製作

鋳り金具を製作するため、出来上がった木地から型紙を製作します。様々な種類の型紙を駆使し、型紙に合わせた真鍮板に絵柄を刻んでいきます。この神輿には約1800点にも及ぶ金具が使用されています。製作期間は約3ヶ月。



4 メッキ加工

金具は完成した後メッキ加工に入ります。メッキが付きやすいよう金具に磨きをかけた後、金色や銀色のメッキ加工を施します。
神輿の随所にメッキ加工を施された金具が取り付けられると、豪華で華やかさが加わり完成へと近づきます。



台輪に取り付ける「第四」と町会名が入った紋。1枚の真鍮板から打出して出来上がった金具は、下地を付けた後に金メッキ加工を施します。



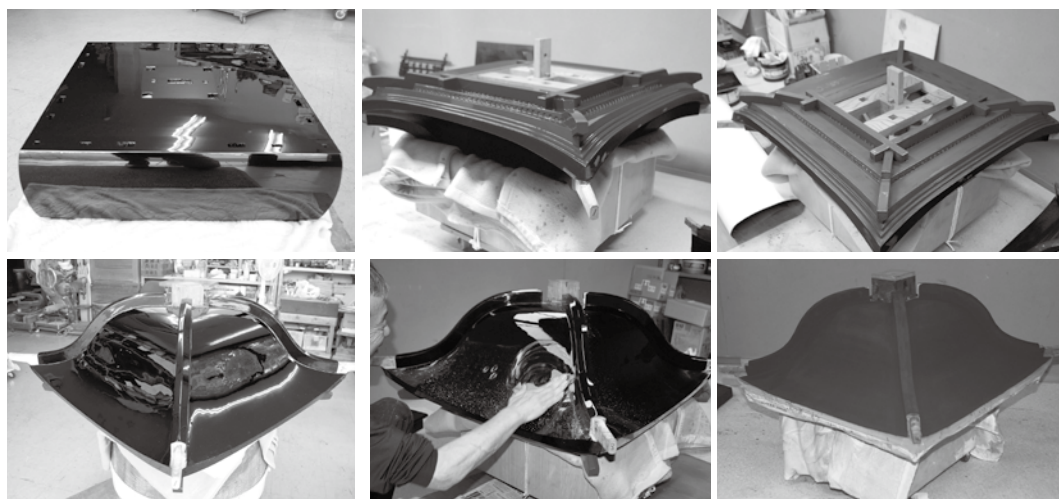
SOURCE MAGAZINE



No.013-2022

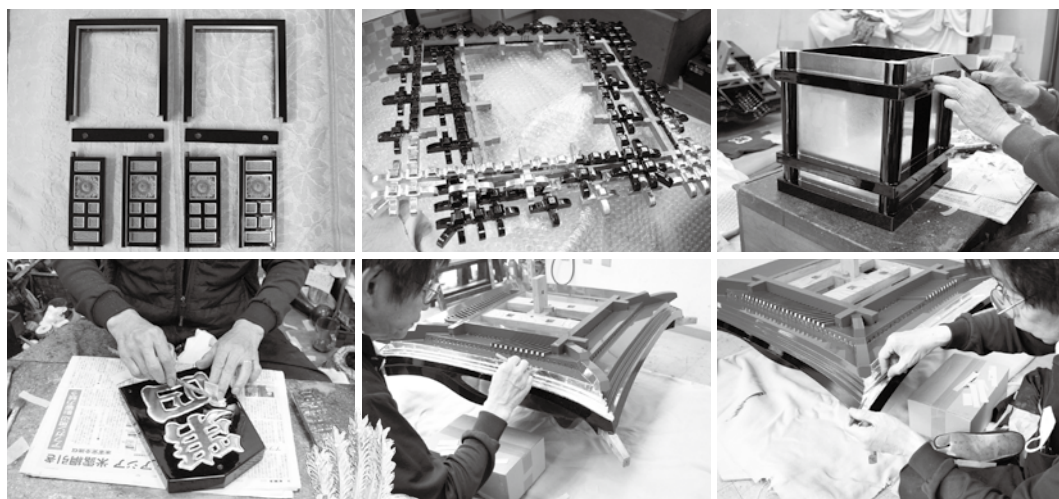
5 塗り

金具製作に必要な型紙を取り終えた後、木地は漆師へ渡されます。下塗りを行い、その後塗り・研ぎの工程を数回繰り返し、最後に上塗りを施し、完成となります。漆塗りは約1000日を掛けて、丁寧に塗り上げられました。



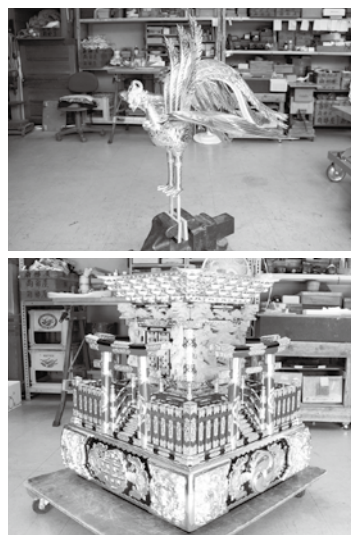
6 金箔押し

漆塗りが仕上がった後に、キャリア40年以上の神輿の箔押し師が金箔を貼っていきます。金箔は神輿の屋根の側面にあたる軒面、屋根の下に位置する枅組、神輿の中央に位置する胴などに貼っていきます。

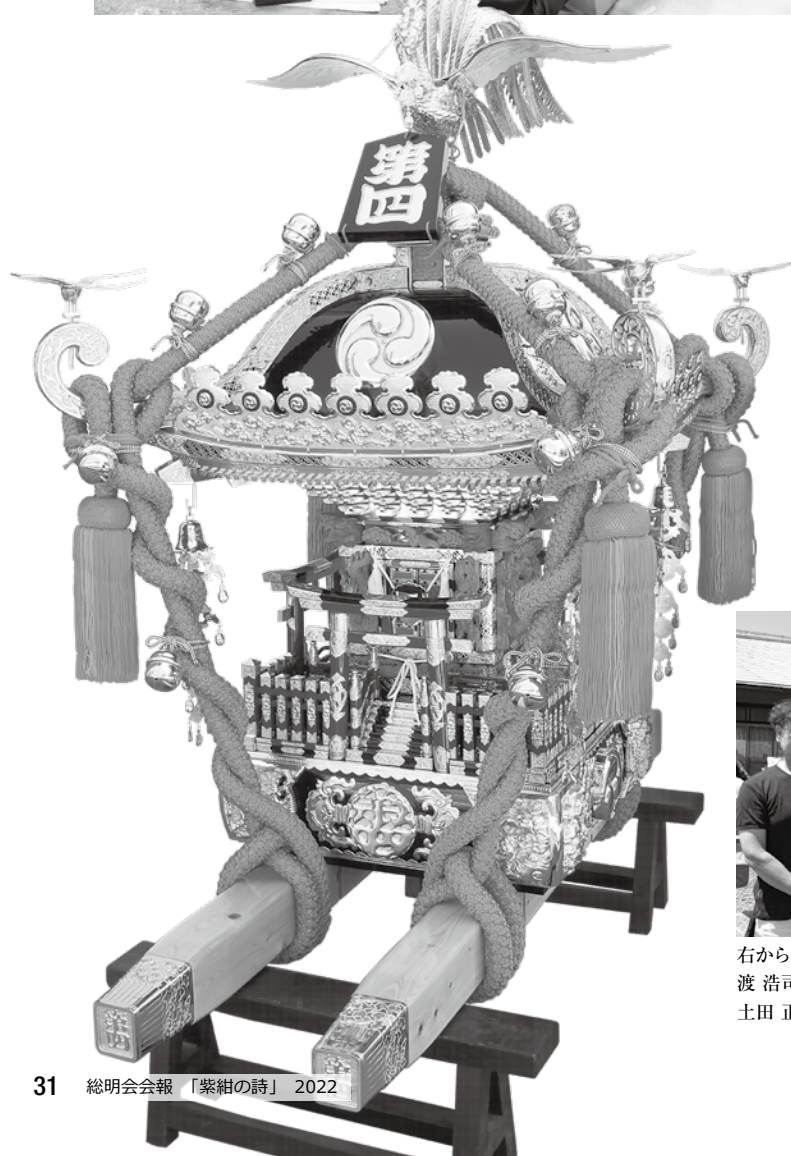


7 組立て・完成

漆塗り・金具にメッキ加工などの工程が終わると、最終段階の組立てとなります。鋳物や鋳り金具、彫刻を台輪・胴・屋根などに取付け、台輪・胴・枅組などを組立てた後、屋根を乗せ、柱の締めまりや全体のバランスなどを調節し、完成となります。



右から石渡 浩司氏(平成2年卒 明愛会)、石渡 司郎氏(石渡 浩司氏のお父様)、佐藤 健一氏(昭和31年卒 明愛会)、土田 正昭氏(昭和61年卒 新世輝)



追悼 吉田耕太郎 前会長



吉田耕太郎さんへ

明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会 総明会会長

井家上 哲史

昭和51年卒、明々会の井家上哲史です。
まだ早い先輩の訃報を受け、伺っておきたかったことが多く、残念でなりません。

私が先輩のことを知ったのは、明治高校を卒業してずいぶん経ってからのことになります。
総明会の幹事学年となる2003年の数年前に同期会の明々会が活動を開始し、久しぶりに会った同級生から、応援団出身の格好いい先輩として耕太郎先輩を教わった記憶があります。

神宮球場には度々応援に行きましたので、きつとお姿を拝見していたのでしよう。

耕太郎先輩は応援団コーチ、監督として中高には深く関わってこられていましたが、1997年の昭和45年同期会獅子の会幹事学年より本格的に総明会の活動に加わり、2003年には獅子の会より学年評議員に選出され、活躍されています。

2004年には総明会理事企画委員長として、班部OB会との連携を確立し、また明朗会の開催に努められました。特にこの頃は、班部OB会の位置づけと総明会の活動を明確にするため、総明会の会則の改定に尽力されました。

2005年総会にて第6代佐久間洋一会長が選出され、佐久間会長のもと吉田耕太郎さんは副会長に選出され、2006年から会務を総括することになりました。組織検討委員会にて会長副会長選出方法の透明化、評議員会の位置づけ、評議員会の構成の変更をリードされま

した。2010年第7代尾島育四郎会長就任のときも副会長として尾島会長を支えられました。

その後2016年に尾島会長の後を引き継ぎ第8代総明会会長となりました。総明会活動では、一貫して若い人の参画、母校との交流、財政基盤の確立を柱に会を統率され、若手会員による「M」の復活、就活会や法曹部会の定着による若手参加行事と母校との交流、新入および学年・OBOG会費の改定を実践されました。

2020年に会長を退かれ、病氣治療に専念されていましたが、ご逝去の報に接することとなりました。

私が幹事学年として総明会活動に加わったのが2003年、その後後援委員会、総会委員会活動を経て総明会理事会の仲間入りを許されたのが2008年。その頃、理事会は金曜の夕方から紫紺館の会議室で行われる形が定着し、理事会終了後は、理事会出席者の多くが近くの飲食店で飲み会をするのが恒例でした。特に明大生御用達のパブレストラン「アミ」での飲み会、耕太郎先輩の後輩想いの頼もしい姿、メはしっかり食事を摂るようにと焼き肉ライスを振る舞われる姿、秋葉原の先輩の事務所近くで酌み交わした楽しいお酒等々、楽しい記憶が今でも鮮明に思い出されます。

耕太郎先輩、母校明治中学高等学校

校、また総明会のためにご尽力されたことはわれわれ会員の心にしっかりと刻まれております、どうぞ安らかにお休みください。

合掌



上が総会、右が理事会、吉田耕太郎氏が会長、井家上哲史が副会長時の写真。



2016年から2019年まで総明会の会長として、総明会の発展にご尽力いただいた吉田耕太郎前会長(昭和45年卒 獅子の会)が、2022年2月3日にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げると共に、総明会の井家上哲史現会長と、應援團OB会 会長の廣野宏士氏から追悼文をご寄稿頂きました。



吉田耕太郎先輩を偲んで 廣野宏士

明治大学付属明治高等学校
應援團OB会会長

まさか私が、耕太郎先輩の追悼文を書くとは思ってもよかったです。

先輩の声が、今でも耳の奥の方から聞こえてきます。「バカヤロー」「何やってんだ」「早くやれ」。先輩は、聡明な方でありました。ご自分で、何でも出来た方でした。後輩達が、先輩のイメージしたとおりに動かないと前述の言葉が飛んできたものです。よく叱られました。

既報のとおり、2022年2月3日にご逝去されました。訃報が私の元に飛び込んで来たのは山田伸夫先生(明治高校應援團OB会名誉顧問)からのメールで、3月15日のことでした。この日、山田先生が、かかりつけ医の吉田Dr. (耕太郎先輩の同級生で、明高OB)を受診するので、吉田Dr. に伝言でもあればと、耕太郎先輩の携帯に電話したのがきっかけでした。電話口に出たのが、耕太郎先輩の奥さんでした。山田先生が、前記の用件で架電したと切り出したところ「実は先月の3日に他界しまして・・・」と話し始められたそうで、続けて「自分が死んだ場合、七七忌が過ぎるまで他言無用。誰にも言うな」というのが遺言だったそうです。人様に心配をかけたりするのを嫌う性格の、如何にも先輩らしい遺言だと思いました。

先輩との出会いは、私が中学1年で応援指導班に入班した時です。先輩が中学3年でした。私が高校1年までは、一緒でした。その後、大学の応援団でも一緒に過ごしますので、「6年間は同じ釜の飯を食った」ということです。亡くなられるまでの年限からすると、55年間お付き合いさせて頂きました。

大学を卒業してからは、OB会は言うに及ば

ず、いろいろな場面(殆どが、明治高校と明治大学の集まり)で、一緒に過ごさせて頂きました。よくもまあ、毎日のように会うものだ、そして酒を飲むものだと感じておりました。酒席で、先輩が酔っぱらってきた時の、醜態の有る、あの笑顔がたまらなく好きでした。

先輩からは、精神面でも、技術面でも、いろいろなことを教えて頂きました。多くを語る方ではなかったのですが、教えて頂いたというよりは、先輩の背中を見て覚えさせて貰った(これは私が勝手に思っています)、というのが当たっているでしょうか。

應援團というのは、技術的な面の基本は上級生のリーダー長(練習と実際の試合場での応援指揮の責任者)から教えてもらえますが、基本の応用である応援歌の振り付け(テクと言います。以下、テク)は、当時「見て覚えろ」という世界でした。下級生の私は、先輩たちの良いところを見て、「真似る」のです。「模倣」するのです。

日本の「芸事(げいご)」舞踊、音曲、浄瑠璃、話芸、歌舞伎、相撲等々が、(ほかの人は、どう考えているかわからないので敢えて、私は、という言葉を使います)須くそうであるように、応援のテクも「真似る」「模倣」するのだな、と子供ながらに私は考えていました。

そういうことからすると、当時の應援團の高校・中学の先輩方は、上手い方々が揃っていました。それ以前の先輩方が上手かったのをそれを伝統として受け継ぎ、紡いできたので、上手な先輩たちが多かったと思います。ですから、「真似」をする為の、お手本には事欠きませんでした。

その中でも、吉田先輩は見習うべき点の多い方でした。と言っても、親からもらった身体的な特性は、「真似」しようにも出来ない部分が多くあるのです。耕太郎先輩の肩関節の可動域の広さ、そして、その柔軟性は到底「真似」できないものでした。少しでも「あのようになるには、こうしたら良いかな」、「これをしてみよう」などといった工夫を、自分なりに重ねたものです。先輩!! 未だに追いつくことが出来ずに申し訳ありません。

つらつらと思うままに書いて来ましたが、先輩との思い出は、枚挙に遑がありません。追悼文になっているのかどうか分かりませんが、紙面の都合もありますので、今回はこれにて、ご免下さい。

拝啓、吉田耕太郎様
先輩のいない「明治」はつまらないです

先輩と、もう会うことが出来ないのですね
先輩の声を聴くことが、
もう出来ないのですね

この喪失感は、なんでしょう

先輩、永き歲月、お付き合いくださいまして
ありがとうございます

どうか安らかにやすみください、合掌

令和四年 水無月




1973年(昭和48年)伊豆の天城で行われた大学の春合宿の帰りに、浄蓮の滝に立ち寄った際の写真。前列真ん中が耕太郎先輩(4年)、後列右から2番目が廣野氏(2年)。

昭和56年卒 総明会 専務理事 衛藤 雅一 明翔会	昭和59年卒 総明会 副会長 平野 一哉 明心会	昭和50年卒 総明会 副会長 山崎 秀樹 明紫会	昭和51年卒 総明会 会長 井家上哲史 明々会
--	---	---	--

昭和63年卒 総明会 副事務局長 尾崎 博之 昭和戊辰乃会	昭和61年卒 総明会 事務局長 土田 正昭 新世輝	昭和59年卒 総明会 会計 田中 重幸 明心会	昭和50年卒 総明会 常務理事 近藤 敏彦 明紫会
--	--	--	--

昭和54年卒 総明会 企画委員長 志村 和哉 明誠会	 <p>環境づくりのパートナー 市原企業株式会社</p> <p>代表取締役 山崎 敬生 (総明会顧問) 取締役 山崎 秀樹 (総明会副会長)</p> <p>〒299-0102 千葉県市原市青柳2-1-23 TEL.0436-21-8100 (代)</p>
---	--

総明会 顧問 総明会元会長 弁護士 佐久間 洋一 昭和43年卒 紫讃会 事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座6-12-1 第2寿ビル7階 電話 03-5568-6646 ファックス 03-5568-6648 URL http://www.ginzamiyuki-law.com	第58回総明会総会・懇親会 総明会顧問 (昭和41年卒・41明友会) 学校法人明治大学 理事 尾島 育四郎 〒150-0001 渋谷区神宮前5丁目41-6
--	--

明治高校PTA顧問 明治白駿会 重盛 元也 〒1-61-0003 荒川区南千住二-34-14 電話 (三三〇一) 六八三〇 FAX (三八〇七) 三七三七		明高野球部を甲子園に送る会 会長 山 浦 晟 暉 (株)東京フジカラー 代表取締役 (昭和29年卒)
--	---	--

		(株)ヨシダ <table border="1"> <tr> <td>昭和37年卒 吉田 信行</td> <td>昭和38年卒 増田 利明</td> <td>平成29年卒 矢島 泰雅</td> <td>令和4年卒 矢島 太耀</td> </tr> </table> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩 5丁目14番7号 TEL 03-3694-3751 FAX 03-3694-3753</p>	昭和37年卒 吉田 信行	昭和38年卒 増田 利明	平成29年卒 矢島 泰雅	令和4年卒 矢島 太耀
昭和37年卒 吉田 信行	昭和38年卒 増田 利明	平成29年卒 矢島 泰雅	令和4年卒 矢島 太耀			

駿台会計人倶楽部

— 会員募集 —

会長 岩田 俊一 (昭和49年卒 翼明会)
tiwata@silver.plala.or.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島4丁目6番11号 TEL 03-3815-1272(代)
湯島ハイタウン A棟502号 FAX 03-3815-1404

プルデンシャル生命は世界最大級の金融サービス機関
プルデンシャル・ファイナンシャルの一員です

プルデンシャル生命は1987年10月に設立されました。
1875年米国で創業、140年以上の歴史を誇るプルデンシャル・ファイナンシャルグループの一員として「人間愛・家族愛」の基本理念を受け継ぎ、生命保険の専門家であるライフプランナー®がオーダーメイドの生命保険をお届けするということにこだわってまいりました。



プルデンシャル生命保険
<http://www.prudential.co.jp>



Prudential

本社所在地:
東京都千代田区永田町2-13-10

横浜東支社 支社長	深谷 剣 (昭和62年卒)
首都圏第一支社 ライフプランナー	川口 貴之 (平成元年卒)
汐留支社 ライフプランナー	高山 剛 (平成2年卒)
汐留支社 営業所長	富樫 展広 (平成4年卒)
本社 営業戦略チーム	八巻 隆洋 (平成10年卒)
汐留支社 ライフプランナー	平井 隆太 (平成19年卒)
港南第二支社 営業所長	山岸 俊介 (平成19年卒)

※「ライフプランナー」はザ・プルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。

明治中学・高校水泳部OB会

明水会

会長 高橋 直哉(S51年卒)

見心会

明治高校剣道部OB・OG会

会長 鈴木 幸男	会計 須志原法和
副会長 木村 茂	監督 中山 将
幹事長 羽田 郁雄	助監督 伊藤 直孝



魅せろ!明治魂 私達は明治高校を応援しています!

玉田 英明 昭和53年卒
石川 恵資 昭和58年卒
高橋 浩 昭和58年卒
服部 裕之 昭和59年卒
廣田 晃一 昭和59年卒
増岡 寿 昭和60年卒
松尾 智己 昭和60年卒
松嶋 俊行 昭和61年卒
菅 和禎 昭和63年卒
山本 幸一 平成2年卒
滝 晋敏 平成4年卒
寺土 博昭 平成4年卒
阿部康一郎 平成5年卒

高橋 建太 平成5年卒
近藤 裕樹 平成6年卒
木村 允 平成8年卒
佐藤 潤 平成9年卒
角 祐二郎 平成13年卒
鈴木 亮輔 平成13年卒
寺田 雄太 平成13年卒
瓜生 泰三 平成14年卒
土方 博史 平成14年卒
密岡 祐樹 平成14年卒
高井 洋 平成15年卒
川原 健 平成17年卒
小堀 良樹 平成17年卒

山本 康太 平成19年卒
櫻井 亮 平成20年卒
平野 慎 平成21年卒
田中 拓樹 平成23年卒
松本 直子 平成25年卒
三苫 美鈴 平成25年卒
吉光寺美和子 平成27年卒
下田 祥之 平成27年卒
山中 友貴 平成27年卒
彦惣 俊人 平成28年卒

明治高校卒明治大学職員有志一同



2022年度 学校報告

年間行事

7月 July

- ◎期末考査
- ◎終業式
- ◎夏休み学校体験
- ◎夏期補習
- ◎高大連携サマーセミナー（～8月）

4月 April

- ◎入学式
- ◎始業式
- ◎新入生歓迎会
- ◎生徒会新体制始動
- ◎健康診断
- ◎第1回 避難訓練

SOUMEIMAGAZINE



No.014-2022

8月 August

- ◎夏季国内英語研修

5月 May

- ◎学年・学級活動(中3)
- ◎生徒総会
- ◎中間考査
- ◎修学旅行(高Ⅲ・中3)

9月 September

- ◎始業式
- ◎実力考査(中学)
- ◎紫紺祭
- ◎第2回 避難訓練

SOUMEIMAGAZINE



No.015-2022

6月 June

- ◎林間学校(高Ⅰ・中Ⅰ)
- ◎移動教室(中2)
- ◎学年・学級活動(高Ⅱ)
- ◎授業参観
- ◎高校球技大会
- ◎イングリッシュ・プレゼンテーション
コンテスト
- ◎オープンキャンパス

1月 January

- ◎始業式
- ◎高大連携ウィンターセミナー
- ◎スピーチコンテスト
- ◎吹奏楽班 定期演奏会
- ◎(高校・大学)推薦面接試験
- ◎生徒会長・副会長選挙

SOUMEI MAGAZINE



No.016-2022

10月 October

- ◎中間考査
- ◎高I特別進学指導講座(生田校舎)
- ◎中学体育祭

2月 February

- ◎中学入試・高校入試
- ◎マンドリン部 定期演奏会
- ◎高Ⅲ歓送会
- ◎紫紺の下に

SOUMEI MAGAZINE



No.017-2022

11月 November

- ◎修学旅行(高Ⅱ)
- ◎芸術祭
- ◎高I特別進学指導講座(駿河台校舎)

3月 March

- ◎期末考査
- ◎過程発行
- ◎高校卒業式
- ◎終業式
- ◎中学卒業式
- ◎中大・高大連携スプリングセミナー

SOUMEI MAGAZINE



No.018-2022

12月 December

- ◎期末考査
- ◎終業式
- ◎ヨーク大学3ヵ月研修



学校ホームページ
https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/

NHK「おはよう日本」で放送、 高大連携講座が読売新聞に掲載、

今春の成年年齢引き下げに伴い、早ければ来年にも18、19歳が裁判員裁判に参加することになる。明治高校では明治大学法学部との連携を行い高校生に向けた模擬裁判や専門家の授業に取り組んでいる。

今回読売新聞（2022年6月11日夕刊）紙面に4月13日実施の授業（高大連携講座・法学部 高ⅡD組にて実施）の様子が掲載されたので紹介する。「裁判員制度 高校生のあなたも間もなく呼び出されるかも！」と題した授業では、夫婦間のトラブルから配偶者死亡に至ったという実際に

起きた過去の事件をもとに作成された模擬裁判に生徒たちが取り組み、真剣に当事者の心情や背景を考察する様子が掲載されている。記事で紹介された高校Ⅱ年生の星野玲奈さんは、授業を受けて次のように感じたという。

「クラスメイトと様々な見方のできる事件について真剣に意見を交わしたり、本格的に供述や証拠を基に判決を考えたりして普段と異なった学びにより新鮮さを感じた」同じく高校Ⅱ年生の加藤遼さんは、模擬裁判が今後の学習や生活に役立つ点をこう述

べている。「自分の言動に責任を持つことの重要性、また相手の言葉にも耳を傾けることで生まれる多様性などを尊重することは人間関係の構築や維持に役立つのではないかな」模擬裁判授業が生徒の生活や社会との関わり方に大きな影響を与えていることがうかがえる。

授業を企画した太田勝造・明治大学教授は「まずは裁判を身近に感じてもらいたかった。多面的、論理的な思考法を学ぶことは日常生活にも役立つ」と紙面で述べている。また、6月29日に実施された同内容の高大連携講座（高ⅡD組にて実施）が、7月15日のNHK「おはよう日本」で放送された。

「18歳から裁判員に」というテーマで裁判員制度の紹介と若者の感じる不安や興味が街頭インタビューされ、その後明治高校での高大連携講座の二環で行われた模擬裁判の様子が放送された。判決を決定する過程で真剣に議論する明高生の姿は頼もしくもあり、真実を見極める困難な仕事に対して必死にもがいているようにも見えた。

翌日提出されたレポートでは、生徒たちからは以下のような感想が寄せられたという。「私は、普段は、重要犯罪として取り扱われる犯罪に関わるのがなかったため、「裁判」というものを身近に感じたことはなく、テレビやドラマ、映画の中の出来事というイメージがあった。裁判員制度は、前から知っていたが、自分がまだ対象の年齢でなかったため、考える機会があまりなかった。しかし、今回の講義で、裁判員制度とは18歳からであるため、高校生も選ばれる可能

性があることや、裁判は主権者である国民が行うべきことなどを実感し、自身も一人の国民として、自国で起きた犯罪について考えを持つ必要があると感じた。また、仮に自分が裁判員として選ばれた際には、被告人の人生を左右したり、その裁判の判例が他の裁判にも関わる可能性があるため、今のうちから様々なことについて知識や経験をつけ、幅広い価値観で物事を考えることができるようにするために、勉強の大切さを再確認する機会となった」（明治高校HPより引用）

高校生への法教育は、社会と自分の繋がりを関わり方を考えると共に、多角的な視野を持つ人間になる大きな機会となることは間違いない。



読売新聞（2022年6月11日夕刊）より転載



2022年6月29日 高ⅡD組での授業風景

明治高校バスケットボール部 OB・OG会

バスケットももっとやりたくない？
バスケットボール部OB・OG会 チーム結成!!

今年もOB・OGによるチームで千代田区の大会に参加いたします。



参加希望の方はOB・OG会 副会長 山下康彦までご連絡ください。
yayamash@gmail.com

明治高校バスケットボール部ホームページにて
現役の試合速報やOB・OG会の活動を
リアルタイムで発信中!



江戸川区在住または在勤の方へ

明治大学校友会 江戸川区地域支部に
入会して、親睦を深めませんか?

平成7年卒櫻井勝也 常任幹事
sakuraikatsuya22@gmail.com
edogawameiji@yahoo.co.jp



祝 第58回総明会総会・懇親会
チャレンジ 紫縁会

明治高校ソフトテニス部OB・OG会

会長 山形厚夫(昭和48年卒)

祝 第五十八回総明会総会・懇親会

図書班 OB・OG会

連絡先 平田 幸彦
TEL: 03-3589-0687
連絡先 大西 静士郎
TEL: 090-2243-2135

祝
第58回総明会総会・懇親会

地理研究部 OB・OG会

連絡先(事務局・松浦)
mgc_matsuura@yahoo.co.jp

明治大学附属明治高等学校 応援団OB会

祝
第58回
総明会総会
懇親会

会長: 廣野 宏士 (昭和47年卒)
副会長: 三森 勲 (昭和50年卒) 鈴木 重之 (昭和60年卒)
光岡 孝之 (昭和63年卒) 赤坂 菜摘 (平成27年卒)
幹事長: 三谷 知弘 (平成6年卒)
副幹事長: 熊木 達朗 (平成6年卒) 藤田 央 (平成7年卒)
京須 一真 (平成16年卒) 関 佑字斗 (平成20年卒)
監査: 渡辺 裕之 (昭和55年卒) 莊司 康夫 (平成4年卒)

建設・不動産駿台会
有志一同

大久保俊治 平成3年卒
浅倉 太明 平成3年卒
富沢 康弘 平成3年卒

スキー部OB会
会長 沼田 哲明(昭和50年卒)
副会長 岡本 雅仁(昭和51年卒)
五十嵐 公一(昭和54年卒)
名譽会長 若松 弘昌(昭和39年卒)
堀 眞壽(昭和46年卒)
顧問 大津富士男(昭和28年卒)
佐藤 健一(昭和31年卒)
大出 育男(昭和31年卒)
田村 暢朗(昭和31年卒)
藤井 英一(昭和32年卒)
山田 和孝(昭和36年卒)
小山 雅司(昭和37年卒)
井上 進治(昭和38年卒)
戸張 毅(昭和47年卒)
服部 憲一(昭和50年卒)
監督 菅野 栄一(昭和55年卒)
事務局 狩野 智雄(昭和56年卒)
鳴海 浩樹(昭和57年卒)
深谷 剣(昭和62年卒)
中澤彰次郎(昭和62年卒)
鐘木 祥介(昭和63年卒)
浅倉 太明(平成3年卒)
印田 誠(平成10年卒)
富沢 康弘(平成3年卒)
ゴルフ担当 富沢 康弘(平成3年卒)
インターハイ出場2名
関東大会出場10名

(株)グローバル インシュアランス
保険総合コンサルタント

代表取締役
若松 弘昌
(昭和39年卒 明雪会)

〒141-0031 品川区西五反田2-9-7
ドルミ五反田アンメゾン1001号
TEL. 03-3491-0900
FAX. 03-3491-0934

祝第58回総明会総会
明治高校バレー部
OB・OG会
顧問 山中禎郎先生
会長 石田 元伸(51卒)
副会長 岩崎 広人(57卒)
副会長 岡永 健二(44卒)
事務局長 樋田 哲次(52卒)
事務局次長 熊澤 正幸(54卒)
役員 安藤 信夫(56卒)
役員 加藤 裕司(48卒)
役員 山本 直之(48卒)
役員 阿部 徹也(41卒)

祝 第58回 総明会
昭和31年卒

明 楽 会
会長 佐藤 健一

新任先生紹介

まつい ももこ
松井 萌々子 先生



●ご氏名・略歴

- ① 松井 萌々子 先生 ② 生年月日 1997年8月23日
 - ③ 出身地 東京都 ④ 出身学校・学部 明治大学付属明治中学校・高等学校
 - 明治大学文学部文学科(文学士)
 - 早稲田大学教育学研究科(教育学修士)
 - ⑤ 前職 なし(ただし修士時代、他高校での非常勤講師の勤務経験あり)
 - ⑥ 担当教科 国語科
 - ⑦ 担当クラブ活動 書道部、水泳部
- 明治中学・高校に赴任しての印象
コロナ禍という大変な状況であっても、各々が学校生活で楽しみを見つけて、日々明るく元気に過ごしていることに感銘を受けています。私もそんな生徒たちから毎日エネルギーを得ることができています。
- 生徒たちに期待すること
各々の得意なことを発見し、付属校という環境を生かして、その力を存分に伸ばして欲しいです。それは大きな自信になり、将来社会で生きていくための強い武器となるはずです。
- 自身の抱負
授業面では、日々教育関係の雑誌や学会からの情報収集に努め、生徒の反応を見ながら、これからの社会を生き抜くために必要な力を涵養できる実践を続けていきたいです。

学級運営、生徒指導面、部活動面では、生徒とのコミュニケーションを大切にして、良好な信頼関係を保ちたいです。
特に書道部の活動に関しては、私自身が今も書道の研鑽を積み続けていますので、生徒と一緒に更なる高みを目指していきたいです。

●自己紹介

母校で大変責任ある職務に就かせていただいております。「明治」の名をより一層高めていく「第一級の人物」になれるよう、生徒と共に精進してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

つるまる さき
鶴丸 早紀 先生



●ご氏名・略歴

- ① 氏名 鶴丸 早紀 ② 生年月日 1997年7月4日
 - ③ 出身地 埼玉県 ④ 出身学校・学部 千葉大学教育学部小学校教員養成課程ものづくり・技術選修
 - 千葉大学大学院修士課程教育学研究科学校教育学専攻理数・技術系
 - ⑤ 前職 大学院生 ⑥ 担当教科 技術科
 - ⑦ 担当クラブ活動 硬式テニス部、スキー部
- 明治中学・高校に赴任しての印象
教員も生徒も、何事にも一生懸命に取り組む印象を持っております。
- 生徒たちに期待すること
自ら学ぶ姿勢を期待しています。問いを立てる、創造する、これからの時代を生きる生徒には必要だと考えています。
- 自身の抱負
週に1回しかない技術の授業なので、生徒がたくさん学びを得られるように、授業づくりから大切にいたします。

●自己紹介
技術教育を専門に学んでいます。特に木工とデジタルファブリケーションが得意です。

えんどう たいすけ
遠藤 泰介 先生



●ご氏名・略歴

- ① 遠藤 泰介 先生 ② 生年月日 1992年12月22日
 - ③ 出身地 新潟県 ④ 出身学校・学部 新潟県立長岡大手高等学校(普通科) 明治大学(理工学部)
 - ロンドン大学ロイヤルホロウェイ修士課程(応用数学専攻)
 - ⑤ 前職 明星中学校・高等学校 英語科
 - ⑥ 担当教科 英語科
 - ⑦ 担当クラブ活動 サッカー部、水泳部
- 明治中学校・高校に赴任しての印象
すでに生徒たちから「主体性」を感じる場面が多くありました。学校全体から前向きな印象を受けています。
- 生徒たちに期待すること
熱中できることを探して、突き詰めていってほしいです。そして、謙虚な姿勢を持ち続けることにも期待しています。
- 自身の抱負
これから先、どんなことがあっても「第一級の人物たれ」という言葉を常に心に持ち続けたいと思います。
- 自己紹介
落ち着いているようで、好奇心と探究心が旺盛です。マイブームはサッカー観戦、フットサル、スタバです。

班・部活動の記録／資格試験・表彰

PTA会報

PTA会報 2022年3月10日号

2022年7月19日号

171・172合併号
173号

QRコードから
学校のホームページに
アクセスできます

《班・部活動の記録》

吹奏楽班

第61回東京都高等学校吹奏楽コンクール
A組 金賞 B組 金賞

中学野球部

第9ブロック秋季大会 優勝・都大会出場

水泳部

関東大会出場決定！



令和3年度東京都高等学校総合体育大会
男子2000M個人メドレー「第3位・インターハイ出場」

男子1000Mバタフライ 第6位 高I 高尾

第6回法政・明治・立教付属校対抗水泳競技大会
女子中学総合優勝 中3 中村

東京都高等学校新人水泳競技大会
男子2000M個人メドレー 第1位 高I 高尾

第5回東京都十二中学校水泳競技大会

男子2000M自由形 第1位 中2 田中
男子1000Mバタフライ 第3位 中2 田中
男子400Mフリーリレー 第3位 中2 田中

柔道部

第70回全国高等学校総合体育大会
柔道競技東京都第四支部大会

男子団体 第5位

高III 新井・春田・高II 佐々木・高I 馬場
男子個人66kg級 第5位 高III 新井
男子個人60kg級 第5位 高III 春田

バレーボール部(高校男子)

関東大会出場決定！



令和3年度インターハイ東京都予選 都ベスト16

第29回関東私立高等学校バレーボール選手権大会
明大明治 0-2 東亜学園
明大明治 2-0 東海大市原望洋 Fブロック2位

全国高等学校バレーボール選手権大会

令和3年度第30回東京私立高等学校
男女バレーボール選手権大会 ベスト16

東京都1次予選 都ベスト16

バスケットボール部(高校男子)

第30回102地区バスケットボール大会

高校男子 第3位

陸上競技部

第73回東京都高等学校陸上競技対抗新人選手権大会

男子5支部800M 第5位 高II 小原
男子5支部1500M 第6位 高II 小原
男子5支部走幅跳 第8位 高II 篠原

第42回第5・6支部学年別選手権大会

男子5支部3年1500M 第7位 高III 福島
男子5支部3年走幅跳 第2位 高III 江村
男子5支部2年1500M 第5位 高II 小原
男子5支部2年走幅跳 第5位 高II 篠原

サッカー部

(中学)、都大会第3位！



令和3年度東京都中学総合体育大会

兼サッカー選手権大会第9支部予選大会

Bトリーナメント 優勝

令和3年度第60回中学総合体育大会

兼第74回東京都中学校選手権大会

第3位

東京都中学校サッカー新人大会

Bブロック 優勝

2022年度中体連サッカー第9支部夏季大会 都大会出場

男子硬式テニス部

東京都高等学校テニス選手権大会

男子シングルス 優秀賞 高I 櫻井
男子ダブルス 優秀賞 高II 橋本・高III 門野

東京都高等学校テニス選手権大会

個人シングルス 本選出場 高III 内藤
団体の部 東京都ベスト32

東京都中学校テニス選手権大会9ブロック予選
準優勝

これにより多摩大会出場決定

女子硬式テニス部

第38回東京都ジュニアチームテニスチャンピオンシップ
小・中学校の部女子

第3位 中3 神野・辻村・佐藤 中2 吹春

東京都中学校テニス選手権大会9ブロック予選
団体の部 優勝

これにより東京都総合体育大会出場決定

剣道部

第63回三鷹市春季剣道大会 一般女子二段以下の部

第3位 高I 小野島

第40回文京区少年剣道大会 中学3年女子の部

第3位 中3 松下

マンドリン部

全国大会入賞!



全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール

振興会会長特別賞 優秀賞

化学部

第65回全国学芸サイエンスコンクール入選



旺文社／内閣府・文部科学省・環境省後援
第65回全国学芸サイエンスコンクール

旺文社赤尾好夫記念賞 入選

作品名「合成染料の性質と色素増感太陽電池に関する基礎的研究」

高III 清水

書道部

高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会

日本武道館賞 高III 相田 高I 柴田・大沢

ダンス部

(中学)全国大会出場!



高校生ライブMUSIC

DAYS2021東京大会
奨励賞 FINAL進出

第10回日本中学校ダンス部選手権

東日本予選大会 全国決勝大会進出

《資格試験・表彰》

数学科

東京理科大学主催

第12回坊ちゃん科学省研究論文コンテスト

高校部門 優秀賞

研究テーマ「2次方程式の解の分布曲線」

高III 大塚

英語科

英語ティベート大会全国2位!



第2回高校生英語パーラメンタリーティベート連盟新芽杯

準優勝 高III 山口・高橋・林

第57回東京都高等学校英語スピーチコンテスト

第3位 高II 大熊

美術部 全日本学生美術展推奨入選!



第66回全日本学生美術展推奨

高II 石渡

公民科

令和3年度「税に関する高校生の作文」

高III 山田

武蔵府中税務署長賞

情報科

U18IT夢コンテスト2021

学校賞 高III 新井・小山

敢闘賞 高III 浅井・中保・宮崎

敢闘賞 高III 野中・村松・石井

個人

高III E組クラスTシャツが大賞受賞



勝手にクラTジャパンカップ 大賞 高III 豊島

明治大学文学部第13回読書感想文コンクール

優秀賞

高III 松岡・渡邊

高II 石原・前山・岩崎・大橋・岡前・奥野・小林・篠田・

山崎・折原・中東・松田・齋藤・高橋・久保田・

小久保・鈴木・田村

高I 小林・諸星・松並・大樂・南野・金子・柴田・神農・

加藤・佐伯・渡邊・芦川・岩瀬・清原・竹内

第12回 トウワイス・アワード『企画インターワーク』

部門企画賞 江崎グリコ賞「混沌の覇者【田辺】」

高II 竹内・平岡・長井・田邊

部門企画賞 森永乳業賞「からあげ」

高II 渡邊・田嶋・杉山・津島

KDDI優秀賞「鍋堤清河」

高II 清原・川田・堤・渡部

明治優秀賞「ゆとりですがなにか」

高II 加藤・早川・山田

ローソン優秀賞「movements」

高II 梶野・山下・乾

森永乳業奨励賞「俺ら」

高II 本田・兵頭・上田・金田

第25代高校生平和大使東京選考会 平和大使選出

高I 涌井

JAMfest JAPAN vol.16 in TOKYO

チアリーディング／ダンス部門(競技部門)

第3位 高I 松井

Varsity主催「The Summit」(米国フロリダ州に派遣出場

その他

小金井警察署 犯人逮捕への協力 署長感謝状

高III 鈴木



**下記の詳細は、明治高校のホームページに掲載されています。
それぞれの URL からアクセスして下さい。**

バレーボール部 (高校男子) 関東大会出場決定

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210510kctop.html

水泳部、関東大会出場決定！

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210712kctop.html

マンドリン部 全国大会入賞

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210807kctop.html

サッカー部 (中学)、都大会第 3 位

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210815kctop.html

ダンス部 (中学) 全国大会出場

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210829kctop.html

水泳部、インターハイ出場

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210919kctop.html

化学部 第 65 回全国学芸サイエンスコンクール入選

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20220308kctop.html

美術部 全日本学生美術展推奨入選

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210316kctop.html

英語ディベート大会全国 2 位！

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20210929kctop.html

高 3E 組クラス T シャツが大賞受賞

https://www.meiji.ac.jp/ko_chu/topics/detail/2021/20211130.html



令和3年度ご退任インタビュー

横山晴之先生(数学科) 吉川末恒先生(国語科)

2022年(令和4年)3月13日、調布市の明治中学校高等学校において、横山先生、吉川先生の退任インタビューを行いました。

当日は日曜日でした。春の陽光がさし、部活動でにぎわう校庭を横目に校舎に入ると、いつもたくさん生徒が往来している屋内は、昼間なのに人が少なく、薄暗く感じました。

横山先生は我々紫縁会が中3、高IIのとき、吉川先生は高校3年間、担任をしていただいた縁のあるお方、いろいろな意味で個人的な先生が多い中、横山先生は他の先生とバランスを取りながら、吉川先生は笑顔で優しく、我々に寄り添っていただいたことを今でも覚えています。

ですから、お二方に全く別のタイミングで、縁のある君たちでよかったと言っていたいて、とてもうれしかったです。

横山晴之先生

1980年(昭和55年)着任

○着任当時の思い出

東京学芸大学で就職を考えているときに、明大明治で教員を募集していることを知りました。三鷹に住んでいることもあり、明治大学の付属校といえば明大中野という印象が強く、当時御茶の水にあった明大明治については、優秀な学校程度のイメージしかありませんでした。しかし、大学の先輩である先生の勧めや父親の母校が明治大学であったことも影響して、採用試験を受け、本校に着任しました。

ちなみに、着任した時期は、年配の先生方が多く、先生が入替わる時期でした。私の代は戸室先生(理科)と二人でしたが、下の代は4、5人の採用があり、同世代の先生が多くおりました。

着任した年は、中学3年生の副担任を受け持つことになりました。教育実習の経験はあったものの、新卒だったため戸惑うことが多くありました。特に、4月下旬の京都への修学旅行は、まだ学校に慣れていなかったため、引率者なのに、引率されているような感覚がありました。

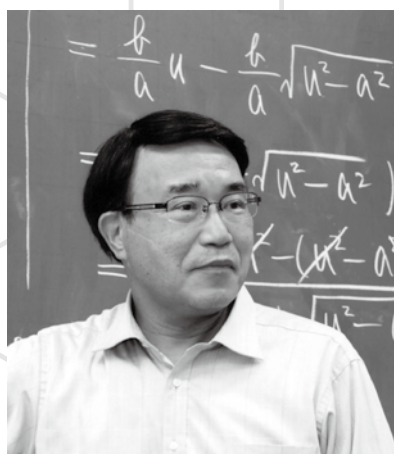
その後、この学年とは高Iで担任になり、卒業まで持ち上がりで担任を務めました。高校の修学旅行では今では考えにくいですが、6時間もかけて新幹線で九州まで行き、更に1日かけてバスで鹿児島まで行つて、再び北上して長崎まで行きました。修学旅行中は24時間勤務なので、緊張感がありとても疲れました。寝てはいけないと思いつつも、夜更かしした二部の生徒と、バスで寝てしまったことを覚えています。

また、着任した1980年代初頭は、金八先生やスクールウォーズなどの学園ドラマに象徴されるように、全国的に学校が少し荒れている時期でしたが、本校は比較的平和でした。少し元気すぎる生徒が多かったように思います。

○紫縁会の代との思い出について

紫縁会の代では、中3、高IIのときに担任を務めました。生徒からは面と向かってではないかもしれませんが、「横P」と言われていました。あだ名自体は、中Iを受け持っていた1985年前後で始まったと記憶しており、それが紫縁会の代にも引き継がれていたようです。あだ名の由来は、酒井法子という芸能人がいて、「のりP」という愛称で呼ばれており、そこからとられたようです。ちなみに紫縁会の学年ではありませんでしたが、「横P」というあだ名の生徒もいたと記憶しています。

その後、調布への移転を機に、しばらくあだ名を耳にすることはありませんでしたが、最近、現役生から、昔「横P」と言われていたことを聞かれて、びっくりしましたが、懐かしく思いました。あだ名で呼ばれたことは生徒に親しくしてもらった証拠だと思っています。ちなみに、紫縁会の取材班から、大きなコンパスと定規を持っていたイメージがあると言われていましたが、必要がある場合



合だけ持っているもので、いつも持っていたわけではありません。

紫縁会の代で担任を務めた2年間は、いずれも同世代の先生が多くいて、学期・学年の終わりに飲みに行っていました。紫縁会の代から思い出に残っているといわれた、女性芸能人遭遇事件も中3の担任で集まっていたときでした。ちなみに、サインをもらい、生徒に自慢したのは別の先生だと思っています。

飲みといえば、新任のころ同じ数学科の先生をはじめ、先輩の先生方から仕事帰りによく誘っていただきました。ときには御茶の水から新宿へと、終電時間を気にしながら飲んだことを懐かしく思います。少し長い中断を経て現在も続けているテニスについても、この時期に同じ教科の先輩の先生の声掛けで始めたもので、縁を感じます。

○猿楽町から調布に移転して思うこと

全体のクラス数が増え、一クラスあたりの人数が減り、環境や施設が充実しました。移転前には郊外で実施していた中学の体育祭や高校の球技大会が校内で開催できる

ようになりました。また、新しい部活として硬式テニス部が創部されるなど、いろいろ変わりました。

○部活動の思い出

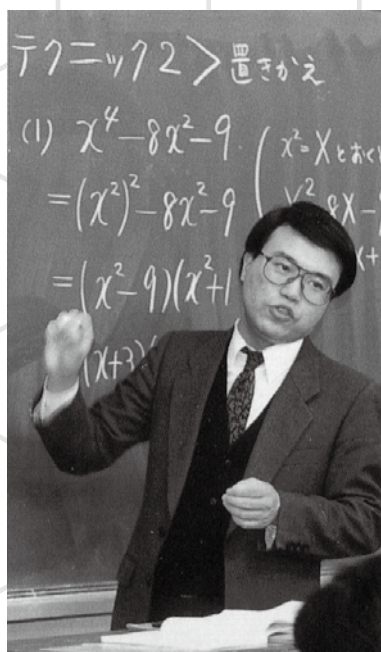
着任1年目は生徒会本部の副顧問を務めさせていただきました。合宿で会議の練習をしていたのを覚えています。

2年目になる際に、コンピュータ部の顧問をしていた数学科の先生が退任するのに伴って、大学でパソコン(ウインドウズより前のベシック)に触れていたこともあって、顧問を引き受けることになりました。その後、コンピュータ部では通算37年間顧問を務め、大変思い入れ深い部活になりました。

それ以外にも、卓球部を今年も含めて7年、中学野球部を3年、硬式テニス部を5年間にわたり副顧問を務めました。

2018年からは有志(同好会)であるフエシング部の副顧問を田中元副校長から引き継ぎました。今は有志ですが、かつて正式な部であったこともあり、部への昇格を目指していましたが、残念ながら、私の在任中に実現することはできませんでした。関東大会出場などの実績もあり、OBOG

の力強い後押しもありますので、後を託した菅澤先生(社会科)のもと、盛り返してもらえればと思います。ちなみに、菅澤先生は本校のOBで、中1から中3まで受け持っていた縁のある先生です。



○縁々とのうづについて

担任として、相手の立場にたって指導してきたつもりです。

気配りの勧めといいますが、自分を出すのも大切ですが、一歩引いて考えて、相手のことを助けてあげることが心掛けてほしいと思っています。

○先生にとつての学校とは

退任するにあたって、第2の故郷を卒業する感じがします。学校で、たくさん先輩と後輩、生徒と過ごし、生活し、教師として自分自身も育つていたと思います。

うまくいったこともそうでないこともありましたが、人生の大半を過ごした場で、多くの縁、かわりを持てたのがとてもうれしかったです。特に、生徒の活躍がとてもうれしく、いい教え子に恵まれたと実感しています。悪い思い出は少ないです。

○退任後の生活について

退任後については、施設に入っている父親を、本人の希望もあって自宅に迎え入れるよう準備を進めています。

学校とのつながりは薄くなりますが、皆さんから、同窓会などのお声掛けがあれば、できるだけ参加させていただければと思います。以前参加した1998年卒の方の同窓会は、楽しい思い出です。

○卒業生へのメッセージ

在職中、生徒からいろいろと教わることも多かったと思います。長い42年間も今思うとあつという間の感じがしますが、多くの皆

さんと縁を持つことができました。

皆さんが社会で活躍していただいているのを素晴らしいと思っていますし、教師として中高時代に多少でも影響が与えることができたかと思っています。

これからは父の面倒を見て過ごしていきますが、皆さまはコロナに気を付けて今後也大いに頑張つて、活躍してほしいと思っています。

※記事にはしていませんが、横山先生は、いろいろとメモを用意されており、数学教師らしく、生徒数や新旧の赤点制度の差など具体的な数字を挙げてお話をしてくれました。また、先生の名前を交えた詳細な懐かしい裏話もたくさん伺うことができました。

午前中のインタビューを終え、お借りしている大きな会議室で、紫縁会の取材班が昼食をとっていると、横山先生と吉川先生が温かい飲み物を差し入れてくれました。変わらぬお二人の気配りに感謝しました。

SOUMEI MAGAZINE



No.019-2022

吉川末恒先生

1991年(平成3年)着任

○着任まで

職に困らないようにという沖永良部島に住む親の意向で、明治大学の商学部に入りました。本当は文学部に入りたいという思いがあったためか、在学中は学業よりも演劇の活動に力を入らず、就職活動をおろそかにし、当時付き合っていた人が故郷の北海道に帰るとき引き止められなかった苦い思い出があります。結局、商学部卒業後に、親に、きちんと就職するという約束をして、文学部に入りなおしてさらに3年間勉強しました。

当時、文学部の就職といえば、新聞記者や教師が主なものでした。私も教師になるために東京と北海道の試験を受け、両方と



も合格をいただきましたが、東京都は4月からの就職を保証した合格ではなかったこともあり、以前付き合った人への思いもあって、北海道の道立高校に就職することになりました。

その後、北海道の工業高校、次に商業高校で生徒を教えました。大学の恩師から明治中学校・高等学校の教員募集を教えてもらい、採用試験に受かり、商業高校時代に結婚した大学時代に付き合っていた人とともに、東京に戻るようになりました。

○着任当時の思い出

先生としてのスタートは公立の工業高校でした。素直な生徒が多く、自由で縛りも少ない環境でした。私自身も勉強の厳しさを教えるという意識は希薄で、生徒と二緒に遊ぶという感覚さえありました。特に教えていた国語については、数学などとは違い、工業高校では力を入れている科目ではなかったので、逆に生徒も楽しく勉強していたと思います。

そのような環境にいたので、明大明治はどのような学校だろうと、わくわくして着任したら、生徒は提出物をちゃんと出し、勉強をしっかりしているのに驚きました。ちなみに今はさらにそれが加速している気がします。

着任当初、国語で私と組んだ尾崎先生は、厳しだけでなく、休み時間に食い込むほど熱心な授業をしていて、生徒との向合いの方の違いにショックを受けました。その後、私もだんだんと慣れていき、これが明大明治のいいところだと思うようになりました。

た。

公立と明大明治の違いは授業だけではなく、例えば修学旅行では公立校では業者が手配し、先生はそれに任せて、ともすれば慰安旅行のような感じがすることもありました。明大明治では生徒が修学旅行を検討する委員を立ち上げて、いろいろと考え、先生もそれに応えるべく夜遅くまで、準備をしていました。

また、その修学旅行でも、夜騒いだ生徒を廊下で壁面に向かって正座させたことがありました。管理するほうも眠れないので、大変でしたが、夜中まで付き合ったことを覚えていています。

明治の先生はきつちりやつて、一生懸命であると思います。

○紫縁会の代との思い出

就任した2年目に、初めて担任を持ったのが当時高1であった紫縁会の代でした。そのような事情があり、思い入れのある代です。

生徒には、勉強以外でも一生懸命やることが大切との思いで接してきました。紫縁会の取材班から、神輿を一生懸命やっていた生徒が今も続けており、高校時代に私から中間テストも大事だが神輿も大事だと言われたことを覚えていて、私の意図をくみ取ってくれていたという話を聞かれ、うれしく思います。

紫縁会の代では、卒業前には、何かやろうという話になりHRで焼肉パーティーの提案があり、できることを検討した結果、山岳部の生徒の提案もあり、猿楽町校舎の4

号館の外で廃材を利用した焚火で作る豚汁パーティーを開催しました。故郷のアンタギー(沖縄のドーナツ)も振る舞い、会はとても盛り上がりました。食べ終わった後も、何人かの生徒が、煙が残る焚火のあとを度胸試しに歩いて歓声を上げていたのを覚えていています。

彼らの卒業後、高Ⅲを受け持つことが非常に多く、生徒を送り出す機会が多かったこともあり、卒業記念の豚汁パーティーはその後何回か行いましたが、焚火は消防法の関係から事務長から待ったがかかりでなくなりませんでした。

その後、炭火でのBBQなどもしましたが、今の時代それは難しく、できないのが残念です。

ちなみに、当時のニックネームは「エラ」でしたが、「ガラピー」を経て、今は「ヨッシー」になっています。ニックネームについては、距離の近さ、信頼の証だと思っています。

○猿楽町から調布に移転して思うこと

移転、共学化にあたって、学校の指示でセミナーを受け、共学校への研修に行くことになりました。セミナー等では、新たに迎えられる女子生徒を不安にさせないよう、いろいろと学びましたが、もともと公立校で女子が多い商業高校にも勤めていたこともあったため、個人的には普通にやることができました。

ただ、男子校だったときは服装面なども含め自由奔放であった男子が、身だしなみを気にするなどしっかりとってきた反面、女子の積極性に押される場面も見えます。



今では、校舎内で休み時間などに男女が仲良く話しているのが普通ですが、男子校であったとき、文化祭の終了後校舎の敷地外で、女子が待っていて、案外もてるんだなと思ったことが印象に残っているので、ずいぶん変わったものだと思います。

個人的には、猿楽町校舎勤務の際に千葉県県の流山市に家を購入し、同じ地区の先生と東葛友の会を作っていました。学校が調布に移転したので通勤に2時間半かかることになってしまいました。頑張つて通っていましたが、6年前に桜上水に家を建てて引っ越しています。

また、御茶の水では、古本街や遺跡などの文化に触れる機会が多くあり、そういった面でのいい環境にいたと思いますし、「まんてん」や「いもや」などの外食店が懐かしいです。

○部活動の思い出

文学研究会からはじまり、今はソフテニス部、演劇同好会、有志の小説同好会に携わっています。退任までに、これほど多くの部活にかかわってきた先生はいないのではないかなと思うほど多くの部活に、顧問や副顧問としてかかわってきました。

硬式野球部の副顧問時代に、伊豆大島一周のランニングで、生徒の帰りが遅いため、安否を心配し、車を借りて探しに行ったのに見つからず、不安を抱えながら宿に戻ったら生徒がすでに戻ってきていたことがありました。無事が確認出来て安堵したこと覚えています。その他にも、顧問の先生同士の意見が対立した部活で、仲立ちをしてまとめたり、部活が円滑に行えるよう仕組みを整えたり、苦勞することも多くありましたが、生徒と身近な関係を作れた部活もあり、いい思い出になっています。

○縁とつながりについて

先生、生徒、友人、伴侶、仕事、いくらでも縁はあると思います。

それをどうやって活かすのか、上手くととのうためには、それを考えるのが必要だと思います。

縁を活かすときに、自分が活かされて、相手も活かされるかを頭において欲しいです。「ウインウイン」とは少し違うかもしれませんが、「+」も「-」も含めて、お互いに縁をもつてよかったと思えるスタンスがないとまずいと思います。

あなたのおかげでよかった…、こちらこそ…がないと、いやな面を見ることになること

もあると思います。

私自身も、明中高の31年、北海道を含めて、たくさん生徒がいて、教える立場にいましたが、おかげさまでいい思い出もたくさん作ることができました。

昔のことを教え子に覚えていいると言われるたらうれしいし、感動もします。

○退任後の話

やりたいことはたくさんあります。

教育も人を作っていくという側面がありますが、物を作る、作っていくのが大好きです。周りからは退任後は、小説や戯曲を書くのかとか聞かれています。自分の家を2軒設計した経験を活かし、2級建築士を取得して、友人などの家を設計できればと考えています。プロの設計士ではない感覚を生かして、コストがそれほどかさまないが、より頑丈な家などを設計したいです。

○卒業生へのメッセージ

31年間、卒業生をたくさん送って来ました。今日来てくれた紫縁会のみんなが、立派になっていてよかったです。教育をしたという意識はありませんが、学校を楽しみ、卒業し、社会人になった姿を見ると安心します。

卒業生の皆さんが、それぞれの役割を果たし、子育てもそうですが、人生を楽しみながら頑張つてほしいです。

そして、皆さんが集まったときに、いろいろな話で盛り上がるのは、至福の時間だと思います。

みなさんが頑張つて、人生を送られるよう

願っています。

※記事にはしていませんが、地下鉄サリン事件の1つ前の電車に乗っていたことや、紫縁会の代では古文担当のため、古文が専門だと思っていました。実はあまり専門ではなく、苦勞したという衝撃的なお話、故郷への思いも語っていただきました。

インタビューの最後に、メッセージ動画を撮影し終わると、お二方とも、少しホッとされたような表情をされました。

残念なことに本年度はコロナの影響で、生徒を前にした退任式は行われないうのと、そこで、学ラン姿のOBからの花束贈呈など、ささやかなセレモニーをさせていたできました。

先生への恩返しの意味も込めてこの企画ですが、今日もまた、大切なものをいただいたような気がしました。

先生方、ありがとうございました。



硬式野球部OB会

明 球 会

会長 一泉二郎 (昭和51年卒)

事務局 染谷貴男 090-3205-9735

祝 総明会総会

明治会

昭和32年卒



祝 第58回総明会総会 がんばれ 紫縁会

歴史研究部OBOG会

会長 鴨下 裕彦(昭和56年卒)

副会長 白畑 尚志(昭和56年卒)

副会長 安達 俊幸(昭和57年卒)

事務局 渡辺 隆之(昭和59年卒)

会計 土田 正昭(昭和61年卒)

事務局 山下 征隆(昭和63年卒)

小坂法律事務所

弁護士

小坂嘉幸

昭和34年卒

〒110-0005

東京都台東区上野3-21-1

宮本ビル4F

TEL. 03-3831-6032

FAX. 03-3831-6037

祝 第58回総明会 総会・懇親会

吹奏楽班OB・OG会

会長 斉木 麻州男

(昭和56年卒)

細田木材工業株式会社

代表取締役会長

細田 悌治

(昭和35年卒/珊瑚の会)

〒136-0082

東京都江東区新木場 2-5-3

TEL. 03-3521-8701 FAX. 03-3521-8708

e-mail t-h39@woody-art-hosoda.co.jp

http://www.woody-art-hosoda.co.jp/



MEIJI
UNIVERSITY GOLF CLUB

明治大学体育会ゴルフ部

監督 榎本 剛之

(平成2年卒)

Instagram

meiji_golfteam



有限会社サンウッド
TEL. 044-555-7016

昭和37年卒

新麴町法律事務所

弁護士 福島啓充

〒102-0083

千代田区麹町3-7-4秩父屋ビル5階

TEL 03-3234-0511

FAX 03-3234-0510



祝 第58回 総明会総会・懇親会開催

明治大学体育会ラクロス部OB一同

平成2年卒 坂入 洋人

平成3年卒 佐久間 進、中山 将、山本 英二、山口 一郎

平成4年卒 大山 建次、木下 泰之、森田 慶次郎

昭和40年卒 明優会

マンドリンクラブ

JRC

(株)アドベンス

代表取締役

大塚清和

浦安市猫実4-6-28 1101

TEL. 047-355-6633 (代)

祝 第58回 総明会

明治高校

マンドリン部OB・OG会

株式会社
レストラン・ピガール
明大1号店

ケータリング パーティー
各種お弁当承ります。

〒182-0033

東京都調布市富士見町4-23-25

明治大学付属明治高等学校・中学校内

TEL/FAX. 042-480-9703

担当総括支配人 山口剛志

すべてを突破する。 TOPPA!!! TOPPAN

小林 義典 (昭和53年卒) 笠原 謙介 (昭和58年卒) 山本 伸幸 (昭和60年卒) 永井 聡 (昭和63年卒)
定谷 正春 (平成元年卒) 今泉 仁 (平成2年卒) 山本 洋貴 (平成5年卒) 水野 泰博 (平成8年卒)
竹村 圭史 (平成12年卒) 木村 啓 (平成15年卒) 新藤 良亮 (平成18年卒) 川村 実穂 (平成23年卒)
中島 多朗 (平成26年卒)

凸版印刷株式会社 <https://www.toppan.co.jp/>

紫讃会

堀内 繁

(昭和43年卒)

機械式時計専門店

株式会社ティーエス・ホリウチ

TEL:03-3831-9733

FAX:03-3831-9734

<http://www.ts-horiuchi.co.jp/>

昭和四十二年卒
竹川忠芳
弁護士
事務所

〒一〇五〇〇〇三
東京都港区西新橋一〇一三
虎ノ門法律ビル四〇八
電話 〇三三二五〇四二二〇八
FAX 〇三三二五〇四二二〇七

株式会社 宮本卯之助商店

創業 文久元年



宮本卯之助

宮本卯之助

(昭和35年卒業)

〒111-0035 (西浅草店)

東京都台東区西浅草2-1-1

TEL 03-3844-2141

FAX 03-3844-6730

祭・踊衣裳

日本の歳時記®

製造・発売元

株式会社 佐藤万

佐藤 武

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

東京都中央区日本橋久松町6番5号

TEL 03(3664) 3611 (代)

<http://www.nihon-no-saijiki.co.jp>

昭和四十四年卒
明治大学法律会
会長
田中 等

丸の内南法律事務所
〒100-0005
千代田区丸の内二丁目一三
丸の内通りビル七二七
TEL 〇三三二一五二一五
FAX 〇三三二一六〇四四

Ch
CITY・HOUSING

城南地域で30年 12,000件以上の豊富な管理専任実績

株式会社シティ・ハウジング

代表取締役会長 佐藤 仁 (昭和39年卒 三九会・一一七会)

本社 東京都大田区西糀谷4-28-18 TEL 03-3742-7177 FAX 03-5705-8097

糀谷本店・京急蒲田店・蒲田店・大森駅前店・大森店・大井町店・雪が谷店

マイケル&マック

鍼灸・中医学・東洋医学・
脈診・漢方・均整法

千葉県市川市北方2-2-10

TEL&FAX 047-336-0763

HP:<http://michaelmac.jp>

鍼醫 松本 明久

昭和44年卒 男坂倶楽部



昭和38年卒 二年に一会

石野 隆 水泳部OB

03-6264-8253

東京都中央区東日本橋 3-9-2

サンクビル 1F

イタリアン
トラットリア リンシェメ



昭和34年卒 明高野球部OB

丸マルキュー株式会社

代表取締役会長

宮澤 政信

〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀 2-4

TEL:048-728-0909 FAX:048-728-3909

ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

祝 第58回総明会総会

明治高校
昭和43年卒
同期会

紫讃会

花や鉢物のお届けします。

昭和45年卒

株式会社
ポトマックガーデン

代表取締役

平田 幸彦

〒107-0052

東京都港区赤坂7-8-13

TEL 03-3589-0687

FAX 03-3583-9423

OB・OG 活動報告

OB・OG ACTIVITY REPORT 2022

めいらくかい

明楽会 昭和31年卒 佐藤 健一

総明会の開催お祝い申し上げます。

約4年ぶりの開催、心より待ちわびる高齢者群団は来る11月4日、日比谷「松本楼」にて開催の運びとなりました。明楽会として過去3年以上の不開催はありませんでしたが、ついに開催の運びとなった今、会員一同楽しみにしていることと存じます。

世界を震撼させてきたコロナ禍の中、高齢にもかかわらず、会員一同頑張っておりまいた。

その間幾多の仲間が此の世を去り、残り少なくなった仲間を考えると早期開催を望んでまいりましたが、世の中の波風に逆らえず、本年までになりました。

総明会のご案内と共に小冊子をご覧になり、是非ご参加を頂きますよう心より願っております。総明会の開催が盛大に、成功裏に開催されることを祈念しております。



きゅうかい

旧雨会 昭和34年卒 秋山 義昭

今回は『「縁」〜ととのう〜』という不思議なテーマを与えられた。

平成7年度卒「紫縁会」、今回の総明会会報の原稿執筆依頼のキーワードは「縁&ととのう」さて、どうする。「縁」は会名からもわかるが「ととのう」が…。このCovid-19災禍の中、「旧雨会」も3年間開催を見合わせている状態です。そこで開き直って、最近のトレンドである“サウナで整う”という言葉がサウナ用語として定着しています。

サウナで「ととのう」というのは、サウナ→水風呂→休憩を3回ほどくりかえすことで訪れる快感、トランス状態のことを指します。我々の歳になるとコロナ禍が終息を迎えるまでは、動きが取れないのが現状です。それなら個人で楽しいことを考え快感を得て「整える」方を優先したいと考えます。もちろん「旧雨会」は名簿が完璧に整備されているので、整えばいつでも“Go To”できます。会員の皆さまとの楽しい懇親会を企画待機中ということで「整い次第」開催いたしますので、よろしく願いいたします。

総明会の活動を通しての「えにし」ですが、これは先輩・後輩の情報発信をいかに広めるかにあります。我が学年は甲子園に春・夏2度連続で出場した「猛者」が揃った学年でもあります。しかし、スマホは95%の同期が所持しておりますが、メールアドレスを登録している「猛者」となると15%程度となってしまふ。会員間のコミュニケーションも限られてしまふ欠点があります。SNSでの情報交換ができれば、かなり情報は広めることができますと考えます。私もTwitterは2011年2月より呟いております。(ハンドルネーム：Gongitune3)先輩・後輩の方々がフォローして、総明会の情報などを伝えることはできます。総明会本部でTwitterを設立すればSNS上で情報は共有ができます。「えにし」を本格的に考えるならTwitter活用を、岸田首相と同様に「検討」を考えてみてください。本日、東京は梅雨明け宣言されました。猛暑の中、熱中症にはくれぐれも注意してご自愛ください。(2022年6月27日・記)

【明治高校昭和34年卒】旧雨会担当窓口 秋山義昭

連絡先：☎164-0011 中野区中央4-42-5 Tel.Fax / 03-3382-4187 メールアドレス：aki3583@gmail.com

めいしゅんかい

明駿会 昭和36年卒 向殿 政男**明駿会メンバーは、今年度で全員が傘寿(80歳)**

コロナのために、残念ながらここ3年ほど、同期会を開催することができていません。全員が今年度で80歳を超えることになります。そんな中でも元気なメンバーはいろいろなグループを作っていて、各々好きなように活動をしています。例えば、駅伝を応援に行く会とか、屋久杉を見に行く会とか、**君を囲む会とか、そして、(次第についていけない人が出てきていますが)山歩き会等々です。そのような中でも最も盛んなのは、石川守也君が中心となっているゴルフ会でしょう。掲載した写真は、今年の5月の明駿会ゴルフの会のものです。

80歳を迎えると、仲間の中で亡くなる人も出てくるのは自然ななりゆきでしょう。ゴルフの会の主要なメンバーが過日亡くなったので、ゴルフ仲間が30名前後集まり、偲ぶ会をやろうと現在企画しているところです。

ウイズコロナなのかアフターコロナなのか知りませんが、そろそろ同期会をやろうという声が、現在の代表幹事の山田和孝君や元代表幹事の加藤真義君から出ています。人生100歳時代とは言いますが、早く再開したいと全員が期待して心待ちしているところです。



にねんにいっかい

二年に一会 昭和38年卒 関戸 淳一**カリスマ会長 三浦昭生の思いを引き継ぐ**

昭和32年から38年の高度経済成長期に明中・明高で一日でも机を並べた学友の学年同期会「二年に一会」です。卒業の翌年に第1回の総会・懇親会を開いてから早60余年。まさに本年の総明会の活動テーマ「縁」そのものの。

後期高齢者の仲間入りをした令和元年の第34回開催まで、単純明快に会名のとおりの2年に1回一度も欠かさず開いております(平成20年第23回からは毎年開催)。残念ながらここ2年余は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催もままならず中止。そこで喜寿を迎えた昨年は、近況報告を募り「誌上二年に一会」。だが、報告をまとめている時「会」を立ち上げ半世紀超会長として引っ張ってきた三浦昭生さんが急逝。遺稿となった近況の末尾に「コロナ禍が収束して皆様と美味しいお酒をいただき、校歌を歌いたいと願っております」とつづられ、会への思いが滲んでいます。本稿締め切り時には本年の開催は未定ですが、カリスマ会長の思いを引き継ぎ「二年に一会」を続けてゆきます。(写真・平成28年第31回・蔵前プリバードにて校歌合唱)

事務局・連絡先 〒135-0005東京都江東区高橋14-20-801 関戸 淳一

TEL/FAX 03-3631-2008 Mobile 090-4390-9355 E-mail sekido-e@amail.plala.or.jp



さんきゅうかい & いいなかい

三九会&一一七会 昭和39年卒 佐藤 仁

三九会と一一七会、我々昭和39年卒は同期会が2つあるの？生徒会本部のOB会である「一一七会」が卒業後に発足し、その後に同期会として「三九会」が発足しました。

卒業後30年、40年と月日が経ち、毎年1月に定期的で開催している「一一七会」のメンバーを中心に「三九会」も「一一七会」も同期会としてののではという雰囲気となり、2つの名称を残しながら39年卒の同期会として『三九会&一一七会』と今はなっています。

今年は我々同期の昭和20年生まれは77歳になります。7年前に『古希の祝い』を開催しました。「還暦」「古希」と節目節目は盛大にみんなが集まりました。三九会ゴルフ会も春秋年2回必ず開催しています。写真は今年の春のゴルフコンペ集合写真です。元気な13人が集まりました。

77歳「喜寿のお祝い」は11月12日(土)、同期の北村君のお店「日本橋レストラン東洋」での開催が決まっています。コロナ禍を克服し、集まる同期の友と一緒に「喜寿」を祝いたいと思います。これからも「傘寿」「米寿」と三九会はずづきます。



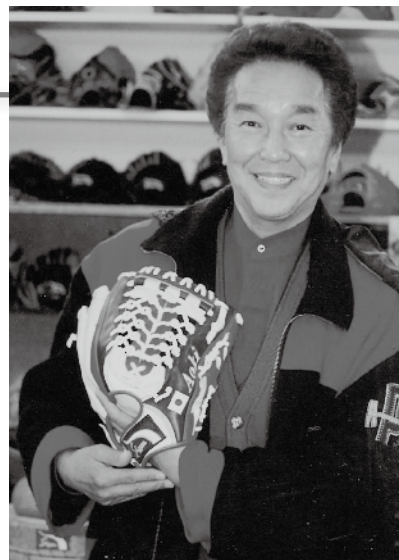
よんいちめいゆうかい

四一明友会 昭和41年卒 廣瀬 準

いつもお世話になっております。長らく同期会ができておりませんが、今も思い出すのは昭和40年の「第37回選抜高等学校野球大会」に明治が出場したことです。当時出場が決まって東京駅を出発する時に校歌を歌うということは、今では考えられない状態でした。

結果は第1回戦は田原本高校に勝って、第2回戦は岡山東商業高校に1対0で負けました。

優勝したのはこの岡山東商業で、大洋ホエールズに行って200勝投手になった平松投手を擁していました。皆様今後も明治で得た「縁」を大切にしてください。



えむよんじゅういち

M 4 1 昭和42年卒 伊藤 謙一

母校は調布に!!

駿河台の校舎から調布へ移転し、男女共学になったのは2008年ですので14年が経ちました。機会があれば行ってみようと思いつつながら、実現しませんでした。

2022年の同期会(M41)開催について、コロナの影響を考え青空のもとに集まって散策らしきものはいかがなものか、と思っていました。

たまたまTV番組で紹介されていたのでそれに触発されて(?)、ほとんどの同期は行っていないであろう調布の地へ足を運びました。

守衛所にて卒業生である旨を伝えて快く入場が許されました。まず目に入ったのは広い広～いグラウンド、なんといっても6面のテニスコートの存在感にはびっくりでした。もと庭球部員(今はソフトテニス部)としては羨ましい限りでした。校舎もゆったりとした佇まいでいい感じでした(写真)。さらに別棟の記念講堂も大変立派でした。

2023年M41同期会開催に向けて、現地(調布)見学を含め幹事7名で検討したいと考えております。無事の開催を祈念して!

幹事団: 朝貝省吾・伊藤謙一・倉又光仁・後藤孝男・佐藤茂和・町田菊男・村西一郎



調布校舎

しさんかい

紫讃会 昭和43年卒 志村 一夫

令和元年9月銀座オーラムにおいて「W35celebration party」と銘打って古稀のパーティーを華々しく行った。その後の定例の飲み会(月1回)では、楽しかったパーティーの話題を酒の肴として飲み会も盛り上がった。

しかし、半年後の令和2年3月よりコロナの影響で残念ながら紫讃会の全ての行事(毎年6月開催の総会・毎月開催の定例飲み会・ゴルフ会等)を2年以上開催していない。

ただ、コロナ禍でも、親しいもの同士で酒を飲んだり、ゴルフをしたりと交際はあちらこちらで続いているようである。特にゴルフ好きの仲間(石井・萩・小田島・国井・榛葉・中尾 等)は、毎月の定例飲み会が中止となった翌月から月1回のゴルフ会を行っている。

コロナが落ち着いたたら大勢で、笑顔で、再会しましょう。その時期は近くに来ています。それまで、健康にはくれぐれも留意してください。(写真は令和4年5月のゴルフ会)



おとこざかくらぶ

男坂倶楽部 昭和44年卒 寺田 康夫**1枚の写真から**

今年102歳になる母親の荷物整理をしていたところ、60年前の懐かしい写真が出てきた。中学3年C組(たぶん)の夏季林間学校で山形蔵王のお釜で撮った1枚の集合写真である。林間学校はハケ岳の印象が強く、蔵王のことは忘れていた。可愛らしい顔が並んでいる(ちなみに後列右端が私)。元気だったころの松枝先生(愛称チーター)、樋山先生(同サンマ)、山口先生(同エゾー)、水落先生(同ターザン)、中村先輩らに連れられて蔵王の山々を歩き回ったことを思い出した。宿泊先はパラダイスゲレンデ前の「樹氷の家」、向かいにあった「パラダイスロッジ」の方が立派だった。そこからザンゲ坂を登り蔵王最高峰の熊野岳を経てお釜まで歩いて撮った写真のはずだ。蔵王には冬休みのスキー学校にもまだ新幹線のなかった上野駅発の夜行列車で行き、初めてのスキー教室で自由時間にリフトを乗り継いで登り過ぎ、習いたてのボーゲンでおっかなびっくり降りてきたことも思い出した。

今も蔵王山麓の農家からサクランボを送って貰っている。今年もそろそろ届く季節になってきた。今も昔も何かと縁のある蔵王である。この時の仲間もすでに何人かは鬼籍に入り、もう会えない。そういえばコロナ禍で男坂の総会も3年やってなかったなあ。今年はみんなの元気な顔が見たいものである。

ししのかい
獅子の会

昭和45年卒 比留間 竹郎

「獅子の会」の会員も今年は71歳になる年です。会としては毎年開催するいろいろな行事もコロナにより出来ず、古希の会も残念ながら延期と成りました。60歳からの10年の間には還暦の会に出席した同期も何人か亡くなりましたが、「獅子の会」幹事長で総明会前会長の吉田耕太郎君(2月逝去)もその一人です。彼は中学から大学までの10年間を応援団一筋、高校時代は応援団長も務め、また奉仕の精神で「男坂の清掃活動」を毎日欠かさず行っていたこと、卒業式の答辞の姿は今でも同期の記憶に残っています。そして「獅子の会」の運営の中心でシンボリック的存在でもあった彼が居なくなったのは大きな痛手ですが、事務局・幹事全員で協力し、運営して行きたいと思います。コロナが終息し、古希の会が開催された時には出席者全員で亡くなられた同期に黙祷を捧げ、昔話に花を咲かせたいので、会員の皆さんも身体に気を付けて、古希の会には欠ける事無く参加していただきたいです。獅子の会のホームページに住所不明者の名前が掲載されていますので、住所のお分かりの方は事務局まで連絡頂ければ有り難いです。



めいちょうかい

明潮会 昭和46年卒 澁谷(旧姓:若谷)司

昭和46年卒の明潮会の明高時代は、今の明高の様に東大や医学部受験などをする生徒はおらず、勉強といえば、試験の前の一夜漬けのみ、おかげで大学の英語の時間は苦勞しました。そんな中、異色の明高生活を送り、元拓大海外事情研究所教授として活躍され、現在もアジア太平洋交流学会会長の澁谷君が「明治校の思い出」を寄稿してくれました。

「明治校の思い出」

私は文京区立第九中学校から明治高校へ入りました。同じ年、文京九中から明高へ入学したのは、私を含めて4人です。当時、私は将棋に狂っていてプロ棋士を目指していたので、高1時代の成績は散々たるモノでした。毎回の中間・期末テストでは、クラス58人中必ず51番か53番です。54番以下の生徒は確か、他の学校へ移って行きました。

私が変わったのは、高IIの夏休み以降でした。初めて、勉強しようという意欲が湧いて来たのです。そして、「無謀」にも他大学を受験しようと思い立ちました。その頃、安澤さん、矢口さん、倉富さんという、成績最上位の御三方とお付き合いさせていただいたのです。

実は恥づかしながら私は明高在学中、1度も100番以内に入れませんでしたが、御三方からは、勉強そのモノはもちろんのこと、勉強の仕方まで教えていただいていた。結局、御三方の中で、安澤さんしか他大学を受験されませんでした。安澤さんは見事、現役で都立大学法学部に合格されています。おそらく、あとのお二人も他大学を受験していれば、十分合格は可能だったのではないのでしょうか。けれども、お二人とも大変堅実な方だったので、推薦でそれぞれ明治大学工学部(現理工学部)と商学部へ進学されました。

私は、2浪後、中央大学法学部に入りました。しかし、私は受験にこだわって「無謀な挑戦」を続け、最終的に、東京外国語大学中国語学科に入り直しています。そこで、生涯の恩師(中国研究の第1人者)となる方に会ったのでした。今振り返れば、明高時代は「若かったな」の一言です。しかし、当時安澤さん、矢口さん、倉富さんにお会いしていなければ、現在の私はなかったでしょう。御三方には、感謝しても感謝し切れません。有難うございました。

四七四七同志酔会 昭和47年卒 戸張 毅

ケータイの呼出し音が鳴っている。ご無沙汰しております。仕事はまだなされておりますか・・・やっていますよ。仕事の依頼電話である。このようなやりとりから始まる会話、高齢そうだが仕事は続けているのだろうか、様子を確認する電話でもある。そのような会話になるのも今年数えの70である。古希を祝う歳になったのである。コロナも落ち着き始めた先日、同期から食事会の連絡が入り、10人ほどが集まった。皆一応に元気そうであった。そこで話題になったのが古希の祝いである。還暦の祝いは、湯島天神にて同期の皆と執り行うことができたのだが、古希のお祝いはどうするか、コロナの見通しはたまたないし、持病のある人もおり、今回は古希の祝いを先送りすることにします。四七四七同志酔会同期の皆さん、古希の祝いまで元気にしていてね。

結びになりますが、総明会が新しい時代になりましても受け継がれた法被の袖に腕を通し、明治の伝統と文化が受け継がれていくものと確信しております。

(写真)R4.5.23 六本木北京ダック「全聚徳」にて

左上より内田、羽生、佐野、古川、皿井、戸張、廣野、本橋、松村、三澤(敬称略)



めいし かい

明紫会 昭和50年卒 世古 俊之

2002年に幹事学年を終えてから20年となりました。あつと言う間の20年と感じています。現在の私は昭和50年卒同期会の明紫会会長、硬式野球部OB会明球会の総明会評議委員と、総明会との関わりを途切れなく続けさせて頂き、本当に幸せに感じております。

私が幹事を引き受ける基になっているのは、母の血筋DNAなのかも知れませんが。私の母は私が物心ついた頃から出身地元の高等小学校の同期会幹事で、毎年開催の1泊同窓会を大変そうだけど楽しげに準備している姿を目にしていたからです。

振り返れば大学ゼミ同期会、社会人3年目から会社の駿台会幹事を15年、40歳から地元中学の学年同期会の幹事、城南地区での明大卒異業種交流会の幹事等、家内から「あなた自分の仕事以外の事やり過ぎでしょ」とケンカ腰に怒られながら、やり続けています。母のDNAなんですかねえ、いや根が好きなんです。人との関わり、他の人が喜ぶ事にやりがいを感じ、決して「ほめ言葉を求めない」をモットーにして長く続けてきました。ほめ言葉を期待してしまうとメンタル的に良くありません。

総明会との関わりが一番長くなりました。毎年、新しい幹事が加わり私達の代から20代、これからも1年毎に新しい後輩との繋がりが増えていくのです。ワクワクします。

この総明会で私達の代の上下約40代の先輩後輩との関わりが持てているのです。その為には、「一歩前へ」の心意気が大切です。頼まれたからではなく自らの意志で行動して行く事が大事です。これからも私なりに総明会の良き伝統を脈々と流し続けていく上で関わり続けてまいります。

めいめい かい

明々会 昭和51年卒

コロナ騒ぎで 早3年目。

最近「介護保険被保険者証」が手元に送られてきて そろそろ諸先輩方と同じ高齢者の仲間入りがみえてきた。

我が明々会もこの2年間、同期会も開けず、じっと我慢の2年間でした。そんな中、3年目の今年は朗報です。やっと明々会も総会をそろそろ開こうという話になりました。感染対策も考え柄にもなく「フレンチで」です。

いつものように、密になって大声で校歌を歌うなんてできないかもしれませんが、絆は深まると思います。3年ぶりの同期会、心待ちにしています。この会報がお手元に届く時には 久々の同期会を満喫したみんなの笑顔が残っていると思います。

今年の幹事学年「紫縁会」の皆様には申し訳ありませんが 来年の会報で報告、3年ぶりの笑顔をお届けできると思います。お楽しみに！

そんなわけで何の写真もありませんので、最近撮りました夕暮れの「男坂」を添付します。

早くみんなで笑顔の写真を撮りたいですね。



だんしこうこんじょうぐみ

男子校根性組 昭和52年卒 大西 静士郎

コロナ禍の中、今年も同期会(総会・懇親会)を開くことができず、なかなか同期の仲間と会うことができない。辛いことだが、医者に言わせると、還暦を過ぎた私たちは新型コロナウイルスに罹患すると命の危険があるそうなので、大病したり、成人病の治療を受けたりしている年代としては、もうしばらくは身を慎まなければならないようだ。

さて、今年の会報の原稿は私が書くこととなったが、何を書こうか迷ってしまう。前述したように同期会は行っていないのだから、それ以外のことを書くしかないだろう。

2019年の夏のことに記憶しているが、明治大学校友会千葉県支部から、鶴澤総明先生の顕彰碑の見学と先生についてのお話を聞く企画に総明会も誘われて参加したことがある。その際に、挨拶に立った(当時の校友会会長)向殿政男総明会名誉会長から、名誉会長が明治中学に入学された昭和30年頃は鶴澤先生に薫陶を受けた先生がかなりいらっやして、リベラルな校風だったと言われて仰天した覚えがある。なぜなら、私が明治中学に入学した昭和46年頃には、そのような校風では無くなってしまったからだ。ただ、昭和30年頃の生徒会長だった田村正彦先輩(故人、国語の故・田村晴彦先生のお兄様、昭和30年卒)たちの生徒会は生徒が自主的に活動し、理想的な生徒会だったと評価が高かった話を聞いている(過程第7号に生徒会時代の思い出を寄稿されていると記憶している)ので、それはリベラルな校風とのつながりが感ぜられるのではないだろうか。

あらためて思うのは、鶴澤先生が旧制明治中学の初代校長であり、東京裁判の弁護団長であるということ以外を私はほとんど知らないということだ。現在、明治大学では鶴澤先生の研究が進められており、その研究成果は順次公開されているようだ。「温故知新」という言葉があるが、鶴澤先生の足跡をたどりながら、校風の変遷を考えるのも当時の生徒(卒業生)たちが健在な今のうちにできることではないか、と思う。

めいせいかい

明誠会 昭和54年卒 同期一同より**また集まって一杯やろうね!!**

2015年6月



2019年6月

めいしょうかい

明翔会 昭和56年卒 寺村 一義

～ととのう 還暦祝を迎えて～

恒例となった「第16回明翔会総会・懇親会」が今年も6月25日に開催された。ただまだコロナ禍の影響が残っており、残念ながらZoomにての開催となった。

蓬田会長の挨拶の後、昨年度の事業報告・今年度の事業計画の説明があり、鴨下会計からも昨年度の実績と今年度の会計案が提示された。さらに現役員任期の1年延長の提案事項も含めて滞りなく承認された。総明会の専務理事でもある衛藤君からは今年度の総明会行事の報告があり、11月開催予定の総明会総会にも是非参加をお願いしたいとの要請があった。また、総明会の行事として6月に行われた初の駅伝大会にも最年長学年として参加し、立派な実績を残したとの報告があったことを付け加えたい。さらに役員以外の参加者で唐鎌君・鳥澤君・酒井(一也)君・吉田(伊佐男)君からは近況報告もあり終始和やかな雰囲気の中で総会はお開きとなった。その後は各自好きなアルコールを飲みながら懇親会に移り、来年2月11日実施予定の還暦のイベントに関する活発な意見交換が行われた。現時点(6月)では神田明神参拝・旧校舎見学・ホテルでの会食等が計画されているが、未確定の要素も多い。今後は執行部を中心に会合を重ね、明翔会として幹事学年以降最大のイベントとなる「還暦パーティー」を多くの同級生とともにお祝いしたいと思っている。



明魂会 昭和57年卒 菊池 正純**コロナ禍3年目に思うこと**

世界がコロナ禍に翻弄されて3年目となり、その間に様々な出来事がありましたが、1年延期して昨年の夏に開催された「2020東京オリンピック・パラリンピック」が過去のことを感じるなど、なぜか現実感の薄さを覚えます。その要因に、コロナ禍により人と接する機会が減っていることがあると思います。今年の春以降は感染状況が落ち着き、街に酒宴の賑わいが戻ってきたことを嬉しく思いながら、わが同期会「明魂会」の懇親会開催を検討していましたが、また第7波が到来し苦慮しています。

2022年の総明会幹事学年の皆さんにおかれてもご苦労が多いことと存じますが、その中で行われた神田駿河台から調布をつなぐ「駅伝」の企画には、「明魂会」から小林謙之君、関川一浩君、玉置正人君の3名が参加させていただきました。共学化などを経た新しい母校と「総明会」との関わりを考える、大変意義深い契機になったと思います。

秋の「総明会」総会・懇親会が開催できることを期待しつつ、総明会会員各位におかれましては、健やかに過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

明輪会 昭和58年卒 山田 寿一

明輪会は、昭和39年(1964年)の東京オリンピックの前後に生まれた学年です。

その名にちなんで、東京オリンピックの2020年にはより盛大に開催しようと計画しましたが、コロナ禍により断念していました。今回は、7月9日に富永龍司君のお店、浅草 十和田にて3年ぶりの開催となりました。今回は役員の交代があり、会長はバスケ部OBの門川隆之君から水泳部OBの浅見尚次郎君にバトンタッチされました。

浅見新会長は就任の挨拶で、節目となる2年後の60歳の同期会には「是非、多くの人数で集まりたい。」との目標を掲げられました。今回はコロナ禍もあり、11名と少人数の参加でした。2年後に向けて今回の参加者それぞれが勧誘活動に力を入れようとか、その為にゴルフコンペ、野球、ラグビー観戦等のイベントの企画を立てようなどの提案がありました。懇親会では、各自の近況報告のほか、堀切菖蒲園のフォーク師範、小林聡君の弾き語り披露もあり、締めにはゲストの総明会幹事学年委員長(応援団OB)のエールによる校歌斉唱と、明輪会のキャッチフレーズ、「ひとのわ こころのわ」を体感した、充実したひとときを過ごすことができました。2年後といわず、先ずはつながりのある人と連絡を取ってみましょう。同期の皆さんのご連絡をお待ちしております。

**明心会** 昭和59年卒 伊東 稔

ようやく日常を取り戻してきたのかなあと感じておりますが、昨年迄の厳しい状況により私達明心会も2020年、2021年は同窓会を開催出来ておりませんでした。

この原稿に取り掛かっている中で「今年は同窓会やりたね！」と言う声も多くなっており、状況が大きく変わらなければ3年ぶりの開催が出来そうです！

話は変わりますが、明心会では「ボーリーズ」と称するゴルフサークルを幹事学年の時に発足し、今もなお活動しており今年で12年目となります。暫くは自粛を余儀なくされておりましたが、昨年秋より感染対策に配慮しながら再開しております。今年も熊井君(野球部)が幹事で4月24日に霞台カントリーにて開催致しました。

実はこのコンペ、幹事が次回の幹事を独断で決められるルールがあります。今回は2つのサイコロで出た順位の人が次回幹事というルールにした結果、次回の幹事は高島君(野球部)が当選となりました。こんな感じで毎回楽しく活動させてもらってます。スコアは…というと、数名上手い方はおりますが、みんな似たり寄ったりなので気にせず？ワイワイ楽しんでます。

同級生でゴルフ好きな方！いつでもウエルカムです。気軽にお声かけ下さい！

最後に今年の幹事学年「紫縁会」の皆さんにエールを送って終わりにしたいと思います。



とうこんかい

闘紺会 昭和60年卒 矢澤 徹／和田 直弘**闘紺会の皆様いかがお過ごしですか？**

未だ収束の兆しが見えないコロナ禍となって3年が過ぎようとしています。総明会をはじめ闘紺会の皆様お元気でしょうか。

我々の代は、10年程前に総明会の幹事学年を務めるに当たり、数学科の山田伸夫先生の命名により「闘紺会」という同期会が結成されました。そして、明治高校創立100周年の記念すべき年に幹事学年として総明会活動に参加し、同期皆で一致団結して総会・懇親会を成功させ、熱い1年を過ごしたことは記憶に新しいと思います。

残念ながら、ここ3年間は闘紺会でも毎年7月第1土曜日に実施していた総会（同期会）が開かれずにいます。しかし、我々は昭和54年4月に明治中学又は昭和57年に明治高校に入学以来、6年間又は3年間の不思議な「縁」で繋がっているのです。

我々もあと数年で還暦になり、その頃までにはこの憎らしいコロナも無くなり、高校生の頃よりは気力・体力・知力は多少衰えていますが、それまでの間は各人で健康に留意し、再び熱い思いを語る場を持てることを期待しています。

闘紺会は有志で海釣りを楽しんだり、ゴルフをしたり、散策をしたり等、少人数での活動も行っています。この会報をご覧になり少しでも闘紺会に関心のある方は、次の連絡先にお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

渡辺(わたなべ) 智郎(ともお)(元高III組・剣道部) メールアドレス:watanabetomoo@gmail.com

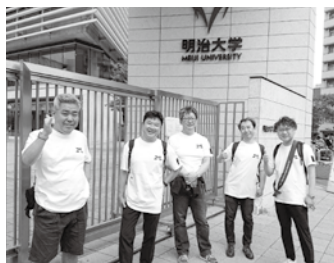
しんせいき

新世輝 昭和61年卒 栗本 宣長

6月12日、今年の幹事学年の企画「歩いて繋ぐ駅伝」に参加。初台から明大前までの甲州街道約5kmを新世輝の同期6名で歩くつもりが、参加者は5名。全員、腕に喪章を付けて参加する事になった。

1週間前、鵜飼が急逝。高校時代は生徒会長、新世輝が幹事学年の時は実行委員長、2019年からは千代田区議会議員を務めていた。どの時代も私たちのリーダーだった男は、あっけなく逝ってしまった。実感のない5名で鵜飼の話しをしながら歩いた。存在感のある男故、話しは尽きなかった。翌日に通夜、翌々日には告別式に参列。この時ようやく、鵜飼はこの世にいないことが理解出来た気がする。結局、鵜飼は人に頼まれたら断れない人と言うより、人の為に何かをする事が大好きな奴だった。同級生みんなで共有出来る彼の評価だと思う。そして、6月26日有田が亡くなった。奇しくも鵜飼と同じ病気だった。数日前に新世輝のグループLINEに同期会の参加表明をしてくれたばかりなのに。

7月2日、新世輝の同期会。17名の同期が参加。山田先生、柴田先生、そして幹事学年の3名も参加して献杯。有田は当然のこと、鵜飼本人も同期会の7月は選挙で忙しくて行けないかも知れないと言っていたが、きっと来てくれたに違いない。



めいえんかい

明猿会 昭和62年卒 塚本 肇

3年ぶりに同期会の開催がありました。今年は総明会幹事学年のお二人にも参加いただき総勢15名となりました。会場はもちろん『桜なべ みの家』同期永瀬君のお店です。久しぶりに再会した同期とは昔話で盛り上がり、そのうち健康と子供の話に。

明高を卒業して早35年、つくづくみんな歳をとったもんだなあと感じました。思い起こせば私は中高時代図書班に在籍し、まるで活動とはかけ離れた、今では考えられないような理不尽な縦社会を経験しました。また当時体重は105キロ、マラソン大会ではいつもビリ、ただ先生方の支えもあってなんとか完走しました。それもこれも今となれば良い思い出です。そんな経験もあってか社会人になって今まで大きな怪我もなく、仕事も家庭も順調にやってくることができました。

さて、今年の総明会の活動テーマは「縁～ととのう～」とお聞きしました。ふと考えるともう私たちは50代半ばに突入し、定年、第2の人生もそう遠くない未来にやってきます。そういえば最近、何かと昔の仲間と飲む機会が増えてきました。

この同期会もそうですし、大学時代の仲間、過去一緒に仕事をした仲間たち、昔を懐かしむだけでなく、そこから始まる何かを期待して、それが「縁」だと思いました。この「縁」を大切にして自分の将来を見つめなおす機会としたいと思います。

同期の皆さん、また会いましょう。



昭和戊辰乃会 昭和63年卒 川角 光太



大学を卒業し社会に出てちょうど30年です。時はバブルが弾けた矢先で先輩多くて後輩なし。先輩方の武勇伝は尽きないけど、私はタクシーチケットすら使う機会なく下積みを通じた記憶があります。配属が福島という事もあって、高校の同級生とはすっかり疎遠となり20年。どこからともなく同期会のお誘いがかかって恐る恐る参加したのが始まりでした。高校時代は卓球部。何となく近くに居た同級生の影響で言われるまま入ってしまったが、記憶にあるのはうさぎ跳びと過酷な夏合宿くらい。そんな苦い記憶を辿りながら参加してみると卓球部の参加は2名のみ。「初めまして」の方も多くて当初はちょっと気後れました。あれから10年。激動の幹事学年を経たこともあり、むしろこの10年で旧交を温めた皆と過ごすことの方が心地よく、同期会があって本当によかったと思える今日この頃です。家庭からは今でも「明治教」と宗教一派に揶揄される状況ですが、今はそれも気にならなくなってきました。ここ2年はコロナ禍もあって同期会を開けておりませんが、きっと今年は実現するでしょう。まだ来たことのない方も大歓迎です。50を過ぎたおっさん達ですので敷居は低いです。「久しぶり!」と皆で盛り上げられることを楽しみにしています。(写真は再会した卓球部先輩・同期・後輩。ととのえてみました)

平成改元会 平成元年卒 田中 潤二

物価が上昇しているらしい。我々が高校生の頃、マックはサンキューセット(390円)だったが、現在のバリューセットは650円くらい。うん、確かに値上がりしたなあ。

しかし、僕らの師弟食堂の味噌ラーメンは380円だったが、現在も相変わらず良心価格だ(現在400円)。

我々もこの師弟食堂に見習って、良心的に生きていきたい。

同期会では、訪れる後輩に記録的な寄付額を献上してきたが、3年ぶりに行われる予定の今年の同期会では、インフレ撲滅・目指せ師弟食堂、「サステナブル」をキーワードに行いましょう。

なお、今年の同期会は電力不足を念頭に、アウトドアで行うこととなりました。

皆さんの目に留まる頃はもう終わっているかもしれませんが、持続可能な社会、持続可能な同期会を目指して邁進し、たく思っています。

明愛会 平成2年卒 今泉 仁

明愛会は、幹事学年前年の2016年から続いていたイベントが、2020年からコロナ影響により出来ておりません…集まってる呑みもゴルフも我慢して来ました。とうとう今年5月に「総明会チャリティーゴルフ」が開催となり7名の明愛会ゴルフ部員?が集まり、久しぶりの再会を果たす事となり、また幹事学年イベントの「歩いて繋ぐ駅伝」企画も4名が参加、8月には2年振りの同期会を開催します!(今原稿に間に合っていないが)。徐々に以前の活動が戻って来て嬉しい限りです。

暫くの間、誰もが「明中・明高時代の話題ロス」に寂しさを感じておりましたが、何人かが集まれば、一緒に過ごした明中・明高時代の逸話ばかり、同じ話を何度聞いても飽きない程充実したMEIJI生活を送っていたと、つくづく感じております。明愛会メンバーは今年51歳!そろそろガタが来る身体にムチを打ち、同期のお店へランチに行き、大学ラグビーを観戦したりと、やっぱりMEIJIが好きな私達は、明愛会の仲間・先輩後輩を何より大事にしております。頑張れ、紫縁会!!



めいじんかい

明仁会 平成3年卒 山口 一郎**2021年12月10日(金) 深夜2時**

師走の金曜日、草木も眠る丑三つ時…。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

こんばんは。明仁会です。50冊を数える会報の歴史の中で今回、正に前代未聞かつ驚天動地、空前絶後の～(©サンシャイン池崎)取り組みにトライしようとしております。それは…、何とっ! 今から、2022年度版会報用の原稿を書きます! 文字数もテーマも事前情報は一つありませんが、いいんです、やっちゃいます! 2年近くに及ぶコロナ禍の中、緊急事態宣言が解除されてやや落ち着きが見られる状況の中、今晚やはり約2年ぶりとなる我ら明仁会の同期会が急遽、総勢13名とやや小規模ではありますが、同期のバレーボール部OB・藤崎の実家である蕎麦の名店、小伝馬町の尾張屋にて開催されました。

時節柄、恩師をお呼びして大々的とはいきませんでした。やはり同期一同、対面で酒食を共にするという行為に飢えていたのでしょうか、大いに盛り上がり、卓上には空になった焼酎のボトルがゴロゴロと転がり、美味いせいろをいただいての締め。最後には店前で記念撮影、近いうちの再会を期して、後ろ髪をひかれる思いで三々五々解散となったのでした。はい、ここまで書けば完成したも同然! ほとめの一文は年明けということ。

2022年7月23日(土) 午前11時

やっちゃった…。「会報へのご寄稿は6月22日までに」ってあるのに、今年も思いっきり過ぎてるやん…。幹事学年の皆さん、ごめんなさい。あれから半年。淡い期待は裏切られ、現実にはやはりコロナ禍の日々、総会・懇親会を含め今年の総明会活動もまだまだ不透明な状況です。

とはいえ、徐々に日常が戻りつつあるのも確か。この会報が皆さんの手元に届く頃には、もっと“普通”の日々が訪れていますように、また真摯に幹事学年を務めて下さった紫縁会の皆さまの活動が実を結んでいますように。

かい かん どうす こい じゅく

快汗、どうすこい塾 平成4年卒 小畑 啓

こんにちは、皆様とどのつてますか? 日本サウナ・スパ協会認定「サウナ・スパ健康アドバイザー」の小畑です。まずはこの度、私は日本相模協会において「快汗、親方」を襲名した事を皆様にご報告致します。

快汗、どうすこい塾メンバーも卒業から30年を経て、なかなかスカッと汗を流す機会も減ってまいりました。「快汗、」を謳う我々がそんな事ではいけません。まだまだ大々的に同窓会を開くまでには至っておりませんが、各々小規模に繋がりを維持してくれています。琥珀色の汗が流れるほど冷たいジョッキを傾けられる日まで、みんな健康で活躍しましょう!

さて、昨年度の紫紺の詩で特集して頂いた高木メンバーの続報です。福島県立医科大学医療・産業トランスレーショナルリサーチセンターでは抗体医薬品の開発を進めておりましたが、この度IgA抗体を利用したウイルス吸着マスクとIgA抗体スプレーが商品化されました。同センターの発表によると、この抗体はほとんどの変異スパイクタンパク質に非常に強く結合することがわかっています。

同商品は地元のスーパーマーケット、いちい様のオンラインショップなどで購入可能とのこと。センターのHPで高木メンバーの成果を確認するとともに、商品についても目を通していただければ幸いです。

<https://www.ichii-yume.shop> (いちいオンラインショップ)

最後に「縁～ととのう～」をテーマに掲げた紫縁会の皆さんはこの1年間いろいろな汗を流されたことと思います。成果がどんな形であれ、充実した時を共に過ごされた事実が大切です。そう、皆さんはこのはてしなく遠い男坂をようやく登りはじめたばかりなのです… (未汗)。

めいしょうかい

明鐘会 平成5年卒 篠崎 譲

幹事学年としては就活会や会報作成などの限定的な活動に留まり、不完全燃焼となってしまった2020年からはや2年。昨年は「緊急事態」が解除されたあと、同期有志が12月22日(水)に駿河台の四川料理「川芙蓉」さんに集まってリアル忘年会を開催できました。急な声掛けでしたが十数人の同期が久々に一堂に集まって、高校時代の思い出や近況報告、今となっては覚えていないほどの馬鹿話などで大いに盛り上がり、同期の「縁」を整えた楽しい年末の夜となりました。

その後も、個人的には地元PTA関係のイベントで同期の江島君と「ポッチャ」対決をしましたが、同期もそれぞれゴルフやスキー、越谷大袋での飲み会開催など旧交を温めています。

とはいえ、やっぱり大勢で集まりたい。これまで紫紺祭初日の土曜に同期会を開催していましたが、今年は久々に開催できるのか、はたまた感染状況から忘年会の開催となるのか。また皆さんと歓談できることを楽しみにしています!

最後となりますが、幹事学年の「紫縁会」の皆さんが総会と、3年ぶりの懇親会再開に向け取り組まれているとのこと、再開は大変と思いますが、総明会の「縁」を整え、前へ進んでいただくことを祈念しております。



隆明会 平成6年卒 三保谷 建介

第57回総明会総会幹事学年を務めさせて頂きました、平成6年卒同期会「隆明会」でございます。昨年は先輩後輩と学校関係者の皆様方に多大なるご協力を賜りまして、誠に有難うございました。紫縁会への引継ぎを経て早くも半年近くが経とうとしていますが、相変わらず大人数の同期で集まるチャンスは中々巡って来ず、歯がゆい思いを致しております。



そのような中で2022年1月初頭、自粛要請の合間を縫って幹事学年活動の執行部メンバーを中心に鹿児島県是指宿温泉へ慰労会としての旅行会を催行できた事は、奇跡に近いものであったと今も思い返されます。参加者は実行副委員長の熊木君、事務局長の三谷君、会報委員長の藤瀬君、式典委員長の井上裕貴君、就活会委員長の井上琢磨君、就活会副委員長の田所君と岡田君、ゴルフ副委員長の大掛君に私を加えた9名。宿泊先は岡田君の留学時代のご友人が経営される「指宿フェニックスホテル」、県内でも屈指の眺望を誇る名門ホテルでありました。初日は現地集合とし、名湯に浸かった後は鹿児島名物で慰労会、翌日は私以外はゴルフ三昧、私だけは枕崎線乗り潰しと思い思いの休日を過ごしました。

幹事学年活動は終わりましたが、隆明会では引き続き懇親会の開催を目指してメンバーを集めています。お気軽に三保谷の連絡先(mihoya@mtb.biglobe.ne.jp 090-8740-5574)までご一報ください。

紫縁会 平成7年卒 金子 敦史

本年度の幹事学年を務めさせて頂いております紫縁会です。

「先ずは同期会を。」と、当時はまだ名もなき状態でその準備のために数名が集まったのが2019年の2月でした。そして、その2か月後の4月に開催された第1回同期会には21名が集いました。実は、その時に一旦決まかけた同期会名が、某アイドルグループを彷彿とさせる「男坂46」。酒に酔った中年オヤジの同級生集団は、高校時代のノリながらでした。



その後、コロナ禍に見舞われて活動が停滞した(仮称)男坂46でしたが、刻々と迫ってくる幹事学年の引継ぎを前にして、ようやく正気に戻ったのか、紫縁会という今では皆が誇りに思う名称を冠して、幹事学年としての活動を開始したのが2021年の11月でした。

皆様にお越し頂き、楽しんで頂ける総会・懇親会とすべく、コロナ環境下において引き続きもがきつつも、幹事学年一同、先輩方のお力添えも頂戴しながら、それぞれの役割への取り組みは勿論のこと、一生に一度の幹事学年の責任と楽しさを感じながら、一丸となって準備を進めて参ります。会場で皆様のお目に掛かれますこと、楽しみにさせて頂いております。

最後に、紫縁会の皆さん、総会・懇親会当日、皆で集まって盛り上がりましょう!

(連絡先)実行委員長 藤田央くん(応援団OB)fujita.hss@gmail.com

紫誠会 平成8年卒 三村 具永

平素より総明会活動に多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。平成8年卒総明会評議員の三村具永と申します。

在学中は中学・高校6年間バスケットボール部に所属しておりました。生まれ育った埼玉県さいたま市で妻と大学1年生の息子1人+愛猫2匹と穏やかに日々暮らしています。

仕事は7年前に他界した父の家業を引き継ぎ、食品容器と資材(主に納豆・豆腐)の卸売業をしています。最近では、為替円安と原油高騰の影響を大きく受け仕入れ価格が上昇し、見積り作成と値上げ交渉に迫られる毎日を過ごし疲労困憊気味です。

さて、今回のテーマ「縁」についてのお話を少しさせて頂きます。バスケットボール部の同期メンバーとはLINEグループでほぼ全員繋がっており、年に1度は集まる関係性が今も続いています。その際には、顧問の前島先生に同席して頂く事も多く、近況報告や悩み相談、在学中の思い出話等で毎回盛り上がります。また、年始には部活の先輩方を交えた有志メンバーで恩師の中村コーチを訪ね勉強会を開催したり、前島先生と後輩で役者の宮原奨伍くんの舞台と一緒に観に行ったりと、同期に留まらず先輩・後輩達とも楽しく交流しております。

このように、卒業してから現在まで27年もの間「縁」が継続されている大きな要因は、思春期～青春時代の濃密な6年間で家族以上に長い時間共に過ごし、切磋琢磨し一緒に成長してきたという経験値に尽きると考えます。明治中学・高校一貫教育の賜物だと感謝しております。この何ものにも代え難い「縁」を大切にしながら、これからの人生も楽しく歩んで行けたら幸せだなと思います。最後になりましたが、長引くコロナ禍とウクライナ情勢が落ち着き、安心して過ごせる日々が一日も早く戻る事を願い、ご報告を締めさせていただきます。ありがとうございました。

しょうかい

紫雲会 平成9年卒 小谷 健志

本年度「紫縁会」の実行委員長は應援團でご活躍された藤田央先輩、会報委員長は自分が大学で所属した小池ゼミのゼミ長・櫻井勝也先輩。大変お世話になったお二方からの連名で書面が届けば、それはもう真摯に向き合うしかない「案件」で、恥ずかしながら初寄稿となります。

ご案内いただいた、旧校舎から歩いてつなぐ駅伝企画には同期を上手く召集できず、これも自分の不徳の致すところで。ならば2年後に控えた幹事学年を見据え、そろそろ動き出そうかといったところ。とはいえ、会報に載せるに相応しい写真すらない有様で早速、水泳部や帰宅部など野党少数勢力を集めリモートで一献。ふとSNSを覗けば、音楽の鈴木正人先生は相変わらずラーメンばかり食べているし、イケてるバスケット部の同期たちは顧問の前島研二先生を交えて親睦を深めているという。

いま必要なのはこうした「縁」を取り戻すことです。失われた過去は帰ってきません。でも今日これからのことは自分たちで変えられます。今後、十数年ぶりに同期会を復活させ定期開催していきます。

LINEなどで案内しますので気軽にご参加ください。

そしてつながっていない方は小谷(brabula39@icloud.com)まで連絡をお願いします。



スコッチのシングルモルトとカクテル中心のお店です。赤坂 オールドタイム



横瀬 昭夫 (昭和42年卒 M41)

東京都港区赤坂5-1-37 SDビル1F TEL. 03-5563-9606

JY 上陽テクノ株式会社

代表取締役

阿部 正行 (昭和40年卒)

千代田区外神田 6 - 10 - 11

TEL. 03 - 3834 - 1329



中華料理 水新菜館

寺田規行

(昭和43年卒 紫讃会)

東京都台東区浅草橋2-1-1

TEL 03-3861-0577

オフィスのAからZまで
エーゼット株式会社

服部 洋一 昭41年卒

服部 雄二 昭44年卒

〒101-0025 千代田区神田佐久間町 4-22

TEL 03-3865-9577 FAX 03-3865-1162



より良き住まいのために

ワイシー企画 株式会社

建物のリフォーム・
新築の設計・施工

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡263-1

TEL. 04-2990-5111 FAX. 04-2990-5005

e-mail: yutaka0912@ah.wakwak.com

代表取締役会長

藁谷 豊

昭和44年卒

男坂倶楽部

昭和46年卒

(株)ハナワトランスポート

代表取締役社長

塙 直樹

中央区日本橋箱崎町12-2



代表取締役社長 田島 実

昭和44年卒 男坂倶楽部

〒135-0011 東京都江東区扇橋 1-4-1 Tel. 03-3647-2984 Fax.03-3699-7229

3階 すき焼き・しゃぶしゃぶ・ステーキ Tel. 03-3699-5529

2階 焼肉 Tel. 03-3699-8929

1階 ミート&デリカ Tel. 03-3649-4419

肉の田じま

ネット通販

全国へ配送承ります。

http://www.nikunotajima.com

《東陽町店》松阪牛 田じま TEL 03-6666-2129

《カメイドクック店》肉の田じま TEL 03-5858-6914

営業時間:17~22時 定休日:月(祭日の場合は翌日)

営業時間:11~23時 定休日:月(祭日の場合は翌日)

営業時間:10~19時 定休日:日・祝日

夫婦二人でサービス精神と
元気を売りにしています。

蛇の目寿司

昭和45年卒 獅子の会
硬式野球部

河田 勇

東京都中央区東日本橋3-10-13

TEL 03-3661-8536

応援団OB会 幹事長 三谷 知弘 平成6年卒



ワクチン接種が進み、少しずつですが世間も動き始めたとはいえ、新型コロナウイルスを念頭に置いた活動が、まだまだ求められる難しい状況が続いております。

その中において、本年度幹事学年である「紫縁会」の皆さまにおかれましては、『「縁」～ととのう～』をテーマに掲げ、第58回総明会活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

応援団OB会も約3年にわたるコロナ禍により多くの活動が制限され、また自粛を迫られたことでOB・OG同士の交流機会は持てず、学校行事を通じての現役支援もままならない状況が続いております。しかしながら明治高校応援団という強くて太い、紫紺の「縁」で結ばれた我々の繋がりは、決して途切れるものではありません。

今年こそはコロナに左右されずに、総明会の皆さまとともに声高らかに校歌を歌い、明治の心、魂をととのえたいと心より願っております。

本年2月に、応援団OBであり、総明会会長も務められた吉田耕太郎先輩（総明会顧問）がご逝去されました。我々応援団OB会員にとってとても大きく、そして象徴的な存在であられた大先輩の訃報にふれ、大変な喪失感を抱いております。いただいたご指導を財産に、OB会の活動に動しんでまいります。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌

放送班OB会 宮田 健 昭和57年卒



放送班OB会のうち、故田村晴彦先生に教えを受けた有志で、毎年先生の眠る港区三田の長久寺へ墓参りと懇親会を行っています。命日(5月17日)に近い5月の第3土曜日、田町駅前のコーヒー店前に16時に集まるのが恒例です。

昨年、一昨年とオンラインでの墓参り懇親会に挑戦しました。今年はコロナ禍も少し落ち着きを見せたため、3年ぶりに現地開催することとしました。今年、田町に集まったのは6名。この6名でお寺に向かいます。今年は33回忌にあたるため、境内の法要一覧にも先生のお名前が掲載されていました。

念のためオンライン墓参りも立ち上げたのですが、これは体調を崩した宮田が利用させていただきました。こんな使い方もできると分かりましたので、これからも継続してみようと思っています。

ということで、懇親会もリアルに開催!残念ながら「いつもの店」がコロナ禍で閉店してしまいましたが、久しぶりに顔を合わせれば時間の経つのも忘れて楽しい時間を過ごしました。

これからも放送班OBに限らず、田村先生にゆかりのある方にはリアルでも、リモートでも気軽に参加して頂きたいと思います。今回は令和5年5月20日(土)です。リモート参加希望の方はご連絡ください。お待ちしております!

野球部OB・OG会 明球会 広報委員 飯野 善明 昭和56年卒

「総明会と明球会の縁～ととのう～」

平素は硬式野球部並びに明球会に多大なるご支援、ご鞭撻を賜り誠に有難うございます。そして明球会会報発行に於きましても、ご寄付並びに広告掲載を頂戴し重ね重ね御礼申し上げます。

明球会会報は1月と7月に年2回発行しております。現役選手や明球会の活動内容を明球会会員や総明会をはじめとする明治高校関係者の皆様にお知らせする重要なコミュニケーション手段であると考えております。また、その内容には柳谷理事長はじめ向殿名誉会長、井家上会長、安藏校長、田中徹太郎元副校長(野球部OB)等の明治を代表する方々から硬式野球部へ心強い応援のメッセージを頂きました。

私が明球会会報に携わるきっかけは総明会幹事学年で会報委員を担当したことに因ります。明治高校が調布に移転した初年度で、会報表紙には講堂の時計台を背景に男女生徒に「M」の字を作ってもらい撮影しました。そしてその後、硬式野球部80年史や総明会50周年記念史にも携わることができました。

これも何かの縁ですが、そこには明治高校校歌を紫紺に染まった甲子園のアルプスタンドで声高らかに斉唱する日を待ち望む「明治愛」があり、是非実現させたいと思っています。引き続き硬式野球部並びに明球会へのご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



剣道部OB・OG会 ^{けんしんかい} 見心会 監督 中山 将 平成3年卒

相変わらず新型コロナウイルスの影響で私たちも含め現役生徒の皆さんが目標や楽しみにしていた大会やイベントが中止、延期、縮小開催等になってしまったと思います。

剣道部OB・OG会の見心会もご多分に漏れず活動が自粛となる1年になりました。ご縁のある先輩・後輩の皆様方とお目にかかれることも叶わず、非常に残念な思いであります。私は今年から現役生徒の監督という大役を仰せつかりました。顧問の先生方が指導されているところに参加することには不安があります。

しかし、私が学生の頃、先生や先輩方からご指導、ご鞭撻を受けたモノを次世代に繋げるためにOBとして、また監督として現役生徒と共に稽古で汗を流し、少しでも恩返しができればと思います。

ウィズコロナということで3年目ともなりますと、各競技団体でも新しい形やルールができ上がってくるものです。コロナ前には、マスクを着けてアクリル板を付けた面をかぶっての剣道なんて考えもしなかったことですが、今や当たり前となりました。

コロナ禍は元に戻ることは難しく、川の流れのように過ぎていき抗うことはできない以上、見心会はできることをできる範囲で現役生徒を支援していく所存です。

スキー部OB会 ^{めいせつかい} 明雪会 長谷川 海平 平成7年卒

小学校を卒業したての私がスキー部の門を叩いたのは1989年春のことでした。当時は新入生向けの班・部活動説明会の後だったか後日だったかに、各班・部の班長・部長が前に立ち、入りたい部活の列に並んだことを記憶しています。

当時はまだまだ小さく、高校2年生の先輩を見ると威圧感たっぷりの大人に見え、本当に大丈夫かなと不安いっぱいでした。

一番の思い出としては通常の合宿以外に、強化合宿にも最下級生として参加させていただきました。

その合宿にはOBの方も数名いらっしゃっていて、最下級生の私は朝は一番に起き、1個上の先輩を起こすはずが、一番やってはいけないOBの方を間違えて起こしてしまうミス……

その時は顔面から血の気が引いたのを今でも覚えています。あれから30年近く経ち、立派な（立派かはわかりませんが 笑）大人になりましたが、いまだに部活の先輩には頭が上がりません。でも、こんな貴重な経験をさせていただいたスキー部の先輩・後輩に感謝です！！明治高校の先輩・後輩に感謝です！！MEIJI 最高！！



水泳部OB会 ^{めいすいかい} 明水会 細野 秀樹 昭和61年卒

特別な時間に芽生え、育んだ「縁」

こちらに寄せさせていただく「縁」についてのお話と言えば、何といても中学・高校と過ごした仲間たちとの「縁」になろうかと思います。あの時間は今振り返っても人生の中で本当に特別な時間で、一生の財産と呼んでいいと思います。在学中私は水泳部に所属しておりましたので毎日の部活、春秋の大会、そして夏の合宿と本当に多くの、そして濃密な時間を同学年のみならず先輩や後輩と過ごしてきました。明治中学に入学し、水泳部に入部した事で芽生えた縁はこの時間の中でかけがえのないものとなりました。

また、部活での縁のみならず普段の授業や学校行事、特に体育祭や文化祭では各部が横断的に協力しあい、学び舎を同じくする縁をさらに深めたと思います。

長い年月、少しずつ積み重ねてきたこうした縁は一生途切れることはないでしょう。今でも同窓会やOB会では当時の話が昨日の事のように語られていて、いつもあつという間に時間が過ぎていきます。

高等学校卒業から30数年、私たちはそれぞれの道を歩み、仲間の活躍の場は国内のみならず海外まで世界中に広がっております。普段はなかなか顔を合わせる事が難しかったりしますが、総明会や学年同窓会・部活のOB会で旧交を定期的に温め、縁が芽生えそして育んだ頃に戻らせてくれます。何かあれば実家とはまた別の意味での「帰ることの出来る場所」です。40数年前に生まれ、特別な数年間で育まれた縁が今もこうした形で続いている事は大変ありがたいと思います。

コロナ禍はまだ完全には終息をしておりませんが、今年は数年ぶりに学年同窓会やOB会が開かれるような便りも少しずつ増えて来ました。難しいご時世の中、企画いただいた仲間には本当に感謝しかありません。また皆様と笑顔で乾杯が出来、縁を深める時間を共有出来る日もそう遠くない事を心から願っています。

図書班 大西 静士郎 昭和52年卒

5月26日、平田(昭和45年卒)・小松(同47年卒)・内木(同50年卒)各先輩の呼びかけにより10人ほどのOBが集まりました。と言いましても、最年長の平田さんから昭和52年卒の私(大西)まで7学年の狭い範囲の集まりです。以前にも会報で申し述べましたが、図書班のOB・OG会是他部のOB・OG会のように組織立っておりません。不定期に、思い立った時に、連絡がつく者たちで集まるようになっています。

前は、合宿でお世話になった明大那古寮(館山市、廃寮)の管理人だった櫻井利子さんがお亡くなりになった時に偲ぶ会として集まりました。今回集まりましたのは、「不定期に、思い立った時に、連絡がつく者たちで集まる」のではなく、きちんとした組織としてのOB・OG会を残しておくべきではないか、という平田さんの考えからでした。

また、内木さんからは、私たちが現役の時、年に1回発行していた文集「飛躍」が調布校舎の図書館に残っており、そのことを顧問の先生にお伝えしないと処分されてしまうのではないかと、という意見も出ました。私も還暦を過ぎて人生の残り時間を考えることが多くなり、平田さんの「今のうちにOB・OG会をきちんとしたい」という考えもわかるようになってきました。

年齢を重ねるに従い、図書班で先輩方から教わったことに大きな影響を受けていることを自覚します。当時の先輩や後輩の方々と、今でも(半世紀におよぶ)繋がりが続いているのも凄いことなのかもしれません。親睦だけではなく、各人の持っている貴重な体験を次代に伝えていくことも考えられるでしょう。しかしながら、60代以上の「爺」たちだけでは何ともなりません。少なくとも、幹事学年前後の40～50代の方々の力が必要と思われまふ。また、前述した文集「飛躍」の件もありますから、顧問の先生との情報交換も考えなければならぬでしょう。考えなければならぬことはたくさんあります。若手の方々ですでに集まっておられるようでしたら、ぜひともご連絡くださいますようお願いいたします。

陸上競技部 1期生 櫻井 勝也 平成7年卒

陸上競技部 卒業生の集い

陸上競技部を通じて、上小牧先生のアイアンマンぶりを知っているOB・OGのみなさん、いかがお過ごしでしょうか。平成7年卒の櫻井勝也です。

令和4年度は、総明会の幹事学年ということで、母校へ訪問する機会が増えました。校舎が移転し、10年前に紫紺祭で訪問して以来のことでしたが、その訪問時、「恩師である上小牧先生のご勇退が近い!？」という噂を耳にしました。私が知る限り2012年の集い以降、OB・OGが連絡を取り合えるプラットフォームがないということで、4月に入り、何人かに声をかけました。

40歳を超える年次の卒業生たちにとっては、在校中に陸上競技部が発足しました。部活を通じて、大会や日々の練習で一喜一憂している我々にとって、厳しくも力強く支えていただいた恩師上小牧先生のご勇退の時期が近づいてまいりました。

自らもトライアスロンレースを走る競技者であり、レース明けの練習でも、アグレッシブに走る先生の印象しかなないので、まもなくご勇退というのは寂しさと共に時の流れの速さを痛感しています。

4月11日に発足した、LINEコミュニティ「明高陸上部・卒業生の集い」も、7月31日現在、ようやく20名がつながりました。

コロナ禍ですが、来たる恩師の65歳の節目「2024年3月」を、部に関わった皆で、先生への恩返しと、同期や先輩後輩の再会の機会にできればと存じます。堅苦しいやりとりは抜きにして、ぜひ世代を超えてつながりましょう。(お気軽に)ご連絡をお待ちしております。

【連絡先】1期生・櫻井勝也(平成7年卒・紫縁会) mail : sakuraikatsuya22@gmail.com



歴史研究部OB・OG会 山下 征隆 昭和63年卒

コロナ禍による会合等の自粛は、歴史研究部OB・OG会の活動にも影響を及ぼし、令和元年に行われた70周年記念OB会を最後に今日に至るまで、会合等開催されておりません。ようやく明るい兆しが見え始めてきたことで、現在OB会活動の再開を模索している最中です。

現役の歴史研究部も全体的な集合形式での活動が制限され不自由を強いられっていますが、部員たちはオンライン等を駆使した新システムで精力的に活動を継続してくれています。その努力の甲斐もあり令和3年12月、かねてから現役部員が中心となり準備を進めてくれていた『歴研通信』第100号が発刊されました。

この記念すべき『歴研通信』第100号は現役部員たちの卓越した個人研究論文に加えて、前顧問の栗野先生やOB・OGから「昔の歴史研究部の様子」をオールヒストリー形式で「歴研の歴史」として編集されています。

我々OB・OGとしても、この聞き取り調査に協力できたことは大変光栄なことであると同時に、現役部員たちと交流の場が持てたことをうれしく思っています。ただ、コロナ禍によるオンライン形式での会合となり、直接現役部員たちと対面での交流ができなかったことが残念でした。早くこの災禍が収束し、再び対面で現役部員たちと交流できる日が来ることを願っています。歴史研究部OB・OG会は、今後も活発な部活が継続され、『歴研通信』が延々と歴史をつないでいけるように応援できればと思っています。



地理研究部OB・OG会 堀井 雅俊 昭和40年卒

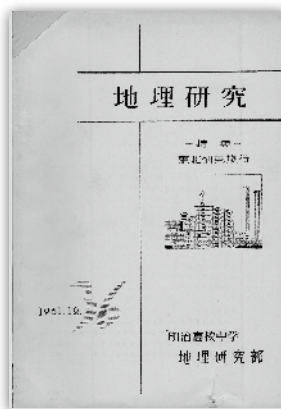
縁と命

昭和30年代の地理研時代の夏と春の研究旅行は、60年経った今でも地理研究部員達の大切な思い出です。東北三陸海岸には2度行きましたが、当日は盛岡からはバスを使って行きました。

その頃の宿は木賃宿と呼ばれた行商人相手の宿しかありませんでした。現地に着くと村の人に話を聞くのですが、初めは怪訝な顔をされ相手にされませんでしたが、何度か行くうちに親しくしていただき、話を聞くことができ嬉しかったのを今でも覚えています。

その三陸海岸を11年前に津波が襲い甚大な被害をもたらしました。この津波で1人の被害者も出さなかった村がありました。100戸程の小さな漁村ですが、毎週日曜に海岸から50m登った処の集会場に村の長老たちが孫などを連れお弁当を持ち寄り、世間話などをしていました。この集まりこそ地震津波の時の避難のための予行練習でした。

三陸海岸は西側が北上山地と呼ばれ、東北本線の西側の火山地帯とは違い、大きな地震で隆起した山地です。三陸海岸の風光明媚な海岸は地震と津波が作ったことを、この村の人たちは伝え語られてきたことを充分知っていたのです。この村の日曜昼の集まりが災害防止の原点でした。『縁』が命を救ったという、人間にとって大切なできごとです。



フェンシング部OB・OG会 中村 信也 昭和45年卒

有志フェンシング同好会復活の10年を振り返って

2012年8月、ロンドンオリンピックで日本男子団体が初の銀メダルを獲得したことが弾みとなり、同月にOBが久しぶりに集まり、「母校にフェンシング部を復活させるOB会」を立ち上げてから今年で10年が経過しました。この時に出席したOB達の現役時代の戦績は、国体優勝、高校総体優勝、関東大会優勝、インカレ優勝、また日本協会役員、明治大学監督等々、蒼蒼たるメンバーで「復活」への熱意に溢れていたことが思い出されます。

その後、OB会の働きかけ等により2015年に「有志フェンシング同好会」として母校の承認が得られたため、①部員数の拡大(同好会から部への昇格)、②全国大会レベルの出場、③文武両道、を目標に掲げ活動が再開されました。このうち①については2016年以降に卒業したOB・OGは16名(男性7名、女性9名)、現在の現役学生は10名弱で継続的に活動が行われていますが、「部」へのハードルはかなり高い状況にあります。また②については過去に関東大会の女子団体に明治高校生が3年連続出場を果たしており、今年は全国大会に明治中学生が出場する予定で、現役学生の活躍が見られます。

この間、顧問に田中徹太郎先生(2015年～2017年)をはじめ、横山晴之先生(2018年～2021年)、菅澤雄大先生(2022年～)にご指導を仰ぎ、また火・金曜日には剣道場の使用を許可していただく等、学校関係者のご支援には大変感謝しております。OB・OG会では現役学生の活動を継続してバックアップしていきます。



2012年8月:復活OB会

ヤマダ大感謝祭 三保谷 建介 平成6年卒

「ヤマダ大感謝祭」は平成31年4月に神田錦町の居酒屋「魚海船団・神田司町本店」で第9回が開催された後、ご存知の通りのコロナ禍で誠に残念ではありますが開催が出来ない状況が続いております。

本年幹事学年の紫縁会のテーマは『「縁」～ととのう～』を掲げて活動をされておる所ですが、収束の見通しが立たない中でも様々な可能性を探りつつ果敢な挑戦を続けておられます。我々ヤマダ大感謝祭事務局も紫縁会に倣い、再開に向けて努力して参る所存であります。

さて、山田先生におかれましてはコロナ禍をものともせず、趣味のゴルフを教え子達と定期的に楽しまれていらっしゃる、変わらずお元気でお過ごしとのことですので、皆様ご安心ください。と言う訳で、事務局一同は常にヤマダ大感謝祭を催行したい気持ちで一杯であります。今後の予定等最新情報につきましては主にFacebookでお知らせ致します。

詳しくは三保谷建介(mihoya@mtb.biglobe.ne.jp 携帯:090-8740-5574)までお問い合わせ下さい。



山田伸夫先生近影

バスケットボール部OB・OG会 山下 康彦 平成5年卒

男子・女子バスケットボール部OB/OGでは現役の高校生・中学生を支援するために

1、現役の指導協力 2、春/夏合宿での指導協力 3、大会での応援 の3つをメインに行なっております。

現役の支援はOB/OGが個別に実施するのも良いのですが、「OB/OGが一致団結することで持続的支援が可能になる」をモットーにOB/OG同士の親交を深めるべく毎年以下のことを実施しています。

・バスケットボールトーナメント(秋) OB/OGガチンコトーナメントを実施(18歳から50歳代まで参加)。

トーナメント終了後は選抜メンバーで現役高校生とも対戦

・ゴルフコンペ(秋) バスケットをしないOB/OGも参加できるよう開催

・OB/OG総会(冬) 新OB/OGを紹介し、縦のつながりを深めながら会食

引退後もさらなるつながりを深めようということで2017年度から開始したのが

・OB/OGチームを発足し、チームでの区民大会への参加 夏のシニア大会(40歳以上)・・・前島先生も特別参加!

昨年、一昨年は新型コロナウイルスの影響が大きく、一切活動ができませんでした。ただ同期や後輩とはLINEやFacebookのグループを活用して連絡を取り合っています。今年は7月に、2年ぶりにシニア大会も開催され出場します。これを機に徐々にリアルな活動に結びつけていき、バスケットボール部は現役との「縁」をOB/OG一丸となって深めていきます!!

バレー部OB・OG会 事務局長 樋田 哲次 昭和52年卒

明治高校の縁

縁とは異なるものの乙なもの、袖振り合うも多少の縁、裸の付き合い、同じ釜の飯を食う、「縁」から、私が連想して出てきたことわざです。これらから、明治高校のクラブやクラスの縁が思い起されます。全く赤の他人同士が同じクラブやクラスに入り、合宿や修学旅行に行き、風呂も飯も共有します。それが縁となり、卒業後40年以上経っていますが切っても切れなくなり、コロナ禍で会えないとよけいに会いたくなります。

あいつ今どうしているかな? と思います。本当に明治の縁で人生が左右されます。先輩に殴られ、ウサギとびや指立て伏せを何回も命じられ、多少の理不尽や叱責をびくともしくなくなり、精神的に強くなり、精神疾患にはかかりません。職場の後輩が休職しても、「何で休むの?」と思っ

てしまいます。明治の縁が私の心と身体を強くしました。感謝します。(ただ現代社会では、暴力は肯定されませんね)

さて現役バレー部員ですが、今年の男子は東京都ベスト32くらいです。

女子は、3校による予選リーグ戦は勝ち進みますが、その後の本選トーナメントは、1・2回戦まで進んでいるのが現状です。頑張ってください。

(詳細な試合結果は、下記のバレー部OB・OG会のHPを御覧ください。)

現在の中高生は、合宿も修学旅行も行けないので、かわいそうですね。縁が薄くなってしまうのが怖いです。将来それを経験しない大人ばかりになるとどうなるのでしょうか? ちょっと心配です。

バレー部OB・OG会は、昨年度もイベントはできなかったのですが、前年のように卒業生に高級ボールペンを贈呈しました。高校で深い縁ができなくても、大学で新たな太い縁を書いてくれますように、先輩たちは応援しています。社会に大きくはばたくように期待しています。

バレー部OB・OG会HP <https://meikouvolley.jimdofree.com/>

吹奏楽班OB・OG会 副会長 深井 重男 平成2年卒

吹奏楽班OB・OG会の活動としては、2020年1月の定期演奏会後の総会・懇親会を最後に、その直後からのコロナの影響で諸々の活動が停止している状況です。現役後輩へのサポートとしては、2021年1月、例年通り昭和女子大学構内の人見記念講堂で開催された定期演奏会の運営を行いました。観客は保護者のみでしたので、引退する卒業生にとっては沢山の友人を呼ぶことができず少し残念な思いもございました。

今年2022年1月は、人見記念講堂が改修工事の為に会場を所沢ミューズの大ホールで開催。感染状況の谷間ということもあり、検温・消毒などの対策を徹底したうえで一般の観客も入場可能と致しました。しかしながら、未だ終演後のOB・OG総会や懇親会の開催はございませんでした。

そして今年度、後輩たちは野球応援での応援も復活し、その後は夏の吹奏楽コンクール大会に向けて練習に励んでおります(7月15日現在、保護者のみの有観客開催予定)。本当に少しずつではありますが、もとの活動に近づいているようにも見えます。ただ、クラブ活動全般を取り巻く環境が議論されている中、この機会に後輩たちが本当に音楽を楽しめる活動に進化できるよう望んでいます。OB・OG会の活動も、状況を見極めながら再開を模索していこうと考えております。

なお、この10月には顧問である鈴木正人教頭先生の還暦を祝う演奏会が、明治の卒業生と先生が指導された市民吹奏楽団の有志で開催される予定です。この会報が皆さんの手元に届く頃には無事に終了していることと思いますが、現役後輩とOB・OGともに思い出に残るコンサートになったことでしょう。

総明会の幹事学年にも吹奏楽班の後輩が増えて参りました。皆で校歌・応援歌を演奏できる日が一日も早く来るように願っております。



総明会 顧問
昭和44年卒 男坂倶楽部
ミートショップセキヤ
株式会社関谷商店
代表取締役社長 関谷芳久
<http://www.1129sekiya.com>
足立区西新井栄町3-8-5 TEL.03-3886-3318 FAX.03-3886-5803

昭和43年卒 紫讃会

明治大学体育会ゴルフ部 白雲会 会長

小田嶋 保男

東京都足立区中央本町4-2 4-8

祝 第58回総明会総会

昭和45年卒

獅子の会

【獅子の会 ホームページをご覧ください】
<http://www.44nokai.com/>

和食 ^{うお き よ} 魚 代

昭和45年卒 獅子の会

中野 和博

(バスケット部)

ランチ11:30~13:30(平日のみ)
夜17:00~22:00(水曜定休)

☎ 03-3619-0585

住 東京都墨田区東向島5-26-2



**炭遊酒菜
旅籠** (はたご)



新宿で一番美味しい炭火鶏焼きのお店
大小7個の個室完備。新宿駅西口徒歩3分

東京都新宿区西新宿1-23-1 かどやホテルB1F TEL. 03-3344-3144



竹川観光株式会社
竹川 茂(昭和47年卒)

白山 喫茶ペガサス

後藤義明 S45

フェンシング部

駿台自転車倶楽部

明治大学体育会自転車部OB会

後藤勇三 S50

硬式野球部



ヤマダ大感謝祭

4月の第4土曜日

復活の第13回は令和5(2023)年4月22日(土)開催予定
楽しい企画を用意して皆様のお越しをお待ちしております。

■お問合せ先 深井 重男(平成2年卒 明愛会) fukai.pc@gmail.com
荘司 康夫(平成4年卒 快汗、どすこい塾) y-syouzi@mtd.biglobe.ne.jp
三保谷健介(平成6年卒 隆明会) mihoya@mtb.biglobe.ne.jp

**WINWIN
STYLE**

堀 眞壽(昭和46年卒)

株式会社 インタープランニング
〒135-0003 東京都江東区猿江 1-2-9
TEL: 03-5600-3388
<http://www.winwinstyle.com>

祝 第58回 総明会 総会

昭和46年卒

明潮会

白雲なびく・紫紺魂



お城 森八

銘菓
大粒栗入り最中
大粒栗入り饅頭

(株)森八本舗

HP: morihati.co.jp

〒130-0002 東京都墨田区業平1-3-6
TEL: 03-3622-0006 FAX: 03-3622-8584

祝 第58回 総明会

四七四七同志酔会

昭和47年卒一同

昭和47年卒
五木田・三浦法律事務所
銀座オフィス

弁護士
三浦 雅生

〒104-0061
中央区銀座5-4-3 対鶴館8階
TEL 03-6826-1222

古庄一夫税理士事務所

四七四七同志酔会

古庄一夫

(昭和47年卒/吹奏楽班)

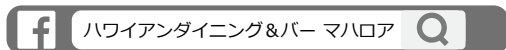
東京都墨田区菊川2-5-12
菊川ジョイタワー301号
TEL: 03-3635-7070
FAX: 03-3635-7081
kazuo.f.ao.2003@fancy.ocn.ne.jp



ハワイアンダイニング&バー
マハロア

窪寺弘匡(昭和50年卒 明紫会)

東京都中野区新井1-23-21 プルメリア1F
TEL. 03-5345-5086



建築設計監理
有限会社 日生建築設計事務所

代表取締役 戸張 毅
一級建築士
(四七四七同志酔会)

〒170-0002
東京都豊島区巣鴨三丁目5番18号
TEL (03) 5907-6030
FAX (03) 5907-6033
E-mail: nao.111@themis.ocn.ne.jp

株式会社
ライトハウス・コミュニケーションズ

代表取締役

齊藤 公義

k-saito@lighthousecom.co.jp

昭和46年卒「明潮会」

〒135-0042

東京都江東区木場3-10-7-1101

TEL. 03-3641-5986 H.P. 090-3332-8807

Mail: k.sight@lighthousecom.co.jp

祝 第58回総明会 総会・懇親会

昭和50年卒

明 紫 会

浅草の隠れた名店
スペシャルヒレカツサンド

KING'S TABLE
キングステーブル

昭和48年卒 波の会 剣道部OB

大澤 保男

TEL. 03-5825-4129

東京都台東区浅草 5-71-9

祝 第58回総明会 総会

波 の 会

昭和48年卒 卒業生一同

代表者 富永 栄之進

副代表 板橋 純三郎

評議員 海老根 一介

尾崎 幸平

雨海 重明

MALIBU LOUNGE BAR

マリブ ラウンジ・バー

森田 勉

昭和48年卒 波の会

硬式野球部

☎ 03-6273-8583

📍 新宿区歌舞伎町2-27-12
Lee2ビル B-1

祝 第58回総明会 総会・懇親会

49年卒 **翼 明 会**

翼明会役員一同

ターカム保険企画有限公司

有限会社エヌエスモーターサービス

昭和49年卒
翼 明 会

竹澤 啓

TEL 03-3675-9955 携帯 090-3200-6139

明治高等学校

昭和49年卒

翼 明 会

醍 醐 敦

醍醐会計事務所

047-355-9301

株式会社 **山口商店**

代表取締役 **山口 隆**
(昭和48年卒)

総合研究
大学院大学 **山口孝明**
(平成26年卒)

〒143-0016

東京都大田区大森北1-17-2

TEL 03-3761-4838

PEP-MATES inc. HP-URL www.pep-mates.com

オリジナル!!

ネクタイ・クラブタイ、**30**本から製作致します!

デザインは弊社にて無料で提案します。イメージとなる紋章・カラーをメールまたはFAXでお送りください。
専門のデザイナーがイメージを作ります。デザイン確定後、本数をお知らせいただければお見積りをします。



オリジナルグッズ企画・制作
ベップ・メイツ株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番10号

TEL 03-3663-8827 FAX 03-3663-8828 info@pep-mates.com

代表取締役 大前実之(昭和49年卒・翼明会)

(株)カントー・エステート
不動産賃貸業・管理業

宮下 守正

昭和49年卒

東京都荒川区西尾久1-20-12
M2ビル1階

TEL.03-3894-8161
FAX.03-3894-3682

練馬 高野台

ネーチャーズフォーレストグループ

代表 **横山 茂樹** (昭和52年卒男子校根性組)

本店 東京都練馬区高野台1丁目7番3号NFプラザ3-210
TEL 03-3996-0612 FAX 03-3996-0630
http://www.neritaka.net/ E-mail: nfsy@opal.famille.ne.jp

お車のトータルサービス

代表取締役 **服部 憲一**
(昭和50年卒明紫会)

(株)服部自動車钣金工業

〒179-0073
東京都練馬区田柄5-22-20
TEL 03-3990-8541
FAX 03-3998-0177
E-mail: ken@hattori-auto.com

米田税務会計事務所

昭和53年卒(バスケット部)

税理士 **米田晴彦**

〒130-0026
墨田区両国2-17-3
(両国高橋ビル3F)
TEL 03-3631-8878
FAX 03-3632-3346
E-Mail: yonetakaikai@tkcnf.or.jp

昭和53年卒 マンドリン部OB

弁護士 **高木 茂**

銀座木挽町法律事務所

〒104-0045 東京都中央区築地4-2-11 新橋演舞場別館4F
TEL. 03-6228-4487 FAX. 03-6228-4489
URL http://kobikilaw.jp/

吉武孝生税理士事務所
昭和五十年卒 明紫会
〒121-0813 東京都足立区竹の塚六九七
TEL 03-3151-1511
FAX 03-3151-1519
E-mail: y@tax-yoshike.com

DIANA

ダイアナ株式会社

代表取締役社長 **高橋郁夫**

(昭和50年卒 明紫会)

www.dianashoes.com

(有)太陽精器製作所

昭和50年卒・明紫会

代表取締役

世古俊之

材料から加工・熱処理・めっき研磨
までワンストップが強みです。
今、下町ボスレープロジェクトを
盛り上げています。

HP: 090-8892-5576

割烹 魚きく

亀井利一

(昭和50年卒 明紫会)
山岳部OB

Tel. 03-3386-6128
東京都中野区沼袋3-26-12

厨房のアメニティを創造する

津守興業株式会社

代表取締役 **津守 徹**
(昭和51年卒 明々会)

〒332-0001
埼玉県川口市朝日5-5-22
TEL. 048-222-6187
FAX 048-222-8584
E-mail: tsumori@luck.ocn.ne.jp

銀座線 外苑前駅すぐ
豆菓子・おかきの店

青山但馬屋

太田垣 政紀

(昭和51年卒 明々会)

〒107-0061
東京都港区北青山2-7-11
TEL.03-3401-2843
www.aoyama-tajimaya.co.jp

祝 第58回 総明会総会・懇親会

明々会

昭和51年卒

アクセサリデザイン・製造
小ロットより量産品まで対応致します

有限会社トラストワーズ

代表取締役社長 **山田真也**
(硬式野球部OB)

取締役専務 **山田健二**
(硬式野球部OB)



東京都墨田区八広4-8-20
TEL 03-3612-3338
FAX 03-3618-3983

祝 第58回総明会 総会・懇親会

男子校根性組

昭和52年卒

http://dankon52.web.fc2.com

題字:小嶋眞作書

手打ち 如月徳

如月徳 (きさらぎとく)

昭和52年卒 男子校根性組
石黒 理樹

TEL 03-3801-9001 荒川区荒川7-26-9



株式会社 大西静商店

取扱商品:貸事務所・パーティーグッズ

大西静士郎

男子校根性組(昭和52年卒)

〒101-0032
千代田区岩本町2-7-13 内田ビル3F
TEL. 03-3866-6097
FAX. 03-3866-6098
http://www.rakuten.co.jp/osparty/

日比谷線小伝馬町駅より徒歩1分の
居酒屋です。ランチもやっています!

桔梗屋 やまハ

男子校根性組(S52年卒)

江原正俊

東京都中央区日本橋小伝馬町3-10
上嘉ビル2階
TEL 03-3662-5180

〒177-0033
練馬区高野台1-17 NFプラザ
TEL 03-3591-0105
FAX 03-3591-0156

吉田 博

代表取締役

株式会社エヌエフヴィレッジ

総合不動産業

昭和五十一年卒 明々会

株式会社 小島商会

自転車部品・用品卸

代表取締役

小島 隆司

昭和53年卒

東京都台東区上野1-6-5
TEL.03-3831-9792

パートナーズ総合事務所

司法書士 菅原 誠
行政書士

(S52年卒 男子校根性組)

〒110-0008

東京都台東区池之端1-1-1

池之端ビル8階

TEL. 03-3835-8041

FAX. 03-3835-8042

E-mail : ZVC00312@nifty.ne.jp

総合建設・不動産

正宗産業株式会社

代表取締役 市川 洋治

(56年卒)

〒210-0834

神奈川県川崎市川崎区大島5-8-13

電話 044-244-1054(代)

有限会社 新星興業

星本 慎児

昭和54年卒(明誠会)

応援指導班OB

千葉県鎌ヶ谷市軽井沢2097-3

TEL 047-446-7312

祝 第58回総明会 総会・懇親会



昭和54年卒同期会

明誠会

http://1st.geocities.jp/meiji_s54/index.html

昭和54年卒同期会

壹伍会

SINCE 1980

吉田 雅博

埼玉県川口市

Wako Real Estate Investment Co., Ltd.

和光アールイーアイ株式会社

代表取締役

熊澤 正幸

昭和54年卒 バレー部

〒102-0072

千代田区飯田橋4-1-11 六洲社ビル

TEL.03-3512-0750

FAX.03-3512-0753

<http://www.wako-rei.co.jp/>

昭和54年卒

明誠会

(株)朝倉鋳物

代表取締役

朝倉一寿

暮らしの衣料 まつざわ
株式会社

調布松沢屋

代表取締役

松澤 和昌

(昭和54年卒明誠会)

〒182-0026

東京都調布市小島町1-34-12

TEL 042-482-2634

矢ノ目忠税理士事務所

昭和54年卒 明誠会

〒135-0048

東京都江東区門前仲町
2-2-16 えとりビル3F

TEL 03-5639-7761

FAX 03-5639-7762

E-Mail : yanome@yanome.jp

愛三電機株式会社

代表取締役

公認会計士

河合 洋

昭和54年卒 明誠会

〒101-0021

東京都千代田区外神田1-12-3

TEL. 03-3253-3611(代表)

<https://www.aisan.co.jp>

相続
遺言

行政書士法人
税理士法人

つね ずみ
常住事務所

☎03-3905-6981

〒115-0055 東京都北区赤羽西1-5-1-606

アビレ・赤羽アポードビル内 FAX : 03-5963-7430

E-mail : yutaka@tokyo.email.ne.jp

代表社員 常住 豊 (昭和54年卒 明誠会)

日本行政書士会連合会 会長/東京都行政書士会 名誉会長/公益社団法人成年後見支援センター ヒルフェ 相談役

港やしま法律事務所

弁護士 鈴木 一洋

(昭和56年卒 明翔会)

〒105-0003

東京都港区西新橋一丁目20番3号

虎ノ門法曹ビル202号室

TEL : 03-6206-7311

FAX : 03-6206-7322

E-mail : toxotes@hyper.ocn.ne.jp

包装資材販売・梱包請負
寺村梱包株式会社

代表取締役 寺村一義

(昭和56年卒 明翔会 バスケOB)

東京都台東区東上野 1-22-1

TEL 03-5826-4601

FAX 03-5826-4660

<http://www.teramura-pack.co.jp>

精密金属挽物加工

有限会社 高埜製作所

代表取締役

高埜 雅信

昭和54年卒 明誠会

〒131-0045

墨田区押上3-15-6

TEL.03-3617-4365

FAX.03-3612-2368

V3 Kadoya

小川町スポーツ店街へようこそ

www.facebook.com/v3kadoya/

角谷幹夫

Mikio Kadoya

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-2

TEL : 03-3295-2525

FAX : 03-3291-3564

有限会社 両国あんこあられ本舗
代表取締役 岩佐 浩之
昭和五十四年卒 明誠会
東京都墨田区両国二丁目十七番三
電話 〇三三六三二一三八五六

両国
国技堂



かばん・袋物 製造卸し

(ビーボニー)

株式会社 B-BONNY

代表取締役 馬場栄一 (昭和55年卒 紫魂会)

本社/〒273-0012 千葉県鎌ヶ谷市東中沢4-8-53

工場/〒273-0012 千葉県鎌ヶ谷市東中沢4-8-50

Tel & Fax 047-412-3495

mobile 090-8440-7002

E-mail b-bonny@gf7.so-net.ne.jp

紫魂会
渡辺 裕之

ヤマダ社会保険労務士事務所
社会保険労務士
山田 覚
Satoru Yamada
昭和56年卒 明翔会
〒245-0061
神奈川県横浜市戸塚区汲沢2-1-5-D607
TEL/FAX.045-865-6282

株式会社東新理興

板硝子・理化学製品は齊木におまかせ!

昭和56年卒 明翔会

代表取締役 **齊木 麻州男**

〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-4
TEL.03-3814-7565 FAX.03-3818-0208

税理士法人 狩野会計社

www.kanou-kaikeisya.com

代表社員 税理士

狩野 智雄

(昭和56年卒)

〒114-0002 東京都北区王子2丁目28番2号 Tel:03-3913-1964 Fax:03-3912-0835
Mobile:090-1534-8396 E-mail:tkanou@kanou-kaikeisya.com

紙一般包装資材企画販売
近代紙業株式会社
〒340-0834 埼玉県八潮市大曽根1420
http://www.kind-ai.co.jp

昭和57年卒 明魂会
地理研究部OB会
小林 謙之
KENJI KOBAYASHI
k-koba@kind-ai.co.jp

昭和五十六年卒(硬式野球部)
須藤司法書士事務所
司法書士
須藤 貢一
〒三五〇〇四六
江東区牡丹二丁目一六九一四
TEL.〇三三六四三一六五〇

革業界の料理人・袋物製造卸

株式会社 **三和袋物**

代表取締役

深山 隆義

(昭和56年卒 明翔会)

東京都台東区元浅草1-4-12
電話:03(3844)0267
http://sanwa-wallet.com

祝 第58回総明会総会・懇親会

明 魂 会

昭和57年卒

http://www.meikonkai.com

総明開発株式会社

昭和57年卒 明魂会
硬式野球部OB会

代表取締役

染谷 貴男

〒340-0022
草加市瀬崎1-9-1 谷塚コーナ102号
TEL 048-960-0606 FAX 048-960-0805

祝 第58回 総明会 総会・懇親会

め い わ か い
明 輪 会

昭和58年卒

このころのわ

白木 そば

文京区本郷1-33-7
TEL:03-3812-4488

井上直樹

(昭和58年卒 明輪会)
都営三田線 水道橋駅
A6出口 徒歩5分

宮沢孝昌

(S59年卒・水泳部)

珈琲亭 ルアン

〒143-0016
東京都大田区大森北1-36-2
Tel: 03-3761-6077

平 日 7:00~18:30(オーダーストップ)
日・祭日 7:30~17:30(オーダーストップ)

木曜定休

有限会社 共栄化工
一般装飾品鍍金

代表取締役

岩井 孝之

昭和59年卒 明心会 バレー部OB
〒131-0041 墨田区八広2-18-13
TEL.03-3617-6050
FAX.03-3618-0711
http://www.kyoeikakou.com

昭和58年卒 明輪会

青木経営法務事務所

行政書士

青木 正美

東京都江戸川区南篠崎町4-25-4
TEL 03-3676-5420
FAX 03-3676-5421

一般社団法人 **相続を考える会**

あなたの相続に関するお悩み、
弁護士・税理士らの専門家が一緒に考えます。

昭和59年卒 税理士 **田中重幸**

〒279-0002 浦安市北栄3-30-23-205
TEL 047-712-8170

S H I M A M U R A D E S I G N

ホームページ・パンフレット制作

お客様のイメージをカタチにします。ご相談下さい。

グラフィックデザイナー 昭和59年卒 明心会

島 村 武 史

〒171-0052 豊島区南長崎3-31-14
TEL.03-5996-6828
E-mail.take-457@netjoy.ne.jp

☑ ロゴマークデザイン

☑ 商品カタログ制作

☑ 広告・会社案内制作

その他のいろいろ制作します。

http://www.shimamura-design.com/

令和4年度 総明会活動報告

令和4年度 総明会 役員一覧

(敬称略)

委員会・役職		年 卒	氏 名		委員会・役職		年 卒	氏 名	
名誉会長		昭和36年	向殿	政男	広報委員会	委員長	昭和57年	関川	一浩
名誉顧問	明治大学理事長		柳谷	孝	ホームページ総括	担当理事	昭和59年	島村	武史
名誉顧問	明治大学学長		大六野	耕作	会報・M発刊総括	担当理事	平成2年	遠藤	克彦
顧問	明治高校校長		安藏	伸治	会報構成編集	副委員長	昭和62年	高橋	雅之
		昭和29年	山浦	晟暉	広報DATA管理	副委員長	平成2年	石渡	浩司
顧問		昭和32年	山崎	敬生	ホームページ	副委員長	平成3年	山口	一郎
顧問		昭和41年	尾島	育四郎	幹事学年指導	副委員長	平成4年	木下	泰之
顧問		昭和43年	佐久間	洋一	幹事学年指導	副委員長	平成5年	小岩井	賢一
顧問		昭和44年	服部	雄二	M編集	副委員長	平成23年	三浦	直人
顧問		昭和44年	関谷	芳久	企画委員会	委員長	昭和54年	志村	和哉
					チャリティゴルフ	担当理事	平成元年	小柳	貴裕
会長		昭和51年	井家上	哲史	明朗会	担当理事	平成2年	今泉	仁
副会長		昭和50年	山崎	秀樹	チャリティゴルフ	副委員長	昭和63年	安川	琢哉
副会長		昭和59年	平野	一哉	チャリティゴルフ	副委員長	平成2年	堀江	健司
専務理事		昭和56年	衛藤	雅一	明朗会	副委員長	平成4年	福田	浩茂
常務理事		昭和50年	近藤	敏彦	明朗会	副委員長	平成4年	荘司	康夫
会計		昭和59年	田中	重幸	組織委員会	委員長	昭和61年	鵜飼	友義
事務局長		昭和61年	土田	正昭		副委員長	昭和58年	高橋	浩
副事務局長		昭和60年	渡辺	智郎		副委員長	平成元年	福島	維規
副事務局長		昭和63年	尾崎	博之		副委員長	平成元年	村嶋	健児
						副委員長	平成元年	瀧	慎一郎
総会委員会	委員長	平成元年	嶋田	剛久		副委員長	平成2年	長谷川	剛央
	副委員長	平成2年	高山	剛	総務委員会	委員長	平成2年	深井	重男
	副委員長	平成4年	有森	毅		副委員長	昭和61年	野津	真男
	副委員長	平成4年	牧野	英太郎	名簿委員会	委員長			
					監事		昭和44年	中河	孝樹
					監事		昭和56年	狩野	智雄

※1 名簿委員長の後任者はしばらく保留、その間は事務局預かりとする。
 ※2 組織委員長 鵜飼友義氏 令和4年6月5日ご逝去

令和4年度 総明会 評議員一覧

同期会

卒業年	名称	氏名	氏名
昭和12年		中富 光国	
昭和19年	明中28会	新田晃太郎	
昭和24年		内藤 功	
昭和26年	猿楽会	熊井 実	
昭和27年	明高会	米山 耕右	
昭和28年	明窓会	戸田 一郎	佐藤 欣生
昭和31年	明栄会	佐藤 健一	大田 育男
昭和32年	明治会	嵯峨 徳治	太田 喜久
昭和33年	三三会	鈴木 寿雄	藤田 義茂
昭和34年	旧雨会	秋山 義昭	希代 章
昭和35年	珊瑚の会	倉林 貞夫	天野 洋一
昭和36年	明驗会	加藤 眞義	山田 和孝
昭和37年	駿会	中村 哲士	
昭和38年	二年に一会	渡辺 昭宏	関戸 淳一
昭和39年	三九会	佐藤 仁	堺 健一
昭和40年	明優会	阿部 正行	大関 清人
昭和41年	41明友会	廣瀬 準	菊本 哲也
昭和42年	M41	伊藤 謙一	
昭和43年	紫讃会	志村 一夫	小田嶋保男
昭和44年	男坂倶楽部	寺田 康夫	蘆谷 豊
昭和45年	獅子の会	比留間竹郎	上野 隆史
昭和46年	明潮会	木村 茂	金子 敏一
昭和47年	四七四七同志聯会	戸張 毅	内田 茂
昭和48年	波の会	海老根一介	雨海 重明
昭和49年	翼明会	佐藤 眞弘	大町 実之
昭和50年	明紫会	三森 勲	前田 純一
昭和51年	明々会	小林 祥悟	島田 一
昭和52年	男子校根性組	佐藤 大英	有田 幸訓
昭和53年	紫友会	加藤 裕之	竹越 利忠
昭和54年	明誠会	荒井 信之	矢ノ目 忠
昭和55年	紫魂会	吉口 市郎	渡辺 裕之
昭和56年	明翔会	寺村 一義	蓬田 裕一
昭和57年	明魂会	岩崎 広人	田中 幹浩
昭和58年	明輪会	並木 功	高橋 浩
昭和59年	明心会	伊藤 稔	渡邊 文夫
昭和60年	闘紺会	和田 直弘	矢澤 徹

	卒業年	名称	氏名
昭和61年	新世輝	栗本 宜長	高橋 誠
昭和62年	明猿会	赤岩 大輔	中澤彰次郎
昭和63年	昭和戊辰乃会	坂根 紀宏	刈米聡一郎
平成元年	平成改元会	横島 高之	杉山 純也
平成2年	明愛会	大崎 裕和	神保桂一郎
平成3年	明仁会	山口 一郎	斎藤 直宏
平成4年	快汗、どうすい塾	小畑 啓	福田 浩茂
平成5年	明鐘会	安藤 高利	長野 吉克
平成6年	隆明会	三保谷健介	熊木 達朗
平成7年	紫縁会	藤田 央	金子 敦史
平成8年	紫誠会	青木 大樹	三村 具永
平成9年	紫雲会	小谷 健志	香川 満洋
平成10年	紫98俱	秋山 光億	平川 健
平成11年	明哲会	石川 一仁	戸邊 寛
平成12年	明瀑会	玉木万理夫	保科 大輔
平成13年	明治21	大橋 弘顕	岡庭 朋成
平成14年		上原 康仁	下田 良征
平成15年		大川 康介	武 雄一郎
平成16年		杉田 将平	徳竹 正憲
平成17年		室井 純	荒川 佳史
平成18年	白雲会	山崎 裕貴	角田 隆悟
平成19年		横倉 光輝	大竹 惇
平成20年		渡辺 圭	早川 慎吾
平成21年		加藤 敦	大森 貴之
平成22年	明雄会	亀屋 将紀	佐藤享太郎
平成23年		平田 裕貴	三浦 直人
平成24年		三浦 彩	市川 陸
平成25年		師岡 忠寛	押田 華穂
平成26年		岡田 尚也	加菜子
平成27年		坂坂 菜摘	渡邊 直人
平成28年		田勢 也子	少武 光
平成29年		佐藤 陸	小栗 未琴
平成30年		今井 紗紀	山田 崇人
平成31年		染谷 早咲	関口 哲平
令和2年		千鳥 紗英	浦山 和之
令和3年		中村 勇太	岩崎 夏音

班クラブOB・OG会

名 称	氏 名
生徒会本部	(休会)
応援指導班	廣野 宏士
新聞班	西山 光彦
新吹奏楽班	斉木麻州男
園放書班	大西静士郎
剣道部 (見心会)	宮田 健
硬式野球部 (明球会)	羽田 郁雄
サッカー部	世古 俊之
柔道部	大室 智
水泳部 (明水会)	小川 洋一
スキー部 (明雪会)	芳澤 徹
卓球部 (明卓会)	岡本 雅仁
庭球部	奈良部利昭
バレー部	樋田 哲次
フェンシング部	中村 信也
陸上競技部	櫻井 勝也
バスケットボール部	木戸 基満
囲碁部	田島 弘資
文化学部	森 八一
物理部 (明物会)	上野 雅宏
マンドリン部	(休会)
地理研究部	堀井 雅俊
歴史研究部	山下 征隆
アイスホッケー愛好会(明水会)	
J R C	横谷 昌明

昨年1年間ご連絡が取れなかった評議員の方は
お名前を記載できませんでした。
お気づきの方は、総明会事務局まで、ご連絡を
頂けますようお願いいたします。

令和4年度会計報告

総明会 令和3年度 一般会計報告 (自) 令和3年4月1日～(至) 令和4年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	16,203,125円	会議費	199,830円
新入会員入会金	2,580,000円	交流費(学校、他)	647,180円
新入会員終身会費	3,870,000円	会報発送費用	1,657,855円
学年会費	705,000円	事務通信費	105,585円
雑入(会議費、利息 他)	430円	各委員会活動費	721,044円
幹事学年サポート協力金	1,390,000円	幹事学年サポート支出	2,608,047円
		費基金へ組入れ	0円
		次年度繰越金	18,809,014円
合 計	24,748,555円	合 計	24,748,555円

総明会 令和3年度 基金会計報告 (自) 令和3年4月1日～(至) 令和4年3月31日

基金区分	令和2年度末残金	令和3年度増減額	摘 要	令和3年度末残金
事業遂行基金	15,000,000円	0円		15,000,000円
財政基盤基金	11,200,281円	0円		11,200,281円
合 計	11,200,281円	0円		26,200,281円

上記の通り報告いたします。 令和4年3月31日 会長 井家上哲史 会計 田中 重幸
 上記の通り報告いたします。 令和4年6月30日 監事 中河 孝樹 監事 狩野 智雄

総明会 令和4年度 一般会計予算(案) (自) 令和4年4月1日～(至) 令和5年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	18,809,014円	会議費	490,000円
新入会員入会金	2,580,000円	交流費(学校・他)	1,460,000円
新入会員終身会費	3,870,000円	会報発送費用	1,840,000円
学年会費	930,000円	事務通信費他	290,000円
雑入(会議費・他)	500,000円	各委員会活動費	1,750,800円
雑入(寄付金・利息)	10,000円	基金へ組入れ	0円
		次年度繰越金	20,868,214円
合 計	26,699,014円	合 計	26,699,014円

総明会 令和4年度 基金会計予算(案) (自) 令和4年4月1日～(至) 令和5年3月31日

基金区分	令和3年度末残金	令和4年度増減額	摘 要	令和4年度末残金
事業遂行基金	15,000,000円	0円		15,000,000円
財政基盤基金	11,200,281円	0円		11,200,281円
周年事業準備金	26,200,281円	0円		26,200,281円

第57回 総明会 特別会計報告 (自) 令和3年4月1日～(至) 令和4年3月31日

収入の部		支出の部	
寄付広告収入	31,000円	総会関係費	14,599円
総明会より協力金	2,608,047円	会報関係費	2,391,554円
		就活会関係費	174,213円
		運営関係費	58,681円
合 計	2,639,047円	合 計	2,639,047円

令和4年度活動報告

総明会 専務理事
衛藤 雅一

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も若干落ち着きを見せていますが、依然状況を注視しながらの総明会活動が続いています。

昨年11月は、まん延防止等重点措置期間の合間を縫い日比谷コンベンションホールで72名の皆様に「ご出席いただき総会を開催することができました。

学校関係では、2年ぶりに井家上会長が卒業式に出席し、「総明会賞」の授与をおこなうことができました。しかしながら明大中野高校校友会「武陵会」、PTAOB会の「白駿会」も引き続き中止、その他の対外的な活動につきましても引き続き中止という状況が続いています。8月には2年ぶりに母校クラブ活動への夏季合宿ドリオンク差入を再開することができました。なお、コロナの影響で合宿開催が不確定のため本年は全クラブに対して下記の活動の支援という形をとらせていただきました。

総明会の恒例行事であるチャリティーゴルフコンペにつきましてはプレーのみという形式ではありましたが、2年ぶりに開催することができ再開を楽しみにされていた102名の皆様に「ご参加いただくことができました。残念ながら7月に開催予定の評議員・班・クラブOBOG会懇親パーティーは中止とさせていただきますが、9月の明朗会は飲食を伴わない「明朗寄席」として3年ぶりに開催することとなり

ました。

理事会、評議員会につきましては、ようやく対面での開催ができるようになってまいりました。紫紺館の利用ができない状況が続いているため出席いただける人数にも制約はありますが、お茶の会の貸会議室を利用して開催しております。

このような状況の中、本年度幹事学年「紫縁会」も「縁」とのうをテーマとし活動をおこなっています。6月12日には7学年の参加による「歩いて繋ぐ駅伝」駅伝企画も開催されました。

会報誌「紫紺の詩」も今年は、広告の再開、WEBとの二本立てという形で取り組んでいますので是非ご覧いただければと思います。新型コロナウイルスの影響も3年目に入り「ウイズ・コロナ時代」の新しいライフスタイルになってきています。

本年度の総明会総会は、11月13日(日)に14年ぶりに母校鶴澤総明ホールにて開催をすることとなりました。飲食を伴わない新しい形での懇親会も開催いたしますので是非ご参加いただきますようお願いいたします。なお、今後の新型コロナウイルスの完成状況により会場の変更、日程の変更の可能性もあります事をご承知おください。変更の場合は10月の評議員会、ホームページ等を通じて御案内をさせていただきますのでご確認いただきますようお願いいたします。

総会委員会 活動報告

総会委員会 委員長
嶋田 剛久

令和4年度の活動も、昨年及び一昨年同期、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けております。一昨年は総会・懇親会ともに中止となり、昨年は3密を避けるため懇親会は実施せず、総会については万全の感染症防止対策を施し、2年ぶりに実施の方向で準備を行い、無事に11月14日(日)に第57回総明会総会実施することができました。コロナ禍の中、初めての会場かつ新しい運営方式ではありましたが、幹事学年「隆明会」の協力を得てスムーズに滞りなく総会を行えたことは大きな一歩だったと思います。

今年は評議員の皆様にもご意見を伺い、理事会でも議論を重ね、社会情勢を鑑み、飲食を伴わない懇親会の実施を総会後に検討しております。当初は皆様がよくご存知のハイアットリージェンシー東京を仮予約しておりましたが、社会情勢を鑑み、総明会としての最適解を導き出すべく、幹事学年「紫縁会」とともに他の会場探し及び条件交渉を行い、現時点では母校の明治高等学校・明治中学校の鶴澤総明ホールにて実施を検討しております。

さて、その幹事学年「紫縁会」ですが、「縁」とのうを活動テーマに掲げ、コロナ禍の制限を意識しつつ、幹事学年定例会としては久々のオフライン会議を行い、総会委員会も参加させていただき、色々と意見交換を行うことができました。「紫縁会」としては昨年より一歩でも前進する為に議論を重ね

ねており、3年ぶりの懇親会を開催したいという強い思いを感じることができました。この時点で運営形態が完全に決まっていなという事態は正直異例だと認識しつつも、正常化に向けて重要なプロセスだと思っております。幹事学年の意向を尊重しつつ、今、何ができるのか、何をやるべきかをきちんと議論し、整理をしていきたいと考えております。

最後に、この会報が皆様の手元に届く時には、日程、会場、運営形態が確定していることと思います。皆様の意向に添えない部分も多いことは認識しておりますが、何卒、同期の皆様を誘って、久々の懇親会へのご参加を是非ご検討いただければと思います。



広報委員会 活動報告

広報委員会 委員長

関川 一浩

総務委員会 活動報告

総務委員会 委員長

深井 重男

新型コロナウイルス感染症により、会員の皆様ご家族、関係者各位におかれましては、大変なご苦劳いかほどかとご推察申し上げます。

一昨年から新型コロナウイルス感染症拡大により広報委員会の活動制限があるものの、「紫紺の詩」「M」「ホームページの運営」を柱に活動をしております。

今年に入り、「With コロナ」で、世の中も少しずつ制限の緩和が行われている中、委員会活動も従来実施していたリモート会議ではなく、face to faceの会議を一部再開しております。

「紫紺の詩」発刊活動

毎年、幹事学年活動テーマを中心に編集活動を行っていますが、今年度の幹事学年「紫縁会」は、「縁」とのうをテーマに掲げ特集企画記事を組んでおります。

前述いたしましたとおりコロナによる活動制限を受けてはありますが、「特集企画」を立ち上げ会員皆様に楽しんでいただける記事、内容に奮闘しておりますので、幹事学年の意気込みも感じながら最後まで是非目を通してください。また、幹事学年「紫縁会」の発案による新たな試みとしてデジタル化（QRコードによる動画視聴等）企画にも取り組んでいます。これは、従来の会報誌の紙面ですと情報量に限りがあるため、是非皆様に多様な情報を提供させていただきたい思いで準備しております。

「M」発刊活動

平成23年卒から平成31年卒までの13人（林田こずえさん、高橋凌士さん、三浦直人さん、朝倉貴紀さん、土屋弦さん、岩田滂夏さん、坂本駿太さん、塩出研史さん、垣川菜子さん、高波菜生さん、井畔杏里紗さん、橋本大輝さん、小林麻衣さん）で活動を行ってまいりました。若手会員の皆様にも総明会活動を理解していただけるよう、オンライン形式で議論を重ねました。例年通り、「紫紺の詩」に同封し、皆様のお手元に届けさせていただく予定です。

「ホームページ」の運営

島村担当理事を中心に、総明会活動、現況等をタイムリーに情報を発信しております。

今年から、ホームページをリニューアルいたしましたので、是非ご覧ください。

最後になりましたが、人と人との接触に規制がある中、取材協力をしていただきました皆様、各OB・OG報告の寄稿、インタビュー・情報提供にご協力をいただきました会員の皆様、並びに学校関係者各位に御礼を申し上げますとともに、無事皆様のお手元に会報誌をお届けできるように活動しておりますので、引き続きご協力お願いします。

前任の光岡委員長の地方への御栄転に伴いまして、御留守を預かることになりました明愛会の深井でございます。先ずは例年と同じく業務内容の紹介でございます。

年度の変更に向けた試験的運用に伴いまして、3月25日に昨年度最終の評議員会を、5月20日に新年度最初の評議員会を開催を致しました。未だ紫紺館の利用が制限されており、会場は御茶ノ水の貸し会議室を利用しております。この、総明会という組織の意思決定の最高議決機関とも言える評議員会の案内・召集、当日の受付など運営、議事録の作成迄を年間に3セット、そして学年評議員と班・クラブOB・OG会の評議員との合同懇親バー

ティ（暑気払い）の企画・運営、総会の議事録作成、本部役員の納会の企画・運営を主な業務としております。企画委員会や総会委員会、組織委員会のように華やかな部署ではございませんが、なんだかんだと結構なボリュームの作業量でございます。

このように、年間を通じての業務は固定しているように見えますが、私が5年前の幹事学年だった当時の須藤委員長時代には会議前の弁当を廃止、また前任の光岡委員長時代は開催案内の周知を図る方策の検討など、その時々課題を改善すべく様々な検討もしております。

今年度は紫紺館が利用できず外部の会議室の規定もあって、感染症対策の一環として出席者全員に出席カードへの記入をお願いして参りましたが、従前から出欠ハガキ到着後の変更も多かったため、結果的に当日の議決権の数の把握などに有用である等、今後も実施したい方向でございます。

その他にも、議事録を郵送だけではなく事前にPDF等のデータで総明会のホームページに掲載のうえ、評議員にはメールで掲載の旨を通知していくこと、出欠ハガキの返信を料金受取人私ではなく官製ハガキとするなど、将来的には紙媒体を減少させる方向も検討しております。世代を超えて最大公約数の範囲での合理化を模索して参ります。

さて、組織委員長の鶴飼先輩が6月に急逝されました。先輩は平素、まだ高校を卒業する前の後輩たちに対して総明会の何たるかを丁寧説明し続け、「総明会という組織の背骨を作っているんですよ」と熱く語っておられました。組織委員・企画委員・総会委員・総務委員・広報委員を問わず、それぞれが縦割りでなく、有機的に絡まって血肉を付けていくことが、【総明会という財産】を、【世代を超えた】【ご縁】を【ひとつ】にして【前へ】進めることこそが、残された本部役員の使命と考えております。

今年度は紫紺館が利用できず外部の会議室の規定もあって、感染症対策の一環として出席者全員に出席カードへの記入をお願いして参りましたが、従前から出欠ハガキ到着後の変更も多かったため、結果的に当日の議決権の数の把握などに有用である等、今後も実施したい方向でございます。

さて、組織委員長の鶴飼先輩が6月に急逝されました。先輩は平素、まだ高校を卒業する前の後輩たちに対して総明会の何たるかを丁寧説明し続け、「総明会という組織の背骨を作っているんですよ」と熱く語っておられました。組織委員・企画委員・総会委員・総務委員・広報委員を問わず、それぞれが縦割りでなく、有機的に絡まって血肉を付けていくことが、【総明会という財産】を、【世代を超えた】【ご縁】を【ひとつ】にして【前へ】進めることこそが、残された本部役員の使命と考えております。

企画委員会 活動報告

平成7年卒 紫緑会

日野 友貴

コロナ禍により、2年間開催できていなかった第26回総明会チャリティゴルフ大会が、5月22日(日)、千葉県市原市の「ムーンレイクゴルフクラブ 鶴舞コース」にて盛大に開催されました。前日からの雨が残るスタートでしたが、時間が過ぎるごとに天気は回復し、途中は明るい日差しが降り注ぐ絶好のゴルフ日和となりました。2019年に第25回を開催した後に、コロナ禍で本大会が開催できなかったため、今年度は果たしてどれだけの皆様にご参加いただけるのかと不安でありましたが、蓋を開ければ恩師の先生方4名を含む、総勢100名と、非常にたくさんさんの「明高ゴルフ」に集まってくれたことができてきました。ただ、コロナの影響を完全に払しょくすることはできず、皆様お楽しみみの表彰式・懇親パーティーは自粛となり、大変申し訳ございませんでした。賞品は後日発送となりました。

競技は「新ベリア方式」で行われ、例年通りの「個人戦」「大名人戦」「名人戦」「学年・班、クラブ対抗戦」を賭けての激しい争いが繰り広げられました。結果は「個人戦」「山口達明氏(闘紺会・昭和60年卒)」「大名人戦」「佐藤健一氏(明楽会・昭和31年卒)」「名人戦」「中村裕次氏(獅子の会・昭和45年卒)」「学年・班、クラブ対抗戦」「闘紺会M・昭和60年卒」がそれぞれ優れた成績にて優勝されました。優勝され

た皆様、誠にありがとうございました。またそれ以外にも様々な賞品をゲットされた皆様、おめでとうございます。

私を含め、幹事学年からは7名が初めて参加しました。1名見事に3位を勝ち取りましたが、それ以外はまだまだ修行が足りませんでした。それでも、このゴルフ大会を通じて改めて明治高校の結束の強さ、そして我々後輩を思い遣っていただけ先輩方のありがたさを実感しました。ゴルフ場の受付横では、ご寄付のお願いと、ささやかながら返礼の品を準備させていただきましたが、先輩方からは多大なご厚志とともに、「がんばりなさいよ」という暖かな言葉をたくさん頂戴し、幹事学年一同として改めて御礼申し上げます。



明楽会 (S31 卒) の大先輩方



左から吉田先生、横田先生、並木先生、山田先生



今年度幹事学年の紫緑会 (H7 卒) メンバー

最後にになりましたが、今年度のチャリティゴルフ大会開催に向け多大なご協力をいただきました皆様、本当にありがとうございます。大会に際し、各種ご協賛ならびに商品のご提供をいただいたOBの皆様や各企業様には、総明会企画委員会を代表してお礼申し上げます。大きな盛り上がりを見せた第26回総明会チャリティゴルフ大会ですが、来年の第27回大会においてもたくさんさんの「明治高校ゴルフ」に集まってくただけますようよろしくお願ひします。今年度幹事学年である我々紫緑会一同もしっかり次年度幹事学年に引き継いでまいります。ありがとうございます。

敬称略

個人順位戦		氏名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
	優勝	山口 達明	S60	44	41	85	14.4	70.6
	準優勝	宮島 賢	S60	38	44	82	10.8	71.2
	3位	内田 太樹	H7	41	45	86	14.4	71.6
	ベスト	齊藤 公義	S46	42	39	81	4.8	76.2

学年対抗戦		卒業年	代表選手名	NET
	優勝	S60闘紺会 M	山口 達明 宮島 賢 平林 康稔	215.4
	準優勝	S46明潮会	渡辺 弘之 木村 茂 齊藤 公義	226.2
	3位	H2明愛会 M	西海 学 河合 廣明 松村 牧紀	228.8

名人戦		氏名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
	優勝	中村 裕次	S45	48	46	94	21.6	72.4
	準優勝	小田嶋 保男	S43	46	46	92	19.2	72.8
	3位	中尾 恵則	S43	45	46	91	18.0	73.0

大名人戦		氏名	卒業年	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
	優勝	佐藤 健一	S31	50	51	101	24.0	77.0
	準優勝	山田 伸夫	恩師	50	51	101	24.0	77.0
	3位	北川 恵一	S31	52	55	107	27.6	79.4

総勢100名の先生、OBによる「個人戦」、計24チームがエントリーした「学年対抗戦」のほか、昭和43年～昭和50年卒の先輩方21名による「名人戦」、昭和31年卒の先輩方に山田伸夫先生を加えた「大名人戦」が行われました。4位以下の方はスペースの関係上、省略させていただきます。

寄付ご報告

井家上哲史 様 金一封 山崎 秀樹 様 金一封 平野 一哉 様 金一封 近藤 敏彦 様 金一封 比留間竹郎 様 金一封
鴨下 裕彦 様 金一封 栗田 茂 様 グッズ 斎藤 公義 様 グッズ 金子 敦史 様 (株式会社 ANA cargo 様) グッズ

学校チャリティー報告

寄付 10万2千円

組織委員会 活動報告

組織委員会 副委員長
福島 維規

名簿委員会 活動報告

副事務局長（名簿担当）
尾崎 博之

新型コロナウイルス感染症の拡大から2年以上

が経過し、日常生活では少しずつ新型コロナウイルスとの共存ができるようになってきているように感じます。そんな中、組織委員会としては、常にオンラインと対面の選択を余儀なくされながらの活動となっております。2月15日の高三総明会オリエンテーションでは、鶴飼委員長、土田事務局長に明治高校に訪問して頂き、井家上会長と鶴飼委員長との挨拶、「3分でわかる総明会」は動画での視聴、その後の説明は対面で行う形で実施しました。

コロナ禍でコンテンツとしての動画の定着を感じると共に、説明や感染対策としては動画を利用し、「想い」の部分は対面で熱く語ることと総明会について伝えていきたいと思っています。

今年もクラス幹事食事は開催することができず、3月13日にクラス幹事200名交流会を実施しました。こちらはオンラインのみの開催となりました。今年は出席者が少なく、小規模となりましたが、大学生であるクラス幹事の方にも参加していただき、大学の説明、履修の選び方、大学施設の便利な利用方法などの話になりました。食事はどの人数が集まらなかったこと、サークル活動については、活動が出来ないという話もあり、コロナで活動ができなかった2年間の大きさを改めて感じる

こととなりました。

高校を卒業し大学生になる環境の変化に対し、総明会として手を差し伸べる意義の大きさを感ずるイベントです。今後には大学生を中心に規模を大きくしていきたいと思っています。さて今年の就活会ですが、例年同様11月に予定しております。総明会の年中行事としての地位を確立すると同時に、毎年進化を続けていきます。

今年は、開催時期は11月で適当なのだろうか、就活に関する名簿の整理や学生と社会人が繋がる仕組みが作れないか、また就活会でのコンテンツも社会人からの一方通行ではなく双方方向による対話ができないだろうか等もあり、現在幹事学年とともに模索を続けておりますので、楽しみにしていってください。

今年6月5日に鶴飼委員長が逝去されました。陽気でエネルギーで組織委員会のシンボルとして活動していただいただけに、今年の就活会の挨拶では、「バリトンボイス」が聞けないことが残念でなりません。鶴飼委員長の想いと共に、コロナに負けず、これからも若手会員増強のために活動してまいりますのでよろしくお願い致します。

名簿委員会は、毎年会員の皆様へお届けしております会報『紫紺の詩』の発送をはじめ、評議員会やゴルフ、明朗会等への宛名シール、情報の提供を行っております。

名簿委員会委員長を長年務めていただきました鴨下裕彦（昭和56卒）先輩が仕事の関係で3月に退任され、名簿の管理を事務局にて行うこととなりました。名簿担当として副事務局長の私、尾崎が請け負い、3月半ばに鴨下前委員長より引継ぎを受けました。3月末より、評議員会・チャリティゴルフ用の宛名シールの発行、名簿内容変更連絡に対する名簿の随時修正、本年度高校を卒業した新入会員のデータを名簿へ追加などの業務を行って参りました。また、5月に行われました第1回評議員会にて各学年の名簿管理者から総明会名簿のデータ突き合せ依頼がありました。申し出のあった6学年に学年ごとのデータを送付し、手持ちの名簿と突き合わせを行っていただき、返信をいただいた後に総明会の名簿を修正しております。今後このような形式で名簿をアップデートしていけたらと思っております。

会員の皆様には、ご自身のお引越しの際は勿論、同期の方の転居のご案内等の情報をございましたら是非一報ください。また、同期会の案内を出されます幹事の皆

様、ご連絡頂ければ宛名シールを出力致します。是非ご活用ください（同期会の宛名シール出力は1回1,000円となります）。名簿は大切な個人情報ですので、これからもプライバシーポリシーのもと厳格な管理を心がけて参ります。引き続き皆様のご協力をお願い致します。

住所変更・宛名シール出力等の連絡先

総明会副事務局長 昭和63年卒 尾崎博之
メールアドレス：hcozaki@cropozaki.com
FAX：03-5820-0742

※口頭での誤認防止のため、恐れ入りますが
FAX、メールでのご連絡をお願いします。

※また、同期会の宛名シール出力は、1回1,000円となります。ご了承ください。

第58回総明会 御寄付者一覧

チャリティゴルフ大会
大会参加者有志一同 金 15万円

◎同期会

明輪会 昭和58年卒 金 5万7千円
新世輝 昭和61年卒 金 8万8千円
明猿会 昭和62年卒 金 10万4千円

◎個人

近藤 敏彦 昭和50年卒 金 5万円
平野 一哉 昭和59年卒 金 10万円
池田 曜 昭和61年卒 金 1万円
堀江 健司 平成2年卒 金 2万円

合計57万9千円

御礼

この度は第58回総明会総会及び懇親会開催、並びに会報誌「紫紺の詩」の発行にあたりまして、大変多くの皆様からの「寄付及び広告掲載を賜り、誠にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた広告掲載が三年ぶりに復活しました。丸二年間のブランクは大きいのではないかと心配していましたが、多くの先輩方からご協力をいただくことができました。また、同期会や班クラブOB・OG会へ参加の機会も例年の十分の一以下でしたが、迎えていただいた先輩方からは多くの励ましの声をいただきました。先輩方の明治を愛する気持ちに触れることができた貴重な体験でした。

11月13日の総明会総会・懇親会でお会いできることを楽しみにしております。総会・懇親会場で改めて御礼させていただきます。所存でございますが、まずはこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

紫縁会 実行委員長 藤田央

組織委員会 鵜飼友義委員長(昭和61年卒)を悼む

総明会事務局長(昭和61年卒)土田正昭



令和4年6月5日、私の同期 鵜飼友義君が逝きました。私達にとっては同期の頭。彼は中学1年から同じクラスでしたが、高校2年では生徒会長を務めてくれました。もともと体が大きく、バレー部や赤十字等、様々な活動をしていました。

40歳を過ぎてから同期が集うようになり、総明会の幹事学年(新世輝)となるとき、誰もが尻込みする実行委員長を、彼は臆することなく二つ返事で引き受けてくれました。そのとき私は事務局長。私と彼は正反対。私は事務的に同期をサポートし、鵜飼君は持ち前の明るさと通る声、そう、バリトンボイスで、ドッカン・ドッカン人前で喋りまくる男でした。私には到底真似できない振る舞い。でもよきパートナーでした(・・・)と思っているのは私だけかもしれません。

幹事学年後は組織委員会に抜擢され、若いOB・OGにも総明会に携わってもらおうべく、母校にて総明会説明会を開催したり、卒業したてのOB・OGと食事を設けたり、大学生のために就活会を企画したり、それはそれは精力的に活動してくれました。そんな彼は、私がインフルに罹れば「俺にうつせ」と言いました。彼は風邪一つ引かない男。「人にうつせば治るって言うじゃん？」とあつげらかんと言う。そういうあつたかい男であり、健康的な男でした。

しかしその日はあつてなく・・・。なんでもかんでも頼まれたら断らずに、全てを引き受けてやってきました。人材派遣会社、築地「鳩屋海苔店」、そして最後は千代田区議会議員にまでなり、その忙しさは尋常ではなかったはず。でもそんなそぶりも見せることはありませんでした。

鵜飼君の総明会での功績は、大きかったと私は思います。今まで彼のやってきたことを、後輩たちが、ちゃんと引き継いで進めてくれています。

ありがとう、鵜飼。ゆっくり休んでくれ。謹んでご冥福をお祈りいたします。

合掌

各種機械 設計・製作・修理 及び 部品加工
株式会社 高橋機械製作所
Takahashi-kikai@nifty.com
代表取締役 高橋 誠
(昭和61年卒 新世輝)
取締役会長 高橋 郁三
(白鷺会 顧問)
〒116-0011 東京都荒川区西尾久8-41-4
TEL 03(3893)8377 FAX 03(3893)8062
<https://takahashikikai.co.jp>

帽子製造卸 東 栄 株式会社



こだわりの帽子をトレードマークに

代表取締役 土田 正昭
(昭和61年卒 新世輝)

〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町1-3-5

TEL.03-3664-0810 FAX.03-3664-0033

E-mail.toei@beach.ocn.ne.jp

ふぐ ちゃんこ
焼 鳥
鳥 義
氏 家 喜久雄
(昭和61年卒 新世輝)
墨田区石原3-17-3
TEL.03-3626-4466

祝 第58回
総明会 総会・懇親会

今年も新世輝は、
幹事学年 紫縁会を
応援致します。

しんせいぎ
新 世 輝
(昭和61年卒) 49/101

<http://sinseiki.jimdo.com>

総明会(明治大学付属明治高等学校同窓会) 会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、総明会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の結束と親睦を図り、且つ母校のためにこれを賛助することを目的とする。

(事業及び会計処理)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 母校に対する賛助活動を推進すること。
- 2 会員名簿を整備、管理すること。
- 3 会報などの広報物を発行すること。
- 4 同期会の結成を助成し、奨励すること。
- 5 班部OB会の開催を助成し、奨励すること。
- 6 その他、本会の目的を達成するために必要なこと。

第3章 役 員

(役員の種類及び定員)

第8条 本会に理事10人以上20人以内及び監事2人を置く。

- ② 本会に会長1人、副会長3人以内、専務理事1人、事務局長1人、会計1人を置く。
- ③ 必要であれば、本会に常務理事を若干名置くことができる。

(役員の選任)

第4条 本会の事務を行うために事務局を設ける。

- ② 事務局は、明治大学付属明治高等学校内に置く。

第2章 会 員

(会員資格)

第5条 本会は、旧制、新制明治中学校、明治

び評議員会の承認を得て選任することができる。この場合は選任直後の総会において承認を得るものとする。

- ② 会長及び副会長以外の理事並びに監事(以下「会長選任役員」という)は、会員の中から、会長が選任する。会長選任役員は、選任後最初の評議員会の承認が得られなかったときは、選任されなかったものとみなす。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

③ 専務理事、常務理事及び事務局長並びに会計は、副会長の同意を得て、会長が理事の中から選任する。

- ④ 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- ⑤ 会長は、副会長の同意を得て、いつでも会長選任役員を解任することができる。これにより会長選任役員に欠員が生じたときは、会長は欠員のないように直ちに役員を選任しなければならない。

⑥ 理事は評議員を兼務できない。

- ⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。
- ⑧ 会長は本会を代表し、会務を総理、

(理事会)

第10条 本会の会務の執行は、理事会がこれを決する。

- ② 理事会は理事をもって構成する。
- ③ 理事会は会長がこれを招集する。
- ④ 理事会の議長は、会長又は会長が指名したものがこれにあたる。

⑤ 理事会の議事は、出席理事の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

- ⑥ 理事は書面により理事会の決議に加わることができる。
- ⑦ 監事は、理事会に出席し意見を述べることができる。

(会長等の職務)

第11条 会長は本会を代表し、会務を総理、

執行する。

- ② 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した順位にしたがい会長の職務を代行する。
- ③ 専務理事は、会長の指揮のもとに会務を総括してつかさどり、かつ事務局を総括する。
- ④ 常務理事は、専務理事を補佐する。
- ⑤ 事務局長は、専務理事の指揮のもとに事務局を統括する。
- ⑥ 会計は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を行う。
- ⑦ 理事は、会務を分担する。

(監事の職務)

第12条 監事は、本会の会計及び財産の状況並びに会務の執行を監査する。

- ② 監事は、監査の結果を定時総会に報告する。

(名誉役員)

第13条 本会に名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役を置くことができる。

- ② 名誉会長、名誉顧問及び顧問、相談役は、本会又は母校に永年にわたり特別に功労のあつたものの中から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。
- ③ 学校法人明治大学の総長、学長は、その在任中、名誉顧問としてこれを推薦する。
- ④ 明治大学付属明治高等学校の校長は、その在任中、顧問をそれぞれ推薦する。
- ⑤ 相談役は、会務に永年にわたり功労のあつた者の内から理事会が推薦し、評議員会の承認を得て会長がこれを委嘱する。

第4章 総会及び懇親会

(総会の招集)

第14条 定時総会は毎年1回開催し、臨時総会が必要のあるときに開催する。

- ② 総会は、会長がこれを招集する。
- ③ 総会の招集は、本会が発行する会報に掲載し、もしくはその他の方法で会員に通知して行う。

(総会の議事)

- 第15条 総会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項のうち理事会が提案し、評議員会が必要と認めた事項を総会における審議事項として決議する。

- ② 総会の議長は、会長又は会長の指名したものがこれにあたる。

- ③ 総会の議事は、出席会員の過半数でこれを決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(懇親会の開催)

- 第16条 懇親会は、会員の懇親を目的として毎年1回開催する。

- ② 懇親会の開催に関する事項は、理事会が決定し、評議員会の承認を得て、会長が会員に通知する。この通知は、総会の招集通知に準じて行う。

第5章 委員会

(委員会の設置)

- 第17条 本会は、第2条の目的の達成及び第3条の規定に掲げる事業の遂行のために必要な事項を調査、研究、審議し、または実施する機関として委員会を設けることができる。

- ② 委員会は、会則に定めるほか理事会の決議により設置する。

- ③ 委員会は、委員長1人及び委員2人以上をもって構成する。

- ④ 委員長は、理事会の承認を得て会長がこれを委嘱し、委員は、会員及び特別会員の中から会長の同意を得て委員長がこれを委嘱する。

- ⑤ 委員会は、委員長がこれを主宰する。

- ⑥ 委員長は、その就任と同時に理事となる。

第6章 評議員及び評議員会

(評議員)

- 第18条 本会に、卒業学年毎に2人以内の評議員を置く。同期会は、同期会の会員のうちから評議員を選任して本会に届けるものとする。また、総明会に登録した班部OB会毎に1人の評議員を置くことができる。評議員を選任した場合は、本会に届けるものとする。

- ② 同期会が結成されていないか、もしくは同期会において評議員を選任できない事情があるときは、会長は、当該学年のために同学年の中から仮評議員を選任できる。

- ③ 総明会に登録すべき班部OB会が結成されていないか、もしくは班部OB会に評議員を選任できない事情がある場合は、評議員を置くことができる。

- ④ 同期会の評議員と班部OB会の評議員は兼任できない。

(評議員の職務)

- 第19条 評議員及び仮評議員は、評議員会に出席するほか、本会の事務のうちその属する学年もしくは同期会及び班部OB会の関係で必要な事務を処理する。

- ② 評議員及び仮評議員は、適宜代行者を選任して評議員会への出席、その他の事務処理を代行させることができる。

(評議員会)

- 第20条 評議員会は、この会則に定める事項及びその他の重要な事項につき議決する。

- ② 評議員会は、会長が適宜これを招集する。

- ③ 評議員会の議長は、会長もしくは評議員の中から会長が指名したものが

あたり、その進行は事務局長が行う。

- ④ 評議員会の議事は、出席評議員、仮評議員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

第7章 同期会

(同期会)

- 第21条 会員は、学年ごとに同期会を組織するものとする。

- ② 同期会は、同期会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

- ③ 同期会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

- ④ 同期会は、同期会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第8章 班部OB会

(班部OB会)

- 第22条 会員は、在学中在籍した班部ごとに班部OB会を組織することができる。

- ② 班部OB会は、OB会名簿を整備し、運営に関する準則を定めるものとする。

- ③ 班部OB会は、その選任した評議員の職務の執行を助けなければならない。

- ④ 班部OB会は、OB会の総会を開催したときは、本会に報告するものとする。

第9章 会計

(会計の分類と会計年度)

- 第23条 本会の会計処理は、一般会計と特別会計に区分して行い、特別会計はこの会則に定めのある場合の他、理事会において特に定めた会計に関する会計処理、一般会計は特別会計を除いたすべての会計処理とする。

- ② 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(基金)

- 第24条 理事会は、本会の財政基盤を安定させ、また第3条に定める事業の遂行資金を形成するため基金を積立てる努力をしなければならない。

- ② 基金は、特別会計(以下「基金特別会計」という)で処理する。

- ③ 入会費、寄付金のうち理事会で基金に組入れることを決議したもの、並びに基金へ組入れることを目的とする寄付金(以下「特別基金」という)は、基金として基金特別会計に計上し、この会則に定めのある場合を除き支弁することはできない。

- ④ 基金は、財政基盤基金と事業遂行基金をもって構成する。

- ⑤ 基金への組入金は、財政基盤基金の総額に満つるまで優先してこれに充当する。

- ⑥ 財政基盤基金の総額は、総会の決議により決定しもしくは変更する。この場合、第28条の定め(特別決議を準用する)。

- ⑦ 財政基盤基金は、原則として取崩すことができない。ただし、総会において承認を得た場合はこの限りではない。この場合、第28条の定め(特別決議を準用する)。

- ⑧ 基金のうち、財政基盤基金の総額を超える額を事業遂行基金とする。

- ⑨ 事業遂行基金は、第3条1項1号に定める事業もしくは理事会で決議した事業に支弁するため、理事会及び評議員会の決議によりこれを取崩し、当該事業のために支弁することができる。

- ⑩ 会長は、緊急に対処を要すると認めたる事項(以下「緊急処理事項」とい

う)のために、副会長の同意を得て、事業遂行基金を取崩し緊急処理事項に支弁することができる。この場合、会長は、緊急処理事項が生じた後、最初に開催される総会において、当該事項の緊急性及び事業遂行基金取崩しの必要性を説明し、取崩しについて承認を得なければならない。

⑪ 事業遂行基金を支弁して行う事業を検討するため、本会に基金事業委員会を設置する。第17条4項の定めにかかわらず、この委員会は委員長1人と委員8人をもって構成し委員は理事の中から委員長が選任する。

(経費)

第25条 本会の経費は、入会費(ただし基金組入れ分を除く)、終身会費及び寄付金(ただし基金組入れ分を除く)並びに一般会計に属する財産から生じる果実その他特別会計に属さない収入をもって支弁する。

(予算)

第26条 会長は、会計年度の終了する前に、理事会の承認を得て翌会計年度の予算を作成する。翌会計年度の予算は、評議員会の承認を得て、総会に提出してその承認を得なければならない。

② 前項により、会長は、その会計年度の最後に開催される評議員会に翌会計年度の予算を提出し、その承認を得た場合は、翌会計年度の初めから総会開催の日までの間、その予算を執行できるものとする。

(決算)

第27条 本会の収入支出の決算は、監事がこれを監査し、会長がこれを総会に提出して報告しなければならない。

② 基金特別会計の決算報告においては、財政基金と事業遂行基金を区別し、それぞれの収支の概要及び

第10章 補則

(特別決議)

第28条 本会の会則の改正は、総会における出席会員の4分の3以上の多数による決議によらなければならない。

(届出)

第29条 会員は、氏名、住所及び職業を変更したときは本会に届け出るものとする。

② 同期会は、同期会員名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

③ 班部OB会は、OB会名簿及び役員名簿を本会事務局に届け出るものとする。

附則

(経過措置1)

第1条 (年会費同期会)

前回の会則の改正が施行された平成11年1月1日以前に会員となった者で構成される同期会(以下「年会費同期会」という)が納入する年会費については、次に会則改正のあるまで改正前の第7条の定めによるものとする。

第2条 (年会費)

同期会の納入する年会費は、第25条の定める経費に支弁する。

(経過措置2)

第1条 (年会費班部OB会)

班部OB会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

第2条 (年会費)

班部OB会の納入する年会費は、第

25条の定める経費に支弁する。

(施行期日)

この会則の改正は、平成18年12月3日より施行する。

(参考)

改正前第7条(年会費)

同期会は、本会を運営する費用に充てるための年会費を納入するものとする。年会費の額及びその納入方法は、評議員会で定める。

総明会会長及び副会長選出規定

会則第9条1項に基づき、会長及び副会長の選出は本規程により行う。

(選出委員会の設置、解散、委員の選出)

第1条 会長及び副会長の選出を行う場合は「選出委員会」(以下委員会という)を設置する。

② 委員会は役員改選又は補充の時期に合わせて、十分な期間を考慮し、理事会が設置する。

③ 委員会の構成は、委員長1人、委員6人とする。委員の選出は理事会及び評議員会で各々3人とする。委員長は会長が指名したものがこれにある。

④ 委員会の解散は、総会において会長及び副会長が選出された時点とする。

(会長、副会長の選出、承認について)

第2条 委員会は、会長及び副会長の選出にあたり、推薦及び立候補を受け、その者をもって候補者とする。

② 候補者の中より、会長及び副会長候補者を選出する。選出においては全員一致を原則とするが、定員に絞り込めない場合は、その状態で選出終了とする。

③ 理事会は、委員会より選出された候補者の承認を行う。

④ 評議員会は、理事会で承認された候補者の承認を行う。

補者の承認を行う。

⑤ 評議員会において承認された会長、副会長は、総会の決議をもって、これを選任する。

(理事会の承認)

第3条 委員会より選出された会長候補者が1名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

② 委員会より選出された会長候補者が2名以上の場合、理事会において投票を行い、最も得票数の多い候補者を会長候補者として承認する。

③ 委員会より選出された副会長候補者が3名の場合、理事会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

④ 委員会より選出された副会長候補者が4名以上の場合、理事会において投票を行い、得票数の多い順に3名を副会長候補者として承認する。

(評議員会の承認)

第4条 理事会より選出された会長及び副会長候補者は、評議員会において過半数の信任をもって承認されたものとする。

(会長、副会長の資格)

第5条 会長及び副会長の資格は次の各号のいずれをも満たすものとする。

- 1 総明会会員として20年以上在籍していること。
- 2 評議員又は理事を経験していること。
- 3 立候補届出締め切り時の年齢が70歳未満であること。

この規定は、平成26年11月16日より施行するものとする。

日本料理 手打ちそば
浅草 十和田
富永龍司
昭和58年卒 明輪会
台東区浅草1-13-4
TEL. 03-3841-7375

祝 第58回総明会 総会・懇親会
めい しん かい
明心会
昭和59年卒
<http://www.meishinkai.com/>

伊東電機株式会社 電設資材、設備機器、
家電製品の卸販売
<http://www.ito-den.com>
代表取締役 **伊東 稔** (昭和59年卒 バスケット部OB)
本社所在地 〒132-0031 東京都江戸川区松島3-34-21
TEL. 03-3654-9241 FAX. 03-3654-9256
松戸営業所 〒270-0025 千葉県松戸市中和倉159-2
関連会社:千葉伊東電機(株) 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋5-26-1



昭和59年卒
大山 輝芳
明心会
硬式野球部OB
株式会社 横濱屋

昭和57年卒 明魂会 岩崎広人

今話題のPasar蓮田SAに翁の郷が出店!



埼玉名物肉汁うどん



お立ち寄りの際は
ぜひご利用ください。

翁の郷 株式会社 岩崎食品工業
OKINA NO SATO

有限会社**忠建商事**
不動産の有効活用 売買・賃貸・企画・管理
昭和59年卒 明心会 硬式野球部OB
代表取締役
渡辺 憲一
〒224-0001
横浜市都筑区中川7-17-18
TEL. 045-911-3011
<http://www.chukenshouji.com/>

祝 第58回 総明会 総会・懇親会
昭和60年卒 闘紺会

昭和59年卒
エグゼクティブ ライフプランナー
渡辺 文夫
ソニー生命保険株式会社
新宿ライフプランナーセンター第9支社
東京都渋谷区代々木2-1-5
JR南新宿ビル 15F
電話 03-5358-1709
携帯 090-4376-6146



和食 玉 寿司
東京シティ信用金庫新小岩支店前・定休日木曜日、第三水曜日
☎ 3 6 9 1 - 3 0 8 8
<http://www.tamazushi.jp>
手束 謙一 (昭和60年卒 闘紺会)

鈴木税務会計事務所
税理士 鈴木 博史
(昭和61年卒 新世輝)
〒133-0053
江戸川区北篠崎2-19-12
TEL 03-3670-1430
FAX 03-3676-1440

著作権契約書なら
駒沢公園行政書士事務所
行政書士 大塚 大
(昭和60年卒 闘紺会)
柔道部OB
大田区上池台1-34-2
www.ootsuka-houmu.com

昭和60年卒 矢澤 徹 YAZAWA
理化学器械・器具製造販売
株式会社 矢沢科学
http://www.yazawakagaku.co.jp
東京都文京区本郷2-13-8



家庭文化用品 荒物雑貨 総合卸
輸出入竹工芸品全般

株式会社 大園

代表取締役 大園 正純(昭和60年卒 闘紺会)
本社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目12番8号
電話 03(3624)5366(代)
FAX 03(3624)5368

Tickety
STORE II

昭和60年卒業 植村成典

みとしろ法律事務所
弁護士
山崎 雄一郎
(昭和62年卒 明猿会)
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町2-1-8
竹橋ビル2階
TEL 03-5282-3216
FAX 03-5282-3217
E-mail qwp01536@nifty.com
http://mitoshiro-law.jp/

新世輝
俳優
高橋 信康
(昭和六十一年卒)
(歴史研究部OB)



計量システム・計量機器の総合商社 ハカリは共栄
共栄衡器株式会社



代表取締役 大森 規雄(昭和61年卒)
東京都足立区千住河原町45番6号
TEL (03) 3882-8101(代)
FAX (03) 3882-8172
https://kyoei-koki.com/

両国力士最中

年田 善政
(昭和62年卒 明猿会)
〒130-0026
東京都墨田区両国4-32-19
TEL: 03(3631)5928
FAX: 03(3631)5019



祝 第58回 総明会 総会・懇親会

ガンバレ!!

紫縁会

〈昭和62年卒 明猿会一同〉



ふぐ・和風居酒屋
民芸茶屋 佐留丹
〒120-0034 足立区千住1-33-8
03-3882-7229

http://r.gnavi.co.jp/g418500/
http://www.facebook.com/sarutan1971

61年卒・新世輝 猿田尚弘

弁護士 三神光滋 (水泳部OB)
野本・吉葉法律事務所
(麴町 日テレビル前)
〒102-0084 東京都千代田区二番町4番地3
二番町カシュービル7階
TEL 03-3511-1111 FAX 03-3511-0222
mikami@nomotolaw.com

昭和63年卒
昭和戊辰乃会

不動産売買 仲介 管理

川口市・蕨市のお部屋さがしは当店へ

株式会社 八光商事

代表取締役 田中一任

(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)
(硬式野球部OB)

〒335-0002 埼玉県蕨市塚越2-3-1
電話 048-441-8583
info@hakkoushouji.co.jp

岡崎正和税理士事務所

OKAZAKI TAX & ACCOUNTANTS
岡崎正和
昭和63年卒
昭和戊辰乃会
マンドリン部OB

東京都墨田区横川2-2-10
岡崎ビル301 〒130-0003
TEL: 03-6240-4262
FAX: 03-6240-4263
okazaki@setsu-zeirishi.com

ワンちゃんと一緒に
お食事可能なウッドテラス席



お持ち帰りもできます!



昭和63年卒 昭和戊辰乃会

安齋 聡

ピッツェリア ロベルティーノ


ご予約 044-788-5757

神奈川県川崎市高津区久末 402

京急鶴見市場駅下車一分

大衆酒場 正木屋

横浜市鶴見区市場大和町3-17
Tel: 045-511-0573
営業時間16:00から23:00
(10時以降入店可・日曜定休)



キッチンから厨房まで
本格志向の刃物店

パールセンター商店街
阿佐ヶ谷 しんかい

藤井 達也 (平成2年卒)

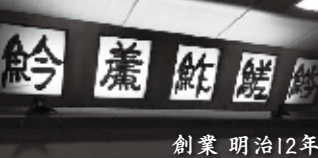
昭和六十一年卒 新世輝

吉野正敏

高島屋さん真裏通り
日本橋
老野鮎本店


中央区日本橋三ー八ー十一
電話 〇三ー三二七四ー三〇〇一






厳選したこだわりの素材
創業 明治12年
絶品の玉子焼き
変わらぬ伝統の味

感性豊かで高品質なカットソー製品を
新しい切り口でご提供致します。

 株式会社
ティアンドティ

代表取締役 安川琢哉
(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

東京都江戸川区北篠崎2-3-23
電話 03-3677-1801

 有限会社 東宏商事

取締役 青木貴史
(平成3年卒 明仁会)

〒171-0033
東京都豊島区高田 3-10-21 東宏ビル
TEL. 03-3200-1370
Takashi.Aoki@toko-shoji.com

硬式野球部OB

代表取締役 郡司 晃浩
(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

建設資材・建築金物・鋸前・電動工具・
作業工具・エクステリア等の販売

株式会社 ゲンジ

〒340-0031
埼玉県草加市新里町 1192-1
TEL 048-927-2643

坂田税理士事務所

税理士 坂田 覚
(平成3年卒 明仁会)

〒173-0004
東京都板橋区板橋 3-41-3
都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩6分
TEL 03-3962-6164

和の野菜料理の店／ベジタリアン対応

味農家

店主 河原潤治 (明愛会)

東京都台東区鳥越1-5-5
『おかず横丁』商店街内



Tel. 03-3866-3795


下町の住まい選びに夢を・・・

不動産の山下商事

ポータルサイト未掲載の当社物件を多数掲載!!

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1-1-6
電話 03-3895-9494 FAX 03-3809-7779
http://www.yamashitashoji.jp

代表取締役 山下征隆
(昭和63年卒 昭和戊辰乃会)
歴史研究部 宅地建物取引士
2級ファイナンシャルプランナー技能士



昌平坂特許事務所

代表／弁理士 吉田信彦
特定侵害訴訟付記
(平成2年卒 明愛会)

yoshida@shohey.com
https://shohey.com/
東京都千代田区神田神保町 1-39-8
ハウス神保町 2F 〒101-0051
TEL 03-5259-0024

祝 第58回 総明会 総会・懇親会

昭和 63 年卒同期会

昭和戊辰乃会

しょうわぼしんのかい

日本酒を試して選べる専門店

合資会社 日本屋

平成2年卒 明愛会 鈴木宏房

JR柏駅前東口にて営業中!
柏マルイ館・ファミリかしわ1階

 Twitter
@NIHONYA



アパレル・ファッションの資材サポーター

株式会社 クロップオザキ

代表取締役社長 尾崎博之 (昭和63年卒 昭和戊辰乃会)

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル (4F・5F)
電話 03-5820-0741 (代) FAX 03-5820-0742 (代) http://www.cropozaki.com

「ふぞくやのブログ」毎日更新中!
クロップオザキ
検索



火曜定休(その他不定休あり)

桜なべみの家

<https://www.e-minoya.jp>

電話 **03-3631-8298**

永瀬 守

(昭和62年卒 明猿会 水泳部OB)

営業時間

平日 12:00~13:50分/16:30~20:50

土曜 12:00~13:50分/16:00~20:50

日祝 12:00~20時20分

※ご来店の際は「総明会」とお声掛けください。

都営地下鉄 大江戸線 新宿線「森下」下車

祝第58回総明会総会・懇親会開催

Meiji 平成元年卒(平成改元会)
硬式野球部OB一同

田中博樹、村嶋健児、澤村大樹、篠田守建
美濃部健太郎、笈崇彦、吉井昭、四手宏尚

株式会社オガワ

横浜でエクステリアのデザインから施工まで
横浜の中心部に、スピーディな生コンの供給

代表取締役 **小川和弘**
(平成元年卒 平成改元会)

横浜市保土ヶ谷区宮田町2-155-10
TEL: 045-332-1411 (代)
FAX: 045-335-2421



日本産業規格表示認証工場
高強度コンクリート大臣認定取得

<https://ogawa-yokohama.com>

祝 第58回総明会
総会・懇親会

紫縁会
応援してます

平成改元会
総明会総会委員長
株式会社嶋田プランニング
代表取締役社長 嶋田 剛久





人と緑をつなぐ

日章造園株式会社

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3丁目8番5号
TEL. 03-3716-3221 FAX. 03-3716-3226

自然や緑を通じ
そこに住む皆様の心豊かな生活をご提案します。

代表取締役社長 **澤村 大樹**
(平成改元会 硬式野球部OB)

Law Office SORA 法律事務所 空

弁護士 **栗田 隆**
(平成3年卒 明仁会)

東京都千代田区神田神保町2-2
新世界ビル601号室 〒101-0051
TEL 03-3556-3035 FAX 03-3556-3036
kurita.t@lawoffice-sora.jp

日本蕎麦掘留町

尾張屋

藤崎 信

(平成3年卒 バレー部)

東京都中央区日本橋堀留町1-11-7
TEL 03(3661)4488

祝58回 総明会 総会・懇親会 **GRIFFINS**

明高出身 明治大学体育会
アメリカンフットボール部OB有志



村嶋 健児

(H元年卒 「平成改元会」 硬式野球部)

嶋田 剛久

(H元年卒 「平成改元会」 吹奏楽班)

倉持法律事務所

弁護士 **倉持政勝**

(平成3年卒・硬式野球部)

〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町3-13-3
興和ビル2階
電話：03-5614-1420
FAX：03-5614-1421
http://www.kuramochi-law.jp

有限会社 三友金型

代表取締役

小柳貴裕 バスケット部OB
改元会(平成元年卒)

東京都墨田区東向島6-25-13

TEL. 03-3617-6683

FAX. 03-3610-1299

E-mail sannyyuu@tj9.so-net.ne.jp

ゴム金型 設計・製作 短納期対応

業 種

マシニングセンター加工

NCフライス加工

NC放電加工

V33.V56.高速加工

U-GRAPH3次元コンピュータ

不動産売買・仲介・管理 太明地所株式会社

代表取締役 **浅倉太明**

(平成3年卒 スキー部)

東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル5F

TEL 03-3571-0655

FAX 03-3571-0615

ginza@taimeijisho.jp

第58回 総明会総会の開催を心から御祝い申し上げます。ご“縁”を有難う！

第53回 幹事学年
平成2年卒業
明愛会(めいあいかい)
I ♥ Meiji

明愛会

嗚呼なんと、
人の心の「やさしさ」よ
人の心の「あたたかさ」よ

明愛会 諸君、もう少しの辛抱だ！ 来年こそ集結だ！

※今年度の明愛会同期会は8/20に神保町で
開催予定でしたが、無期延期となりました。

祝第58回総明会総会・懇親会開催

Meiji

平成2年卒(明愛会)
硬式野球部OB一同

桜井 敦、桑名 徹、木下英樹
松尾健司、川辺康二

筒井綜合法律事務所

代表弁護士 **筒井 剛** (平成2年卒 明愛会)

〒271-0092 千葉県松戸市松戸 1336-7 東風園ビル 4 階

Tel. 047-308-5050 Fax. 047-365-2210

E-mail : tsutsui@tsutsui-lawoffice.com

☑銀座升本

銀座一丁目 並木通りの大衆酒場

みほや
三保谷 建介(平成6年卒)
三保谷 和大(平成14年卒)

昼の部(定食) 11:15~13:30
夜の部 17:00~22:00(L.O.21:30)
定休日:土日祝日

東京都中央区銀座1-4-7 03-3563-2706

祝 第58回 総明会 総会・懇親会

平成3年卒

人生の名人たれ

明仁会

ONE MEIJI ~ 明治はひとつ ~

株式会社さくら航産

代表取締役 熊木達朗
(平成6年卒)

〒105-0012
東京都港区芝大門1-5-2
須田ビル3F
TEL 03-5472-7400
FAX 03-5472-3500



建築物を彩るイルミネーションなどの
工事を手掛けるのが、私たち「小林電装」です

小林電装株式会社 www.kobadenn.co.jp/

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-10-15
TEL. 03-3866-6311 FAX.03-3866-6302

代表取締役 小林 健太郎 (平成3年卒)

MAIL info@kobadenn.co.jp

明日をつなぐ色の世界へ

🌀 MARUSHIN

株式会社マルシン

代表取締役 近藤 旭
(平成9年卒 バスケット)

埼玉県草加市青柳 2-11-39
TEL 048 (931) 5200
<http://kk-marusin.com/>



大正13年創業。ご要望の建築資材を、タイムリーに。
オオモリ・マテリアスは、お客様に「信頼」をお届けしています。

株式会社オオモリ・マテリアス

代表取締役 大森清嗣(長男 大森貴之 平成21年卒 野球部OB)

本社 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町18番
TEL 03-3253-9411 FAX 03-3253-9418
営業本部 〒135-0053 東京都江東区辰巳2丁目3番1号
TEL 03-5534-7700 FAX 03-5534-7708



TANAKA KENSO

ARCHITECT PLANNING

田中建装株式会社

東京都杉並区高円寺南 1-22-6
TEL 03-3315-0280
www.tanakakenso.co.jp

原田 崇 (H8年卒 水泳部OB)

Lightec
SINCE1937

創造と挑戦
Creation and Challenging

ライテックは、令和の時代をリードする「灯り」、
社会・環境を優しく導く「灯り」になれるよう
全社員一丸となって商品開発、サービスの展開に
努めてまいります。

株式会社 ライテック

代表取締役社長 廣田拓郎



2023年度の大学入試情報、
教員向けセミナー、科学セミナー
など、お手伝いをします。

大手大学受験予備校化学科講師

西村 能一 (にしむら よしかず)
(平成4年卒 快汗、どすこい塾)

TEL 090-3961-7230
E-mail nishimura@no-ichi.com
Twitter @no_ichi_



平成4年卒(快汗、どすこい塾)

硬式野球部OB

寺土 博昭/浦 和正/大山 聡
栗生 孝雄/佐々木敦史/福田 浩茂
藤井 広之/牧野英太郎/森 直樹

弁護士・通関士

増井 陽一

(平成12年卒 バスケット部OB)

横木増井法律事務所

東京都港区虎ノ門5丁目2-6
虎ノ門第2ワイコービル 5F
TEL : 03-6277-6359
<https://ym-partners.com/>

祝 第58回 総明会総会・懇親会

平成6年卒同期会

隆明会

頑張れ!! 紫縁会



ペリカンパン売っています

藤田商店

東京都台東区浅草橋 3-27-13
TEL 03-3851-1558

不動産管理・賃貸業 有限会社 明克



<https://www.meikoku.co.jp>

代表取締役 **櫻井 崇**
(平成3年卒 明仁会)

川崎市川崎区日ノ出2-16-1
TEL 044 (266) 8111

神輿
新調製作
修理・メンテナンス

太鼓
新調製作
修理・メンテナンス

祭礼具
神具・神棚
販売



南部屋五郎右衛門 検索

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-10-10
TEL.03-3843-3335 FAX.03-3843-3336



創業元禄二年
南部屋五郎右衛門

平成2年卒 明愛会 歴史研究部OB

石渡浩司

顧問契約・SPC業務・各種アウトソーシング

AOJ税理士法人

いであわ たかひと
代表社員 **出澤 貴人** H3卒

税理士・不動産証券化協会認定マスター

東京都中央区八丁堀4-2-10
BRICKGATE京橋3F

TEL 03-5542-0137 FAX 03-5542-0138

E-Mail t-idesawa@aojtax.or.jp

<https://aojtax.or.jp>

祝 第58回 総明会 総会懇親会

快汗、どすこい塾

平成4年卒 同期会

太平洋セメント株式会社特約店
生コン・壁材料・左官工具及機械
有限会社 福田商店

代表取締役 **和田康正**
(平成5年卒・バスケ部)

東京都墨田区押上2-7-8
TEL 03-3625-3309
FAX 03-3625-8395



どすこい 広告友の会

平成4年卒 快汗、どすこい塾
莊司康夫 富樫展広 有森毅



清水裕貴 伝説のバスケット部

天野智充税理士事務所
www.amanozeirishi.jp

税理士 天野智充 バレー部OB
(平成4年卒 快汗、どすこい塾)

Mobile 090-2647-1224

Mail: amanozeirishi@juno.ocn.ne.jp

東京都豊島区南池袋 2-18-9

マジャンブル南池袋 302号

TEL 03-5944-8636

FAX 03-5944-8710

下町の小さな飾り屋さん

美を結ぶ

むすびの
~MUSUBINO~

下町の小さな飾り屋さん 有限会社 大野商店
髪飾品製造卸

代表取締役 **大野光照** 平成4年卒
快汗、どすこい塾

〒111-0054 東京都台東区鳥越 2-7-12
TEL & FAX 03-3851-9929

amazon店



BASE店

たま〜に更新します
Instagram



STEP 国際特許事務所



代表 弁理士 **高橋 豊**
(平成6年卒 隆明会 物理部OB)

東京都中央区東日本橋 2-28-5
協和ビル 5F

電話 03-5809-1661
y.takahashi@step-pat.com

SURPASS

サーパス工業株式会社

代表取締役社長 **今井高志** (平成5年卒)

〒361-0037 埼玉県行田市下忍2203

Tel.048-554-9760 (代表) Fax.048-554-9772

e-mail t-imai@surpassindustry.co.jp

／ 梱包・包装・養生資材 のことならおまかせください！ ／

世田谷区池尻（三宿）に事務所・倉庫を構え、都内のお客様はもとより、
下記2つの自社サイトから全国のお客様に資材を販売しております。
創業 1935 年の確かな実績でお客様の課題にお応えします！

梱包・包装・養生資材のお問い合わせサイト

きたみ Net

<https://kitami-net.co.jp>

梱包用品専門店「梱包名人」通販サイト

KONPOU MEIJIN

<https://konpou-meijin.com>

株式会社 キタミ（平成7年卒 北見雄二郎）

〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-8-7
☎ 03-3424-3491 ✉ info@kitami-net.co.jp

総合建設業
株式会社 吉田工務店

代表取締役
社長 吉田浩士

平成8年卒 吹奏楽班OB

〒331-0052
埼玉県さいたま市西区三橋6-152-10
TEL. 048-623-4711
FAX. 048-623-8944



立川
落語会
真打

立川志獅丸

「落語会」してみませんか？ 企画・構成・ご予算 諸々気軽にご相談ください！

吉盛 正之（平成7年卒 柔道部）

〒203-0044 東京都葛飾区柳窪2-6-4 102号室
TEL. 080-4158-2417 FAX. 042-471-5864
Email: tatekawa440@gmail.com

松島俊行
税理士事務所

代表社員
松島俊行

平成8年卒
吹奏楽班OB

since 1971

クサマデンキ

東京都葛飾区亀有5-35-7

☎ 03-3606-9079



営業時間：9:00～19:00

定休日：月曜日（第5月曜日を除く）

←「あなたの街の便利屋さん」



株式会社 ディープインパクト
税理士法人 ディープインパクト

代表取締役 邊田 真一郎

平成8年卒 スキー部OB

<https://www.deepimpact.co.jp>

Pride
as a
Specialist



クオリティの高い映像作品づくりで数々の実績！情熱的なクリエイティブ軍団
映画・TV番組・CM・ドラマ等映像の企画・制作

株式会社 東京コンテンツラボ

代表取締役／プロデューサー

高木征太郎（平成5年卒）

東京都港区南青山 6-13-2

ブルジョア南青山 6 階

☎ 03-6427-9130

Tokyo Contents Laboratory

グループ会社 株式会社ブレインウォッシュ
株式会社高木通商・株式会社エレファント

前年度幹事学年挨拶

第57回総明会 実行委員長
平成6年卒 隆明会

三保谷 建介

第57回総明会総会幹事学年平成6年卒
「隆明会」実行委員長を務めさせて頂きました三保谷建介と申します。総明会の先輩・後輩と学校関係者の皆様方のご協力を頂戴し、総会・就活会・会報発刊の各事業を大過なく執り行いました事をこの場をお借りしまして深く御礼申し上げます。

思い返せば慣れないオンライン会議を使い倒し、コロナ禍で幾度も変動する感染状況に社会が混乱を来す中にあってもなお、所定のタスクをやり抜くべく総明会本部の先輩後輩の皆様方と歩調を一にして何とか乗り越えられた一年でありました。この達成感を同期と共有したいと思いつつも、半年を経て少人数の集まりがあったのはまだ2度に留まり、協力してくれた同期達に直接感謝を伝えることもままならず歯がゆい思いが続き、このコロナ禍の一刻も早い収束を願うばかりであります。

さて、本年幹事学年の平成7年卒「紫縁会」の皆様方は「縁」との「う」をテーマとし、会合や催事でオンラインとリアルを上手に使い分けてハイブリッドな活躍を加速させており、我々の活動を遥かに上回るその能力に感嘆しております。実行委員長の藤田央君は総明会の法被を引き継いだ頃に

は会うたびに「不安だ、不安だ。」と口にしており、私も次期はどうなるのかと内心気掛かりでありましたが、紫縁会の定例会や関係委員会の回が重ねられる度に斬新なアイデアとその実行に向けた活発且つ着実な議論が見受けられ、今となつては全くの杞憂であつたと得心しております。幹事学年活動は初めての経験が続き、時には困難な局面もあろうかと思いますが、コミュニケーションを密にして同期の繋がりがより幅広く、そして深くなる事を強く願うばかりであります。

結びに、総明会の皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げてご挨拶とさせて頂きます。有難うございました。



次年度幹事学年挨拶

第59回総明会 実行委員長
平成8年卒 紫誠会

宮嶋 優光

来年度、総明会幹事担当学年(平成8年卒)宮嶋優光と申します。

猿楽町校舎を離れて四半世紀。思い出の「天井いもや」「とんかつ駿河」「キッチン南海」も今は無く御茶の水界隈を歩くときはもっぱら「キッチンカロリー」で食しております。

先日この原稿のネタを考えながらカロリー焼きダブルに挑戦してまいりました。学生時代はダブルをダブルで平らげたブラックホールのような胃袋も、1回転目のダブルで完全にノックアウトされてしまいました。若いって素晴らしい。。。

さて、この度、平成8年卒学年は来年度幹事を務めさせていただきます。ただ卒業以来、異性のいない会に全く興味を持たなかったのか、または仕事に一生懸命だったのかはわかりませんが、同窓会は全く開催されておらず同期の繋がりが薄く細くなっております。現在、一生に一度の幹事学年ということで部活単位や仕事の繋がりをたどり、現在失われた25年を埋めるべく同期発掘を行っております。

そのような中、先日、今年度総明会幹事学年の紫縁会に企画いただきました「猿楽町校舎」現調布校舎間を歩いて繋ぐ「駅伝」

に西村先生(チャリリー)にもお越しいただき、同期6人で参加いたしました。卒業以来の再会となるメンバーもありましたがそこは毎日男坂の上に夢を見ることだけで3年間繋がってきた同期。あつという間に高校時代に戻ることが出来ました。ただ、写真を見る限り、先生と同期がほぼ同年代のように見え月日の残酷さを見た気がいたしました(笑)。

駅伝と同様、歴代の先輩方から繋がれた総明会を来年もしっかりと引き継ぎ、同窓の絆と母校愛を深める事ができるよう努力してまいります。今後ともよろしく願いいたします。



本年度幹事学年挨拶

第58回総明会 実行委員長
平成7年卒 紫縁会

藤田 央

総明会の諸先輩方、後輩の皆様、本年度幹事学年を務めさせていただきました紫縁会の藤田央でございます。この紫縁会という名称には、私たちの過去、現在、未来の想いが込められています。過去…紫紺の縁で集った仲間たちの会。現在…新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年連続中止となつてしまった総明会懇親会(宴)を今年はやりたいという想い。未来…いつまでも母校を支援していこうという想い。このような三つの想いが込められています。

昨年の5月にこの同期会名が決定し、私は次期幹事学年の実行委員長に立候補しました。総明会懇親会の現場に実際に出ていた経験があつたのは、私一人でございましたが、私が実行委員長に立候補した一番の理由は、総明会の歴史と伝統を自分が守らなければいけないという使命かもしれません。次期実行委員長としての初めての挨拶の場は、昨年10月の日比谷コンベンションホールで行われた評議員会でした。「不安しかない。」と何度も連呼しました。しかし、次月の総会には10人の同期が参加、その後の紫縁会実行委員会結成時には21人が幹事として力を貸してくれることとなりました。実行委員会結成後は、同期の皆の熱い明治魂に何度も助けられました。

学生時代は表立って「明治最高!」なんて絶対言わないであろうと思われた同期も、今では明治魂全開です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年も班クラブのOB・OG会や各学年の同期会とはとんどありませんでした。そのため、例年の様に先輩方への挨拶まわりができない状況でした。また、総会と懇親会は開催いたしますが、飲食は無しで、7月末現在、会場がまだ本決まりではない状況です。様々な制限の中、もがいている最中ではありますが、懇親会の最後に皆さまと校歌を歌うことだけはやり遂げたいと思います。同じ会場で校歌を歌い、青春時代の思い出に浸ることが、総明会の一番の醍醐味でございますので、どうぞ皆様よろしく願いたします。



【編集後記】

会報委員(平成7年卒) 小倉 竜也

「ええええ、面倒くさいこと引き受けちゃったなあ…」紫縁会会報委員長の櫻井に声をかけられ、四半世紀以上疎遠であった明治高校と久し振りに繋がる嬉しさからおもわず二つ返事で引き受けたものの、冷静になって湧き上がったのが当時の感想。

「特集は猿樂町校舎と現調布校舎を結ぶ駅伝にしようと思うから、企画を具体化して実行よろしくね」とまたまた櫻井。「簡単に言うなよ」と心の声。新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が起こるかもしれない中で、企画が成立するの心配であったが、引き受けたからにはきっちり仕上げるのが自分の信条。3rdプランまで考えつつ、本命の1stプランを煮詰めていった。そうして迎えた駅伝当日。梅雨の中休み(6月後半の酷暑ではなくて本当に良かった)。「ただ歩く」が、「仲間と歩く」に進化し「世代を繋ぐ」ものに姿を変え、見事「歴史を繋ぐ」に昇華したのだった!

駅伝当日の打ち上げ時はまさに「ととのったどーっ!」(とても気持ちがよくて、心身共に快調に感じられる状態)だったが、お店の外に出た刹那、どうやって記事にしようかと押し寄せる不安。翌日から3週間、休日を削って記事化を頑張りましたよ。そして今まさに2度目の「ととのったどーっ!」。ただ、まだ会報は完成していないので、本当の「ととのったどーっ!」は、送付されてきた会報を読んだ後に押し寄せてくるのだろうか。

1995年3月の明治高校卒業から27年。総明会会報「紫紺の詩」という「樺」を通して、母校、同期、諸先輩方と再び「縁」を繋げることができた。この「縁」をより太くしていくこと、後輩とも「縁」を繋いでいくことを心に刻み、筆を擱くこととする。

会報副委員長(平成7年卒) 古川 和典

会報委員会の委員として、退職される先方やOB・OG対談取材に行きつつ、駅伝と今昔物語を担当できる機会を頂けた。駅伝案は、企画発足時はかなり後ろ向きであった。調布校舎に行く際に乗車する京王電鉄の特急は、スピード狂で飛ばす訳で、どれほどか距離が離れていると誰しもが感じるところ。「そんな万里の長城のような長距離を、先輩方に歩かせるなんて無謀である」が直感だった。前向きな気持ちにならないのは、コロナ禍という社会情勢もあったのかもしれない。

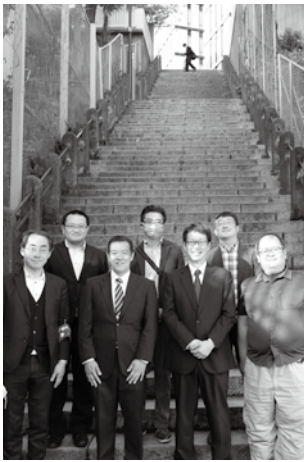
コロナ禍になり、丸2年が経過している令和4年3月であっても、オミクロン株が暴れている社会状況である。濃厚接触者となり自宅待機をせざる得なく、取材日に参加できない等、コロナに振り回されつづけた常に変な会報委員会活動であった。

また、慣れないデジタル仕掛けのZoom等によるリモート会報会議では、言うこと聞かないパソコンと闘いつつ、自宅の荒れ具合を披露しながらデジタル化された奇妙な声等に我々はストレスを加えられ続けた。

一方、会報委員ということで、実家から「過程」や自分たちの卒業文集等を引っ張り出してネタ探しに翻弄した。同期の中には、ボロボロにほつれた体操着をいまだにネグリジェにしているよ！とか、30年間普段着として着続けている学生服姿一押しのF君など、意外にも盛り上がり楽しく会報委員活動ができた。

我々が文化祭準備委員会だった時のテーマは、『考え中』であり、アインシュタインの舌出しをイメージシートに掲げた。それから約28年を経て、令和4年度総明会会報のテーマは『縁』とこのうゝであり、長い年月をかけて諸先輩方・同期・後輩との「縁」のおかげで紫縁会のメンバー全員がようやく「とこのった」ように感じている。『考え中』が長く、晩成型だが、これからの紫縁会とのつながりはもちろんのこと総明会と共に歩んでいき、老齢を迎えた頃に「人生とこのい済み」にて土に返っていただければ本望だと感じている。

最後に、総明会の先輩方の適切なご指導・ご助言や協力してくれた後輩達や同期が盛り上げてくれたおかげで会報が無事完成できました。心より感謝いたします。



会報委員(平成7年卒)

春日誠治

正直な話、「40代半ばに同窓会幹事を担当する」というウチの学校のシステムは知ってはいた。しかし、根っからの無精者であるため「声がかかるとなく静かに時が過ぎて行ってくれたらいいな」と思ってる節があった。それゆえ委員長の櫻井から誘いがあった時には嬉しさと「向こう一年大変だな」という気持ちが行ったり来たりしていた。

ただ、この会報作りに携わったことで様々な経験がすることができた。中でもメインの駅伝企画では、もともと第3区の1区間だけ同行する予定が予行演習で第1区に同行、本来の担当である第3区の同行を終え、まだ元気だからと調子に乗って同期が歩く第6区にも同行したら、仙川一つじが丘間にある長い下り坂でふくらはぎが悲鳴を上げたため、つじヶ丘駅で離脱。電車で国領に移動し、小倉さんと本隊の到着を待つ間に足の具合が良くなったので改めて最終区にも同行したが、出発後すぐに痛みが再発。こむら返りを起こさないよう細心の注意を払いつつ、汗だくになりながらどうにかゴールしたものの、充実感の代償としてその後しばらくは足にダメージが残っていた。

これに限らず、調布移転以降、足が遠のいていた母校を訪れ、先生方にご挨拶する機会を得られた。一回り以上年長の先輩からこの春卒業したての後輩に至るまで、取材を通じて多くのOB・OGに出会えた。そして何より高校卒業以来とんとご無沙

汰だった同期の面々と再会し、この四半世紀まったく別の道を歩んできたみんなが力を合わせて総明会の活動を作り上げるといふ、向こう何十年も会って飲む時の鉄板ネタになるような貴重な経験をさせてもらうことができた。これもすべて前述のシステムのなせる業かと思うと、これを構築した先輩方の尽力に敬意を表したい。

今年のテーマは『縁』とこのうゝ。この活動を通して生まれた縁が今後どのような形で続いていくのか、これからが楽しみだ。

会報委員長(平成7年卒)

櫻井勝也

今年は、皆さまの『縁をとこのえる』ことに、より貢献するには、「会報とはどうあるべきか?」をテーマに取り組んできました。少しでも未来の世代への布石となるべく、毎年作っている仕様に留まらず、自分たちの負担は増えますが、デジタル誌面も併せ持つ『ハイブリット会報』を、会報メンバー8名で取り組みました。

かくいう我々は(少なくとも私自身)は、会報というものをこれまで大して意識しておらず、「本当に必要なものなのか?」多くの制作費用と労力をかけて作る必要があるのか?と自問し、委員会でも懵越ながら意見させていただき、考え続けた一年でもありました。

その中で、見出した一つの答えが、会報づくりを通じて、「総明会の存在意義は何なのか?」どうしたら、後輩たち・若い世代・現役生が総明会を身近に感じてもらえる

か?」をどう表現するか、に至りました。そこに腐心して、会報のテーマや内容、参加型イベントのアイデアを出し合って、先輩方に賛同をいただいて取り組みました。

この会報作りは、単に印刷などの経費はもちろんですが、メンバーの人的投資で膨大なコストがかかっており、大切に残すべきもの、変えていくべきものを意識しました。今年は、雑誌体裁の良さを残しながらも、総明会HPがよりOB・OGが情報を得るコミュニケーションにできればという想いもメンバーで共創し、デジタル画像両方を併せ持つ会報を形にしたつもりです。

まだまだ道半ばですので、積み残し課題は、次年度以降の後輩たち、ミレニアル世代やZ世代へと襷がわたり、より時代のニーズにあったプラットフォームとアプローチをしていくと思っています。

そのための小さな布石だけでも打てたのかな、と考えております。世代を超えた猿楽町・調布校舎を「歩いて繋ぐ駅伝」企画や、猿楽町校舎潜入取材や、我々世代のOB・OGクローズアップやOB・OGになっても現役ながら活動している班部活動の特集など、会報メンバーに限らず、卒業以来久しぶりに再会した同期メンバーのサポートや、彼らや先輩方との交わりも楽しいもので、励みになりました。

最後に、広報委員会の先輩方をはじめ、幹事学年の活動に、多大なるお力添えをいただいた全ての皆さまに感謝を申し上げて、最後のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

第58回 総明会実行委員会 「紫縁会」平成7年卒



実行委員長 藤田 央 (応援指導班OB)
副実行委員長 千賀 貴生 (JRC・IAC OB)
副実行委員長 長谷川海平 (スキー部OB)
事務局長 荒木 孝信 (スキー部OB)
会計 久保 康高 (バドミントン部OB)
式典委員長 金子 敦史 (テニス部OB)
式典委員 石田 真吾 (高校山岳部OB)
式典委員 草間健太郎
寄付広告委員長 大山 昌一 (バスケットボール部OB)
寄付広告委員 小井田幸也 (生徒会本部OB)
ゴルフ委員長 日野 友貴 (剣道部OB)

会報委員長 櫻井 勝也 (生徒会本部・陸上競技部OB)
会報副委員長 古川 和典 (写真部OB)
会報委員 小倉 竜也 (バレーボール部OB)
会報委員 春日 誠治 (生徒会本部OB)
会報委員 澤登 崇史 (物理部OB)
会報委員 清水 研志 (生徒会本部・書道部OB)
会報委員 宮坂俊一郎 (生徒会本部・写真部OB)
会報委員 森平 伊織 (生徒会本部OB)
就活会委員長 遠藤 智史 (吹奏楽班OB)
就活会委員 岡崎 俊彦 (物理部OB)
就活会委員 福田 哲史 (吹奏楽班OB)

発行：明治大学付属明治高等学校・中学校同窓会・総明会
〒182-0033 東京都調布市富士見町4-23-25
明治大学付属明治高等学校内
TEL.042-444-9100
<http://www.meiji-soumeikai.com/>

編集長：櫻井 勝也
表紙：清水 研志・筆
アートディレクター：田嶋 慎治 (昭和63年卒)
制作進行：田嶋 慎治 (昭和63年卒)
印刷：ふじ・プリント
2022年10月1日発行

※表紙の文字は、幹事学年の紫縁会 清水研志 (生徒会本部・書道部OB) が、本年の活動テーマを書き記したものです。

お礼とお詫び

この会報誌発行にあたり、多くの総明会の皆様から、ご寄稿及び貴重な写真の提供をいただきました。広報委員会一同心よりお礼申し上げます。紙面の都合上、全てを掲載することができませんでした。この場を借りてお詫び申し上げます。また、文章中においても、万人が読みやすい表現に統一をはかるため、広報委員の責任で割愛・表現の変更をさせていただきました。広報委員全員で文章を校正致しましたが、至らぬ点もあるかと思います。何卒ご了解いただきます様お願い申し上げます。

※本誌掲載の記事、写真、イラスト、図表の無断転載は固くお断りいたします。乱丁・落丁本はお取り替えいたします。

住所変更時のお願い

総明会では、総明会会報・総明会からのお知らせが皆様のお手元に、1通でも多く確実に届くよう各学年の評議員を通じて総明会会員名簿の管理を行っております。

お引越し等で住所が変わられた方はお手数ですが、右記総明会事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

連絡先

総明会 副事務局長 尾崎 博之
TEL 03-5820-0741
FAX 03-5820-0742
(勤務先：株式会社クロップオザキ 代表取締役)
E-mail: hcozaki@cropozaki.com

